盛岡体育館大規模改修（建築主体）工事

図面リスト

図面番号	図面内容	図面番号	図面内容	図面番号	図面内容	図面番号	図面内容
A-01	図面リスト	A-41	既存　アリーナ部　矩計図(2)	A-81	既存　建具表(2)	A-121	2階足場計画図(参考図)
A-02	建築改修工事特記仕様書(1)	A-42	改修　アリーナ部　矩計図(1)	A-82	既存　建具表(3)	A-122	3階足場計画図(参考図)
A-03	建築改修工事特記仕様書(2)	A-43	改修　アリーナ部　矩計図(2)	A-83	既存　建具表(4)	A-123	R階足場計画図(参考図)
A-04	建築改修工事特記仕様書(3)	A-44	既存　風除室詳細図	A-84	改修　建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	A-124	足場立面計画図(1)(参考図)
A-05	建築改修工事特記仕様書(4)	A-45	改修　風除室詳細図	A-85	改修　建具表	A-125	足場立面計画図(2)(参考図)
A-06	建築改修工事特記仕様書(5)	A-46	既存　2階屋上詳細図、3階屋上詳細図(1)	A-86	既存　アリーナ　床伏図、詳細図	A-126	アリーナ部　内部足場(参考図)
A-07	案内図、配置図	A-47	既存　3階屋上詳細図(2)	A-87	改修　アリーナ　床伏図、詳細図		
A-08	既存　求積図	A-48	既存　3階屋上詳細図(3)	A-88	膜天井　天井伏図		
A-09	仕上表(1)	A-49	改修　2階屋上詳細図、3階屋上詳細図(1)	A-89	膜天井　天井下地材伏図		
A-10	仕上表(2)	A-50	改修　3階屋上詳細図(2)	A-90	膜天井　断面詳細図(1)		
A-11	仕上表(3)	A-51	改修　3階屋上詳細図(3)	A-91	膜天井　断面詳細図(2)		
A-12	仕上表(4)	A-52	既存　1階便所、更衣室、洗面ｼｬﾜｰ室　平面詳細図	A-92	膜天井　断面詳細図(3)		
A-13	仕上表(5)	A-53	既存　1階便所、更衣室、洗面ｼｬﾜｰ室　展開図(1)	A-93	構造特記仕様書(1)		
A-14	既存　B1階平面図(改修位置図)	A-54	既存　1階便所、更衣室、洗面ｼｬﾜｰ室　展開図(2)	A-94	構造特記仕様書(2)		
A-15	既存　1階平面図(改修位置図)	A-55	改修　1階便所、更衣室、洗面ｼｬﾜｰ室　平面詳細図	A-95	鉄骨標準図(1)		
A-16	既存　2階平面図(改修位置図)	A-56	改修　1階便所、更衣室、洗面ｼｬﾜｰ室　展開図(1)	A-96	鉄骨標準図(2)		
A-17	既存　3階平面図(改修位置図)	A-57	改修　1階便所、更衣室、洗面ｼｬﾜｰ室　展開図(2)	A-97	鉄骨標準図(3)		
A-18	既存　R階平面図(改修位置図)	A-58	アリーナ　平面詳細図	A-98	既存　アリーナ部　キャットウォーク伏図		
A-19	改修　B1階平面図	A-59	アリーナ　展開図(1)	A-99	改修　アリーナ部　キャットウォーク伏図		
A-20	改修　1階平面図	A-60	アリーナ　展開図(2)	A-100	既存　アリーナ部　鉄骨屋根梁伏図		
A-21	改修　2階平面図	A-61	既存　2階便所、更衣室、洗面ｼｬﾜｰ室　平面詳細図	A-101	改修　アリーナ部　鉄骨屋根梁伏図		
A-22	改修　3階平面図	A-62	既存　2階便所、更衣室、洗面ｼｬﾜｰ室　展開図(1)	A-102	既存・改修　アリーナ部　鉄骨部材リスト		
A-23	改修　R階平面図	A-63	既存　2階便所、更衣室、洗面ｼｬﾜｰ室　展開図(2)	A-103	既存　アリーナ部　軸組図(1)		
A-24	既存　立面図(1)	A-64	改修　2階便所、更衣室、洗面ｼｬﾜｰ室　平面詳細図	A-104	既存　アリーナ部　軸組図(2)		
A-25	既存　立面図(2)	A-65	改修　2階便所、更衣室、洗面ｼｬﾜｰ室　展開図(1)	A-105	既存　アリーナ部　軸組図(3)		
A-26	改修　立面図(1)	A-66	改修　2階便所、更衣室、洗面ｼｬﾜｰ室　展開図(2)	A-106	既存　アリーナ部　軸組図(4)		
A-27	改修　立面図(2)	A-67	既存　3階便所　平面詳細図、展開図	A-107	既存　アリーナ部　軸組図(5)		
A-28	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ詳細図(1)	A-68	改修　3階便所　平面詳細図、展開図	A-108	既存　アリーナ部　軸組図(6)		
A-29	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ詳細図(2)	A-69	B1階天井伏図	A-109	既存　アリーナ部　軸組図(7)		
A-30	断面図(1)	A-70	1階天井伏図	A-110	既存　アリーナ部　架構詳細図(1)		
A-31	断面図(2)	A-71	2階天井伏図	A-111	改修　アリーナ部　架構詳細図(1)		
A-32	既存　矩計図(1)	A-72	3階天井伏図	A-112	既存　アリーナ部　架構詳細図(2)		
A-33	既存　矩計図(2)	A-73	B1階天井詳細図、1階天井詳細図(1)	A-113	改修　アリーナ部　架構詳細図(2)		
A-34	改修　矩計図(1)	A-74	1階天井詳細図(2)	A-114	雑詳細図(1)		
A-35	改修　矩計図(2)	A-75	2階天井詳細図(1)	A-115	雑詳細図(2)		
A-36	既存　アリーナ部　立面図(1)	A-76	2階天井詳細図(2)	A-116	外構配置図		
A-37	既存　アリーナ部　立面図(2)	A-77	2階天井詳細図(3)	A-117	外構詳細図		
A-38	改修　アリーナ部　立面図(1)	A-78	3階天井詳細図	A-118	仮設計画図(参考図)		
A-39	改修　アリーナ部　立面図(2)	A-79	既存　建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	A-119	B1階仮設計画図(参考図)		
A-40	既存　アリーナ部　矩計図(1)	A-80	既存　建具表(1)	A-120	1階足場計画図(参考図)		

訂正	月	日

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙 橋	髙 橋	髙 橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	A ―― 01
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙 橋	担当 髙 橋	承認年月日 ・　・	図面名称 図面リスト　縮尺 NbScal e	

工事名　盛岡体育館大規模改修（ 建築主体）　工事　特記仕様書

Ⅰ．工　事　概　要

1．工事場所　岩手県盛岡市上田三丁目425番3外（ 地名地番）
用途地域：　第一種中高層住居専用地域　防火地域等：　指定無し
2．敷地面積　6,271.78㎡
3．工事規模　体育館　鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造一部鉄骨造　地下1階、地上3階建
建築面積　2,893.81㎡　延べ面積　7,593.78㎡
（対象建築物竣工年　昭和　・（平成）6年（築　31年））
4．工事範囲　体育館　改修一式
外構　ﾎﾞｰﾙ改修、樹木撤去等　一式

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

1．共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）（以下「改修標準仕様書」という。）「公共建築木造工事標準仕様書（最新版）」（以下「木造標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（最新版）」(以下「解体共通仕様書」という。）による。
2．特記仕様
1）項目は番号に○印のついたものを適用する。ただし、【共通】特記仕様書の項目については全て適用することを原則とすることから、○印は付けない。
2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
なお、【共通】特記仕様書の特記事項は、⊙印のついたものを適用するが、選択肢が無い事項については、内容そのものを適用とすることを原則とする。
3）特記事項に記載の（　）、＜　＞及び［　］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①．一般事項	⊙　工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙　受注者は、監督員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⊙　施工体系図を現場に掲示すること。 ・　工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督員に提出すること。 調査範囲　※　図示
一般共通事項	②．適用基準等	⊙　建築工事標準詳細図（最新版） ⊙　工事写真撮影ガイドブック＜建築工事編及び解体工事編＞（最新版） ⊙　建築工事監理指針（最新版） （国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
	③．実施工程表	週間、月間、工種別工程表等の作成、提出は監督職員の指示による。<1.2.1>
	④．電気保安技術者	・　適用する　※　適用しない　<1.3.3>
	⑤．建築材料等	材料の品質等　<1.4.2> 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。 環境への配慮　<1.4.1> ※標準仕様書1.4.1による。
一般共通事項	⑥．室内の空気中の化学物質濃度の測定	※　ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　<1.7.9>(1.5.9) 測定対象物質　※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ　⊙ﾄﾙｴﾝ　⊙ｷｼﾚﾝ　⊙ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ　⊙ｽﾁﾚﾝ　⊙ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ 測定は、「官庁営繕部における平成15年度からのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」（平成15年４月１日付け）国営建第１号・国営設第１号）により行い、厚生労働省の指針値以下であることを確認し、報告すること。 測定箇所 ⊙　次の室について測定する。 測定する室名（ ｱﾘｰﾅ、体力測定室　） ・　上記によらない場合は監督員の指示による。 この場合、受注者は協議簿を作成し、監督員から指示を受けること。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を２部提出する。 ａ測定結果 ｂ試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数） ｃ試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合、引渡は受けない。
	⑦．特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
	⑧．施工調査	施工数量調査　<1.6.2>

調査項目	調査範囲	調査方法	成　果　品
ｸﾗｯｸ、劣化部	外壁、地中木	目視、打診	
シーリング	外壁、屋根廻り、建具	目視	

・　既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。　<1.6.3>

⑨．技　能　士　<1.7.2>
・　下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。
※　下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。
・　下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工　事　種　目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	⊙とび（とび作業）
鉄筋工事	⊙鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	⊙型枠施工（型枠工事作業） ⊙コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	⊙とび（とび作業） ⊙鉄工（構造物鉄工作業）
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
防水工事	⊙防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ⊙塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ⊙シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業　）
石工事	・石材施工（石張り作業）
タイル工事	⊙タイル張り（タイル張り作業）
木工事	⊙建築大工（大工工事作業）
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業） ・かわらぶき（かわらぶき作業）
金属工事	⊙内装仕上施工（鋼製下地工事作業） ・建築板金（内外装板金作業） ・バルコニー施工（金属バルコニー工事作業）
左官工事	⊙左官（左官作業）
建具工事	⊙サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ⊙ガラス施工（ガラス工事作業） ⊙自動ドア施工（自動ドア施工作業）
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・カーテンウォール施工（金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業） ・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）
塗装工事	⊙ガラス施工（ガラス工事作業） ⊙塗装（建築塗装作業）
内装工事	⊙内装仕上施工（⊙プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ⊙木質系床仕上げ工事作業 ⊙ボード仕上工事作業　） ⊙表装（壁装作業）
排水工事	・配管（建築配管作業）
舗装工事	・路面表示施工（・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業　）
植栽工事	⊙造園（造園工事作業）

⑩．提出書類

（契　約　後）	⊙工事工程表　⊙現場代理人，主任技術者等届 ⊙火災保険加入契約書（写）　⊙請負代金内訳書
（工　事　中）	⊙出来高検査願　⊙施工体制台帳（写）
（完　成　後）	⊙工事完成届　⊙工事完成引渡書

共通，特記仕様書等に定められている主な提出書類

（契　約　後）	⊙工事総合施工計画書
（工　事　中）	⊙各種工事施工計画書　⊙各種工事施工図 ⊙工事作業日報　⊙主要資材規格又は品質証明書 ⊙各種試験成績書又は報告書　⊙主要資材搬入検査願 ⊙施工体制台帳（写）
（完　成　後）	⊙完成図　⊙責任施工保証書　⊙各種届出書等 ・官公署認可及び検査済証 ⊙取扱説明書（設備機器説明含む）

⑪．施工図及び施工計画書　施工図及び施工計画書の提出について　<1.2.2>＜1.2.3>
（ａ）施工図及び施工計画書は、工事の着手に先立ち、各工種において作成し提出する。
（ｂ）施工図の記載内容及び記載水準は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築・設備工事施工図の描き方（最新版）」に準ずるものとする。
（ｃ）本工事に係る施工図及び施工計画書の著作者の権利は、当該建物における使用に限り発注者に移譲するものとする。
（ｄ）提出部数は、監督員の指示による。

⑫．設備工事との取合い
施工範囲　各工事の区分表による。
⊙図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
⊙図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強
⊙駆動装置が電動による建具類の２次配線及び操作ｽｲｯﾁ
⊙自動閉鎖装置取付けの箇所の切り込み及び補強
⊙他指示するところ
施 工 図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

13．住宅瑕疵担保責任
住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け
・あり（新築住宅の場合）　・なし（新築住宅以外の場合）

2 仮設工事

①．仮囲い　※　設ける　・　設けない
仮囲いの位置及び延長は図示による。
・シートゲート（H=　，W=　）×　箇所

②．危害防止　※　シート張り　・　金網養生

③．監督職員事務所　※　設ける（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）　<2.4.1>
・　設ける（規模　㎡程度　請負者事務所と同棟　・可　・否）

備品の種類	机・椅子	書　棚	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	掛時計
数　量	組	ケ	ケ	ケ
備品の種類	温度計	ｺﾞﾑ長靴	雨がっぱ	保護帽
数　量	ケ	組	組	ケ
備品の種類	安全帯	上履き	衣類ﾛｯｶｰ	懐中電灯
数　量	ケ	組	ケ	ケ
備品の種類	軍　手			
数　量	組			

④．工事用水　構内既存の施設　⊙　利用できる（※有償　・無償）　※　利用できない

⑤．工事用電力　構内既存の施設　⊙　利用できる（※有償　・無償）　※　利用できない

⑥．工事用通路　※　指定しない　・　指定する（図示）

⑦．足場等　<2.2.1>
＜表2.2.1＞
外部足場　⊙　設置する（　設置範囲　⊙　図示　）
・　設置しない
防護シート　⊙　設置する（　設置範囲　⊙　図示　）
・　設置しない
内部足場　⊙　設置する（　設置範囲　⊙　図示　）
・　設置しない

⊙材料、撤去材等の運搬方法
種別（　・Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種　⊙Ｄ種　・Ｅ種　）
Ｃ種：利用可能なエレベーター　（　）
Ｄ種：利用可能な階段　（ 階段室1，2　）
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

⑧．養生　家具の移動　・　行う（図示）　⊙　行わない
家具名称：
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管
⊙　行う（図示）　・　行わない
養生の方法：
保管場所：

⑨．仮設間仕切り　<2.2.3>＜表2.3.1>
・　設ける（図示）
・　Ａ種　・　Ｂ種　※　Ｃ種
⊙　設けない

10．その他の仮設

3 防水改修工事

1．アスファルト防水　改修工法の種別　<3.1.4><3.3.3><表3.1.1><表3.3.3～10>

新規防水層の種別	改 修 工 法 の 種 類	施　工　箇　所
・		
・		
・Ｅ－１		屋内（便所・浴室）

アスファルトの種類　JIS K2207のJIS表示認証製品　※３種　<3.2.2>
脱気装置　・　設ける　・　設けない　<3.3.3>
種　類　・　平面部脱気型　・　立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

2．伸縮調整目地　※　成型伸縮目地（天端：EPTゴム　サイド：ブチルゴム製）　<3.3.2><3.3.5>

3．改質アスファルトシート防水　改修工法の種別　<3.1.4><3.4.3><表3.1.1><表3.4.1～3>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施　工　箇　所	仕 上 塗 料
・AS－T			※　カラー
・AS－J			・　シルバー
・ASI－			

脱気装置　・　設ける　・　設けない　<3.4.3>
種　類　・　平面部脱気型　・　立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

4．合成高分子系ルーフィングシート防水　改修工法の種別　<3.1.4><3.5.3><表3.1.1><表3.5.1～2>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施　工　箇　所	仕 上 塗 料
・Ｓ－F			※　カラー
・Ｓ－M			・　シルバー
⊙SI-F2	接着工法	2、3階屋上	

脱気装置　・　設ける　⊙　設けない　<3.5.3>
種　類　・　平面部脱気型　・　立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

5．塗膜防水　改修工法の種別　<3.1.4><3.6.3><表3.1.1><表3.6.1～2>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施　工　箇　所	仕 上 塗 料
・Ｘ－１			※　カラー
・Ｘ－２			・　シルバー
・Ｙ－２			

脱気装置　・　設ける　・　設けない　<3.6.3>
種　類　・　平面部脱気型　・　立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

4 外壁改修工事

⑥．シーリング材料の種別及び施工箇所　<3.7.2><表3.7.1>
※　被着体に応じたものとし、<表3.7.1>を標準とする。
⊙　<表3.7.1>によらない箇所及びシーリング材料

<表3.7.1>によらない箇所	シ　ー　リ　ン　グ　材　料
⊙カーテンウォール	MS-2
・	

⑦．シーリング改修工法　改修工法の種別　<3.1.4><3.7.4～8><表3.1.2>

改修工法の種類	施　工　箇　所
・　シーリング充てん工法	
⊙　シーリング再充てん工法	外壁、建具廻り、その他図示による
・　拡幅シーリング充てん工法	
・　ブリッジ工法（　）	

8．と　い　<3.8.2><表3.8.1><表3.8.2～3>

材　種	防　露
・　配管用鋼管（SGP）	※　<表3.8.3～4>により行う
・　硬質塩化ビニル管（VP）	
・	

特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。
鋼管製といの防露巻き　<3.8.3><表3.8.4>
※　<表3.8.4>による。　・

⑨．ルーフドレン　※水はけよく床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。　<3.8.3>

⑩．アルミニウム製笠木　部材の種類　<3.9.2><表3.9.1>
⊙　押出　225形(既存)　・　押出　300形　・　押出　350形
・　板材折曲げ形（・オープン形式　・シール形式）
付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。

表面処理　<3.9.2><表5.2.2>
※　BB－１種　・　BB－２種

下地の補修方法
⊙　モルタル補修
既存笠木を撤去した後、下地となる構造体の状況を確認し、上記によることが困難な場合は、監督員と協議すること。

⑪．防水保証　アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を作成し提出する。
塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

1．コンクリート打放し仕上外壁　⊙　ひび割れ部改修　<4.2.2><4.3.4～6>

工　法	材　料	ひび割れの幅(㎜)	延べ長さ(想定m)
※　シール工法	※　パテ状エポキシ樹脂 ・　可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	
※　樹脂注入工法	・　低粘度エポキシ樹脂 ・　高粘度エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
※　Ｕカットシール材充てん工法	※　可とう性エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
	・　シーリング材ＰＵ－２ ・　可とう性エポキシ樹脂	1.0～1.5未満 1.5～2.0未満 ～　未満	
※　注入工法	⊙　超微粒子セメント系注入材		

コアの抜き取り検査　・　行う　※　行わない　<4.3.4>

・　欠損部改修　<4.2.2>＜4.3.7>

工　法	材　料	欠損程度	想定箇所数
※　充てん工法	・エポキシ樹脂モルタル	100*100程度	
		300*300程度	
	・ポリマーセメントモルタル	500*500程度	
		700*700程度	
		700*700を超える	

・　ひび割れ部改修　<4.2.2><4.4.5～7>

工　法	材　料	ひび割れの幅(㎜)	延べ長さ(想定m)
※　シール工法	※　パテ状エポキシ樹脂 ・　可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	
※　樹脂注入工法	・　低粘度エポキシ樹脂 ・　高粘度エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
※　Ｕカットシール材充てん工法	※　可とう性エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
	・　シーリング材ＰＵ－２ ・　可とう性エポキシ樹脂	1.0～1.5未満 1.5～2.0未満 ～　未満	
※　注入工法	・　超微粒子セメント系注入材		

・　欠損部改修　<4.2.2>＜4.4.8～9>

工　法	材　料	欠損程度	想定箇所数
※　充てん工法	・エポキシ樹脂モルタル	100*100程度	
		300*300程度	
	・ポリマーセメントモルタル	500*500程度	
		700*700程度	
		700*700を超える	
・　モルタル塗替え工法	・<表4.4.1>による	20程度 ﾗｽ下地25程度	
	・ポリマーセメントモルタル		

2．モルタル塗り仕上外壁

訂正	月　日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙橋	髙橋	髙橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体）工事	A ― 02
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙橋	担当 髙橋	承認年月日 ・　・	図面名称 建築改修工事特記仕様書(1)　縮尺 NoScale	

4 外壁改修工事

・ 浮き部改修 〈4.4.4〉〈4.4.8～15〉

工法	アンカーピン (本/㎡) 一般部 / 指定部	注入口 (箇/㎡) 一般部 / 指定部	想定箇所
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・ / ※25 ・		
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・ / ※20 ・	※12 ・ / ※20 ・	
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・ / ※20 ・	※12 ・ / ※20 ・	
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・ / ※16 ・		
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・ / ※16 ・	※ 9 ・ / ※16 ・	
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・ / ※16 ・	※ 9 ・ / ※16 ・	
・充てん工法			
・モルタル塗替え工法			

3．タイル張り仕上外壁

・ ひび割れ部改修 〈4.2.2〉〈4.5.5～8〉〈4.5.16〉

工法	材料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (想定m)
※ 樹脂注入工法	・ 低粘度エポキシ樹脂 ・ 高粘度エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
※ タイル貼り除去後・Uカットシール材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シーリング材PU－２	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満 1.0～1.5未満	
・樹脂注入工法の上タイル張替え工法	・ 可とう性エポキシ樹脂	1.5～2.0未満 ～ 未満	
・ タイル部分張替え工法	・ ポリマーセメントモルタル		

・ 欠損部改修工法 〈4.2.2〉〈4.5.7～8〉

工法	材料	平均深さ (mm)	想定延べ面積 (㎡)
※ タイル部分張替え工法	・ポリマーセメントモルタル	10～15未満 15～20未満 ～	
・ タイル張替え工法			

・ 浮き部改修工法 〈4.5.4〉〈4.5.7～15〉

工法	アンカーピン (本/㎡) 一般部 / 指定部	注入口 (箇/㎡) 一般部 / 指定部	想定箇所
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・ / ※25 ・		
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・ / ※20 ・	※12 ・ / ※20 ・	
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・ / ※20 ・	※12 ・ / ※20 ・	
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・ / ※16 ・		
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・ / ※16 ・	※ 9 ・ / ※16 ・	
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・ / ※16 ・	※ 9 ・ / ※16 ・	
・充てん工法			
・モルタル塗替え工法			

・ 目地改修工法
・ 目地ひび割れ部改修工法　　位置及び寸法は図示による。
・ 伸縮調整目地改修工法　　位置及び寸法は図示による。

4．材料

アンカーピンの材質 〈4.2.2〉
※ 〈4.2.2(5)(6)〉による。
アンカーピン固定用エポキシ樹脂 〈4.2.2〉
※ JIS A6024のJIS表示認証製品　　※硬質　高粘度形
注入用エポキシ樹脂
※ JIS A6024のJIS表示認証製品

5．タイル張り

タイルの種類　JIS A 5209のJIS表示認証製品 〈4.2.2〉〈4.5.8〉

施工箇所	形状寸法(mm)	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	役物 無	色 標準	色 注文	再生材利用タイル	備考
		・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	

※セメントモルタルによるタイル張替え工法
〈表4.5.4〉により、小口タイル以上二丁掛け以下は密着張りとする。
・有機系接着剤によるタイル張替え工法　〈表4.5.5〉による。

4 外壁改修工事

⑥. 塗り仕上げ外壁

⊙仕上塗材 〈4.1.5〉〈4.2.2〉〈表4.2.4～5〉

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工法	備考
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌 ・さざ波 ・平たん ・凹凸 ・着色骨材砂壁状	・吹付け ・ローラー ・こて	
⊙厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ⊙外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・さざ波 ・平たん ・凹凸 ・ひき起し ⊙模様吹き	⊙吹付け ・ローラー ・こて	
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・可とう形複層塗材CE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・凸部処理 ・凹凸 ・ゆず肌	・吹付け ・ローラー	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材RE	・平たん ・さざ波 ・ゆず肌	・吹付け ・ローラー	

7．外壁用塗膜防水材塗り

〈4.1.5〉〈4.2.2〉〈4.8.2〉〈表4.2.6〉

外壁用塗膜防水塗り
仕上げの形状　・　　工法・
外壁用仕上塗材の耐候性　・
※JIS A 6909の耐候性1種相当
下地挙動緩衝材の適用　・適用する　・適用しない
吹付け工法の模様材の種類　・
・所要量　(kg/㎡)
外壁用仕上塗材の種類　・
・所要量　(kg/㎡)

コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書４章　外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による

モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は，改修特記仕様書４章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書４章外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による

⑧. 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理

〈4.5.4〉

工法	処理範囲
・ サンダー工法	※ 既存仕上面全体　・ 図示
・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上面全体　・ 図示
・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上面全体　・ 図示
⊙ 水洗い工法	※ 既存仕上面全体　・ 図示

5 建具改修工事

①. 一般事項

改修工法 〈5.1.3〉
・ かぶせ工法　・ 撤去工法
新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。

見本の作成等 〈5.1.5〉
製　作　※ 行わない　・ 行う（建具表による）
仮　組　※ 行わない　・ 行う（建具表による）

防犯建物部品　※ 使用しない　・ 使用する（建具表による）　〈5.1.7〉

2．アルミニウム製建具

外部に面する建具 〈5.2.2〉〈5.2.4〉〈表5.2.1〉

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
・ A 種	S－4	A－3	W－4	70（引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は、100）
・ B 種	S－5			
・ C 種	S－6	A－4	W－5	※100　・

※ 適用箇所は図示による

表面処理	外部に面する建具	※ BB－１種　・ BB－２種
	内部建具	※ BC－１種　・ BC－２種

BB－２種、BC－２種の場合　・ブロンズカラー（※標準色　・濃色）
・ステンカラー

防音ドア、防音サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・ Ｔ－１　・ Ｔ－２　・ Ｔ－３

断熱ドア、断熱サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３

耐震ドア、耐震サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級　・ Ｄ－１　・ Ｄ－２

5 建具改修工事

3．網戸

使用方法による区分　※外面納まりの可動式　・内部納まりの開き式 〈5.2.3〉

防虫網（線径0.25mm　網目16-18メッシュ）
・ガラス繊維入り合成樹脂　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316)　※合成樹脂
防鳥網　※ステンレス（SUS304）線径1.5mm　ピッチ15mm

4．樹脂製建具

外部に面する建具性能等級等 〈5.3.2〉〈表5.3.1〉

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
・ A 種	S－4	A－4	W－4	※建具表による
・ B 種	S－5		W－5	
・ C 種	S－6			

※ 適用箇所は図示による

防音ドア、防音サッシ 〈表5.3.2〉
・ 適用する（適用範囲は図示による）　※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・ Ｔ－Ａ種　・ Ｔ－Ｂ種

断熱ドア、断熱サッシ 〈表5.3.3〉
・ 適用する（適用範囲は図示による）　※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・ Ｈ－Ａ種　・ Ｈ－Ｂ種　・ Ｈ－Ｃ種

表面色 〈5.3.4〉
・標準色（白）　・特注色（・黒　・ブラウン　・シルバー）

5．鋼製建具

簡易気密型ドアセット 〈5.4.2〉〈5.4.4〉〈表5.4.1〉〈表5.4.2〉
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※ Ａ－３　・
水密性　※ Ｗ－１　・
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性　※ Ｓ－４　・ Ｓ－５

建具寸法が〈5.4.4(1)〉を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ (mm)
窓	枠類	枠，方立，無目	〈表5.4.2〉に同じ
出入口	枠類	一般部分	2.3
	戸	中骨	2.3
上記以外			〈表5.4.2〉に同じ

標準型鋼製建具　※ 使用する　・ 使用しない 〈5.4.6〉

6．鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット 〈5.5.2～4〉〈表5.5.1〉
※ 使用する(適用箇所は図示による)
気密性　※ Ａ－３　・
・ 使用しない
戸の鋼板　※ 亜鉛めっき鋼板　・ ビニル被覆鋼板　・ カラー鋼板

標準型鋼製軽量建具　※ 使用する　・ 使用しない 〈5.5.6〉

標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり　※ 鋼製　・ アルミ製

7．ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット 〈5.6.2〉
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※ Ａ－３　・
水密性　※ Ｗ－１　・
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性　※ Ｓ－４　・ Ｓ－５
表面処理　※ ＨＬ　・ 〈5.6.4〉
鋼板の曲げ加工　※ 普通曲げ　・ かど出し曲げ 〈5.6.5〉

8．木製建具

(16.7.2～4)
建具材の加工、組立時の含水率　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種
かまち戸の樹種　かまちは杉上小節程度　桟，鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り　※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度
ふすまの種類　※ 戸ぶすま 工法（・ 在来型　・ チップ型）

⑨. 建具用金物

〈5.8.2〉〈表5.8.1〉
材質は（表16.8.1）により、建具の形式に応じたものとする。
（表16.8.1）以外で建具の機能上必要な金物は、建具の製造所の仕様による。

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。

マスターキーの製作　・ 要（　本）　・不要 〈5.8.4〉
⊙ 不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

鍵　箱　・ 要（市販品　フック数(本)・30　・40　・60　・100）
⊙ 不要

⑩. 自動ドア開閉装置

性能　⊙ 引き戸用駆動装置 〈5.9.2〉〈表5.9.1～2〉
・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置

引き戸用検出装置の種類　⊙ 光線式（反射）センサー 〈5.9.3〉〈表5.9.4〉
・ タッチスイッチ
・
※ 多機能トイレ出入口に設置される引き戸用開閉装置は、補助センサー併用とする

凍結防止装置　・ 要　※ 不要
全半開装置　※ 設ける（半開幅＝　）
・ 設けない

11. 重量シャッター

〈5.10.2〉〈表5.10.1〉

種類	シャッターケース	耐風圧強度	開閉方式	保護装置
・ 管理用シャッター	※ 設ける ・ 設けない	建具表及び図示による	※ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式	障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける。
・ 防火シャッター ・ 外壁用 ・ 屋内用	※ 設ける ・		※ 上部電動式(手動併用)	
・ 防煙シャッター				

スラット及びシャッターケース用鋼板 〈5.10.3〉
※溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)

12. 軽量シャッター

〈5.11.2～4〉〈表5.11.1〉

開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度	スラットの形状	保護装置
※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用)	※ 設ける ・ 設けない	建具表及び図示による	※ インターロッキング型 ※ オーバーラッピング型	障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける

スラットの材質 〈5.11.3〉
※塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)
・塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)

13. オーバーヘッドドア

〈5.12.2～3〉

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形	・ ５０ ・ ７５ ・１００ ・１２５ (JIS A4715による強さの区分)	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置　※ 設ける　・ 設けない

⑭. ガラス

〈5.14.2〉〈5.14.5〉
※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。
※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。
合わせガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅱ－１類　・ Ⅱ－２類　・ Ⅲ類

訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙 橋	髙 橋	髙 橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	A ―― 03
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙 橋	担当 髙 橋	承認年月日 ・　・	図面名称 建築改修工事特記仕様書(２)	縮尺 NoScal e

6 内装改修工事

① 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 <6.1.3>
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側６００mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま
・ 図示の範囲

② 既存床の撤去・下地補修

合成樹脂塗床の除去方法 <6.2.2(1)>
・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法
⊙ 当該室全体 ・ 図示の範囲

③ 改修後の床の清掃範囲

④ 既存壁の撤去・下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 <6.3.2(1)>
※ <4.4.9>による ・（ ）

5．木 材

表面仕上げの程度 <6.5.1(3)>

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
手加工	・Ｈ－Ａ種	
	・Ｈ－Ｂ種	
	・Ｈ－Ｃ種	

含水率 下地材 ※ Ａ種 ・ Ｂ種 <6.5.2(1)><表6.5.3>
造作材 ※ Ａ種 ・ Ｂ種

造作材の材面の品質 ※ Ａ種 ・ Ｂ種 <6.5.2(2)><表6.5.4>

6．集成材

造作用集成材は<6.5.2(3)>による <6.5.2>

見付け材面	JASによる集成材	その他
等級	※ １等 ・ ２等	※ JAS集成材１等同等
単材の樹種		
単材の厚さ(mm)	10～15	10～15

⑦ 床張り用合板

下地用合板 (12.2.1)
※ JASの構造用合板 特類 ２等以上 Ｃ－Ｄ以上
・（ ）

8．防腐・防蟻・防虫処理

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 <6.5.5>
適用部材（ ） 保存処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4
薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。
防虫処理
ラワン材 保存処理性能区分 ※K1

⑨ 軽量鉄骨天井下地材

野縁などの種類 <6.6.2><表6.6.1>
屋内 ※ 19型 ・ 25型 （室名： ）
屋外 ・ 19型 ※ 25型

インサート <6.6.4(1)>
⊙ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける

あと施工アンカーの確認試験 <6.6.4(1)>
・ 行う ※ 行わない

耐震性を考慮した補強 <6.6.4(10)>
※ 行わない ・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等） <6.6.4(11)>
※ 行わない ・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

⑩ 軽量鉄骨壁下地材

スタッド、ランナーなどの種類は<表6.7.1>による。 <6.7.3><表6.7.1>

⑪ 体育館の鋼製床下地

※ JIS A 6519のJIS表示認証製品

⑫ ビニル床シート張り

JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2><6.8.3>

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※FS ・TS	※無地 ・マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・耐動荷重	※熱溶接 ・突付け
・ 発泡層のあるもの	・HS ・KS	・	・	・	・

目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法

13. ビニル床タイル張り

JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2>

種類	記号	寸法	厚さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	※ ＫＴ	※ 300×300 ・	※ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・ ＦＴ	・ 300×300 ・ 450×450	・ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重

目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法

14. ビニル床タイル・ビニル床シートの特殊機能

帯電防止 <6.8.2>
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）1.2～3.1程度
又は耐電圧（JIS L 1023)3kV以下
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）3.2～5.1程度
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10^10オーム未満
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）5.2以上
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10^7オーム未満

耐動荷重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。

15. 視覚障害者用床タイル

<6.8.2>

材質	寸法(mm)
・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系	300×300

⑯. ビニル幅木

材 種 ※ 軟質 ⊙ 硬質 ・ 溶接 <6.8.2>
高 さ(mm) ⊙ 60 ※ 75 ・ 100
厚 さ(mm) ・ 1.5 ※ 2.0

17. カーペット敷き

・ タフテッドカーペット <6.9.2～3><表6.9.2>

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質	帯電性
	・	・	※全面接着工法 ・グリッパー工法		・<6.9.2(2)>による

・ タイルカーペット <6.9.2～3><表6.9.1>

施工箇所	種類	パイル形状	寸法	総厚さ	帯電性
	※第１種 ・第２種	※ループパイル ・カットパイル	※500×500 ・	※ 6.5 ・	製造所の仕様による

18. 合成樹脂塗床

材料の種類 <6.10.2>
・ 厚膜型塗床材
・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材
・ エポキシ樹脂系塗床材
・ 薄膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床材）

仕上の種類 <6.10.3>
・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ

⑲. フローリング張り

・単層フローリング <6.11.2～6><表6.11.1～6>

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
・ フローリングボード１等	※なら ・	※１５幅 ７５ ・ 長さ400以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・ フローリングブロック１等	※なら ・	※１５（303×303） ・	・接着工法	

⊙複合フローリング

種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
・ 複合フローリング	※なら ・さくら ・ひのき ・	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	・行う ※行わない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・既塗装品
⊙ 大型積層フローリング	・なら ・さくら ⊙かば	・	・行う ⊙行わない	⊙特殊張り工法（体育館床）	

20. 畳敷き

畳の種別 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 <6.12.2><表6.12.1>
※ Ｃ種 ・ Ｄ種（ ）

㉑. 石こうボード その他ボード張り

<6.13.2～3><表6.13.1><表6.13.5>

種類又は記号	種別など	厚さ(mm)		規格番号
けい酸カルシウム板（繊維強化セメント板）0.8ＦＫ		壁	⊙ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430（タイプ2）
		天井	⊙ 6(不燃) ・ 12(不燃)	
グラスウール吸音ボード（吸音材料）ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス（JIS A 3414 EP18程度）額縁張り品		25(不燃)	JIS A 6301（32K）
ロックウール化粧吸音板（吸音材料）ＤＲ	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12(不燃) ⊙ 15(不燃) ・ 19(不燃)	
せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｒ		壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	
シージングせっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｓ		壁	⊙12.5(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(不燃) ※12.5(不燃)	
不燃積層せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 色 ※白 ・黄		9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｄ	木目模様	壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
	木目模様（裏桟付き）特殊模様	天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	

せっこうボードの目地処理 ・ 継目処理工法 ※ 突き付けＶ目地工法
・ 突き付け工法 ・ 目透し工法

22. 遮音シール材

・アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド <6.13.2>

㉓. 壁紙張り

<6.14.2>

施工箇所	品質	防火種別
便所、洗面ｽﾍﾟｰｽ室	中級品	⊙不燃 ・準不燃 ・その他
健康体力相談室	中級品	⊙不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他

㉔. タイル張り

タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 <6.16.3>

施工箇所	形状寸法(mm)	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	役物 無	色 標準	色 注文	再生材利用タイル	備考
ポーチ2	150×150	・	⊙	・	・	⊙	・	・	
身障者便所	100×200	・	・	・	・	⊙	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	

内装タイルの工法 <6.16.3～4>
・ 改良積上げ張り 施工箇所（ ）
⊙ 接着剤張り 施工箇所（ 身障者便所 ）

7 塗装改修工事

1．防火材料

<7.1.3>
※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。 （ ）

② 下地調整

<7.2.1>
塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲
※塗替え面積の30% ・図示

<7.2.2～7><表7.2.1～7>

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	下地調整の種別 新規	ひび割れ部の補修
木部	※RB種	・RA種 ・RB種	－
鉄鋼面	※RB種	RA種	－
亜鉛めっき鋼面	※RB種	RA種	－
モルタル面、プラスター面	※RB種	・RA種 ・RB種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面	※RB種	・RA種 ・RB種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）、押出成形セメント板面	・	RA種	・行う ・行わない
せっこうボード面、その他ボード面	※RB種	・RA種 ⊙RB種	－

③ 錆止め塗料塗り

<7.3.2～3><表7.3.1～4>

塗装面			塗料	工程
鉄鋼面	EP－G以外	塗替え	Ａ種	※Ｃ種
		新規見え掛り	Ａ種	※Ａ種
		新規見え隠れ	Ａ種	※Ｂ種
	EP－G	塗替え	Ｂ種	※Ｃ種
		新規見え掛り	Ｂ種	※Ａ種
		新規見え隠れ	Ｂ種	※Ｂ種
亜鉛めっき鋼面	EP－G以外	塗替え	※Ｂ種	※Ｃ種
		新規（鋼製建具）	※Ｂ種	※Ａ種
		新規（鋼製建具以外）	※Ｂ種	※Ｃ種
	EP－G	塗替え	※Ｂ種	※Ｃ種
		新規（鋼製建具）	※Ｂ種	※Ａ種
		新規（鋼製建具以外）	※Ｂ種	※Ｃ種

3．各種塗装

<7.4.2～14.2><表7.4.1～14.1>

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
・合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）塗料の種別 ※１種 ・２種	木部屋外	※Ｂ種	※Ａ種
	木部屋内	※Ｂ種	※Ｂ種
	鉄鋼面	※Ｂ種	※Ｂ種 ・Ａ種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※Ａ種	※Ｂ種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※Ｂ種	※Ｂ種
・クリヤラッカー塗り（CL）		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）		－	－
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り（NAD）		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面 上塗り等級（ ）級	・	Ａ種
	亜鉛めっき面 上塗り等級（ ）級	・	Ａ種
	コンクリート面 押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・	・
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP－G）	コンクリート面等	※Ｂ種	※Ｂ種 ・Ａ種
	屋内の木部	※Ｂ種	・Ａ種
	屋内の鉄鋼面	※Ｂ種	※Ｂ種 ・Ａ種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※Ｂ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）		※Ｂ種	※Ｂ種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP－Ｔ）		※Ｂ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・オイルステイン塗り（OS）		－	－
・木材保護塗料塗り（WP）		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種

8-1 耐震改修工事（鉄筋工事）

1．鉄筋の種類

<8.2.1><表8.2.1>

規格名称	種類の記号	径(mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295Ａ ※ SD345	※ Ｄ16以下 ・ ※ Ｄ19以上 ・

2．溶接金網

※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 <8.2.2>
線径(mm) 6.0 × 網目(mm) 100
使用箇所（ ）

3．鉄筋の継手

径 19 mm 以上 ※ガス圧接 ・ 重ね継手 <8.3.4>

4．柱の帯筋

・ 図示

5．圧接完了後の抜取試験

試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験 <8.3.8>

8-2 耐震改修工事（コンクリート工事）

1．設計基準強度

普通コンクリート（N/mm2） <8.1.3>

設計基準強度	適用箇所
※ ２１	

2．レディーミクストコンクリート

類別 ※ Ⅰ類 ・ Ⅱ類 <8.1.3><表8.1.1>

3．打放し仕上げの種別

<8.1.4><表8.1.4>

種別	適用箇所
・ Ａ種	
※ Ｂ種	
・ Ｃ種	

4．セメントの種類

<8.2.5>

セメントの種類	適用範囲
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種	建物躯体（下記以外）
・高炉セメントＢ種	基礎、地中梁
・フライアッシュセメントＢ種	基礎、地中梁

5．骨 材

使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 <8.2.5>
※ Ａ ・ Ｂ

6．混和材料

混和剤 ※ AE剤、AE減水剤Ｉ種又は高性能ＡＥ減水剤 <8.2.5>

7．軽量コンクリート

<8.9.1><表8.9.1>

種別	適用箇所	気乾単位容積質量(t/m3)

8．無筋コンクリート

<8.11.1>

適用箇所

9．グラウト材

無収縮グラウト材は、製造所で調合された材料を使用する。 <8.2.12>
圧縮強度(N/mm2) ：30以上

コンシステンシー J14: ロート値(秒) ６～10

乾燥収縮（×１０$^{-4}$）：０

10．柱底等の均しモルタル

無収縮モルタル材 ・ 使用する ・ 使用しない <8.2.12>

11．型 枠

せき板の種類 ※ 12mm合板 ・ <8.2.7>
せき板の塗料 ※ 無 ・ 有

12．コンクリートの打込み工法

※ 流込み工法 ・ 圧入工法 <8.21.8><8.23.5>

13．既存部分の撤去

既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ <8.21.2>
既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・

8-3 耐震改修工事（あと施工アンカー工事）

1．あと施工アンカー

<8.2.4>
※ 接着系アンカー 〔引張耐力 (KN)，せん断耐力 (KN)〕
アンカーの種類 ※カプセル型回転・打撃式
接着剤 ※ 有機系 ・ 無機系
・ 金属系アンカー 〔引張耐力 (KN)，せん断耐力 (KN)〕
打込み方式 ※ 本体打込み式改良型

2．あと施工アンカーの試験

性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う <8.2.4>
施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない <8.12.7>

3．埋込配管等の探査

範囲 ※穿孔箇所すべて ・図示 <8.12.4>

8-4 耐震改修工事（鉄骨工事）

1．鉄骨製作工場

※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場
・ Ｓ ・ Ｈ ・ Ｍ ・ Ｒ ・ Ｊ
・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場

2．鋼材の種類

<8.2.8><表8.2.7>

材質	規格
・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400	JIS表示認証製品
・SN400B,C ・SN490B,C ・SM400 ・SM490	
・	

3．高力ボルト

<8.2.9>

ボルト種別	セットの種類
※トルシア形高力ボルト	※建築基準法に基づき認定を受けたもの
・ＪＩＳ形高力ボルト	※２種(F10T) ・
・溶融亜鉛メッキ高力ボルト	※１種(F8T相当) ・

4．溶接部の試験

※超音波探傷試験 <8.15.12>

5．錆び止め塗装

<7.3.2～3> による。 <8.17.4>

6．耐火被覆

<8.18.2～8>

種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)
・耐火材吹き付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り			
・耐火塗料			

訂正	月	日

SASAKI AKIRA ARCHITECT OFFICE
一級建築士事務所 岩手県知事登録 第お（2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061 岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222 FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	髙橋	髙橋	髙橋	盛岡体育館大規模改修（建築主体）工事	A ―― 04
一級建築士 登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋 雅人	製図 髙橋	担当 髙橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 建築改修工事特記仕様書(3)	縮尺 NoScale

7．アンカーボルト (7.2.4)

種別	適用箇所
・Ａ種	
※Ｂ種	
・Ｃ種	

8．既存部分の撤去
既存仕上げの撤去範囲　※ 図示　・ 〈8.22.2〉
既存躯体の撤去範囲　※ 図示　・

8-5 耐震改修工事（柱補強工事）

1．工　法
・ 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 〈8.23.5〉
溶接金網の継ぎ手　※ 重ね継ぎ手
コンクリート及び構造躯体用のモルタルの打設
・ 圧入工法　・ 流し込み工法
・ 鋼板巻き工法 〈8.23.6〉
・ 帯板巻き付け工法 〈8.23.6〉

2．既存部分の撤去
既存仕上げの撤去範囲　※ 図示　・ 〈8.23.2〉
既存躯体の撤去範囲　※ 図示　・

8-6 耐震改修工事（耐震スリット）

1．スリットの種類
・ 完全スリット　・ 部分スリット 〈8.25.1〉

2．スリットの充填材
耐火材の使用　・ 使用する　・ 使用しない 〈8.25.2〉
適用箇所　※ 図示
遮音材の使用　・ 使用する　・ 使用しない
適用箇所　※ 図示

8-7 耐震改修工事（連続繊維補強工事）

1．連続繊維シート
・下地処理 〈8.2.13〉〈8.24.6〉
・ひび割れ部改修
範囲　・図示による（　　）
種類　・

連続繊維補強材の強度試験
・引張強度試験
※JIS A 1191（コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法）による
・
試験数量　・図示による（　　）
・付着強度試験
※JIS A 6909（建築用仕上塗材）による
・
試験数量　・図示による（　　）

8-8 土工事及び地業工事

1．埋戻し及び盛土
埋戻し及び盛土 〈8.28.3〉
・Ａ種　適用場所（　　）
・Ｂ種　適用場所（　　）
・Ｃ種　適用場所（　　）　土質（　　）
受渡場所（　　）
・Ｄ種　適用場所（　　）

2．建設発生土の処理
・構外に搬出し適切に処理する。
・構外指示の場所に搬出する。
受入れ施設名・住所（km）
・構内指示の場所に敷きならす。
・構内指示の場所にたい積する。

3．山留めの撤去
鋼矢板等の抜き後の処理 〈8.28.3〉
・ ※直ちに砂で充填する
山留めの存置
・行う　（存置範囲　※図示（・　　））
・

4．砂利地業
材料 〈8.2.15〉〈8.28.4〉
※再生クラッシャラン
・切込み砂利又は切込み砕石
厚さ及び適用範囲

厚さ	適用箇所
※60	・基礎スラブ下　・基礎梁下　・土間コンクリート下 ・土に接するスラブ下　・
・	・

5．捨コンクリート地業
厚さ及び適用範囲 〈8.2.15〉〈8.28.4〉

厚さ	適用箇所
※50	・基礎スラブ下　・基礎梁下　・土間コンクリート下 ・土に接するスラブ下
・	・

6．床下防湿層
材料 (4.6.2)
・
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上
施工範囲 (4.6.5)
・図示（　　）

9-1 環境配慮改修工事（石綿含有建材の処理工事）

①．石綿含有建材の除去工事
施工調査 〈9.1.1、3～5〉
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲（⊙ 改修工事範囲　・図示　）
貸与資料（ 設計時等　石綿調査結果報告書　）

・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、
クリソライト、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	JIS A 1481 または JIS A 1481-2	JIS A1481-3または JIS A 1481-4
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所

サンプル数　1箇所あたり３サンプル
採取箇所　・図示　・

・石綿粉じん濃度測定 〈9.1.1〉
測定点　測定時期、場所及び

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定個所数
・	測定１	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定２		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定３	処理作業中	処理作業室内	・計　点
	測定４		セキュリティゾーン入口	・計　点
	測定５		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置
	測定６		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点 （各施工箇所ごと）
・	測定７	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計　点
・	測定８	処理作業後シート	処理作業室内	・計　点
・	測定９	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定４ ・測定５	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定４　・ ・測定５	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・図示　・
除去工法　・　※9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲　・図示　・
除去工法　・破砕して除去　・手ばらし
除去した石綿含有保温剤等の飛散防止
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
⊙石綿含有成形板の除去
除去対象範囲　⊙図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
⊙埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
石綿含有建材除去後の仕上げ工事　・図示　・

石綿含有建材等調査結果（設計業務委託時）
調査日　R6年　8月

試料No.	調査試料名称	調査箇所	石綿の有無	石綿等の種類
1	外装厚塗材E(石目調)	外壁	無	
2	モルタル	ポーチ2床	無	
3	複層塗材E(アクリル吹付タイル)	アリーナ壁・柱	無	
4	ケイ酸カルシウム板	駐車場　天井	無	
5	内装薄塗材E(多彩模様塗材)	２階　通路壁	有	クリソタイル
6	トイレブース接着剤	トイレブース	無	

※石綿含有建材等・・・石綿含有建材、PCB含有建材を言う。

9-2 環境配慮改修工事（断熱化工事）

①．断熱材
断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19.9.2)(19.9.3)

種類	箇所	厚さ(mm)	備考
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・Ａ種ビーズ法 ※Ａ種押出法 ２種ｂ	・ 25 ・	JIS A 9521のJIS表示認証製品
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（Ａ種）	・２種ｂ ・３種ｂ（スキン層あり）	下記以外 接地部分及び屋根防水部分ピット内部 ※ 25 ・	
⊙ 硬質ウレタンフォーム断熱材	⊙Ⅰ種 ・	⊙R階屋上 ⊙ 25	
・ フェノールフォーム断熱材	・ ・	・ ・	JIS A 9521のJIS表示認証製品
⊙ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材	※Ａ種１Ｈ ・	⊙アリーナ小屋裏 ※ 30 ・	JIS A 9526による難燃性 ・２級　※３級
・	・	・ ・	

※　施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種類	箇所	厚さ(mm)	備考
・ ＪＩＳＡ発泡プラスチック保温材	・Ａ種ビーズ法 ※Ａ種押出法　下記以外 ２種ｂ ※Ａ種押出法　接地部分及び屋根防水部分ピット内部 ３種ｂ（スキン層あり）	※ 25	JIS表示認証製品
・ グラスウール保温材	※24Ｋ品	※ 100 ・	JIS表示認証製品

※　グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※　被覆品　・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り　(重ね100)

10 パネル・押出成形セメント板工事 コンクリートブロック・ALC

1．コンクリートブロック帳壁及び塀
ブロックの種類 (8.3.2)(表8.3.1)
※　空洞ブロック　C(１６)

11 舗装工事

1．再生材　※ 使用する　・ 使用しない (22.1.3)

2．盛土材料　路床の盛土材料　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 (22.2.3)

3．フィルター層及び凍上抑制層用材料
フィルター層　※ 砂 (22.2.2)(22.2.3)
凍上抑制層　※ 再生クラッシャラン　・ 切込砂利又は切込砕石

4．路床安定処理
路床安定処理添加材料 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.1)
※ 普通ポルトランドセメント　・ 高炉セメントＢ種
・ フライアッシュセメントＢ種
・ 生石灰（・特号　・１号）　・ 消石灰（・特号　・１号）

5．砂の粒度試験　※ 行わない　・ 行う (22.2.3)

6．路床土の支持力比（CBR）試験
※ 行わない　・ 行う（※ 乱した土　・ 乱さない土） (22.2.5)

7．路床の締固め度の試験
・ 行わない　※ 行う（箇所:埋戻し及び盛土部） (22.2.5)

8．路盤材料
※ 再生クラッシャラン　ＲＣ－40 (22.3.3)(表22.3.1)
（透水性舗装の場合を除く）
・ クラッシャラン　Ｃ－40
・ クラッシャランスラグ　ＣＳ－40

9．路盤の締固め度の試験
※ 行う (22.3.5)

10．アスファルト舗装
加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.2)(22.4.4)(表22.4.4)

表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（13） ・ 密粒度アスファルト混合物（13） ・ 細粒度アスファルト混合物（13） ・	舗装の厚さは図示による
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（20） ・ 粗粒度アスファルト混合物（20） ・	

舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする
アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う (22.4.6)

11．コンクリート舗装
早強ポルトランドセメント　・ 使用する　※ 使用しない (22.5.3)
溶接金網　※ あり　・ なし

12．カラー舗装 (22.6.2)

	種類	部位	厚さ(mm)
加熱系	※ アスファルト混合物	・ 車道部　・ 歩道部	図示による
	・ 石油樹脂系混合物	・ 車道部　・ 歩道部	
	・ ニート工法	・ 車道部　・ 歩道部	３～５
常温系	・ 塗布工法	・ 車道部　・ 歩道部	１程度以下

着色骨材・自然石（　　） (22.6.3)

13．透水性アスファルト舗装
構成　・図示 (22.7.2)(22.7.6)
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う
舗装の平たん性は著しい不陸がないものとする

14．ブロック系舗装
・ インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.4)(表22.8.1)
・ コンクリート平板舗装　※ 砂目地　・ モルタル目地
・ 舗石舗装基層　※ コンクリート版　・ アスファルト混合物

15．砂利敷き　※ Ａ種（通路）※ Ｂ種（建物周囲その他） (22.9.2)

16．区画線　※ JIS K 5665 ３種１号

12 ユニット及びその他の工事

1．フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工場所	工法	仕上高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・帯電防止床タイル ・タイル
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（支柱調整式工法）				

ボーダー部　※ 一般部分の仕様に準ずる　・ 図示による
床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。
配線取出し用切り欠きパネルは１枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し（吸い込み）パネル　※ なし
・ 有り（※固定式　・可変式）
施工箇所は図示

2．可動間仕切（パーテーション） (20.2.3)
構造形式による種類　スタッド式（内蔵）
構成基材　・アルミニウム合金系　・スチール系
パネル表面材　焼付塗装鋼板（標準色）ｔ＝0.5以上
遮音性　３６dB/500Hz以上
防火性能　不燃

3．移動間仕切（スライディングドア） (20.2.4)
パネルの操作方法による種類　規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ　製造所仕様の化粧鋼板（標準色）ｔ＝０．５以上
パネル圧接装置の操作方法　ハンドル回転式又はプッシュ式
遮音性　３６dB/500Hz以上
防火性能　不燃
取り付け用あと施工アンカー　材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

④．トイレブース (20.2.5)
⊙図　示（図面№　85　）

5．階段滑り止め（ノンスリップ） (20.2.6)
材　種　ステンレス（SUS304）
ビニールタイヤ入り（幅約35mm）
取り付け方法　ステンレス（SUS304）　・ 埋込み工法

6．床目地棒　ステンレスＦＢ（SUS304）　ｔ５～６×H12 (20.2.7)
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7．鏡　耐湿鏡　ｔ＝５　ステンレスフレーム付き (20.2.9)

8．表　示　衝突防止表示　ＨＬ仕上げ　Φ30程度　市販品　ステンレス製 (20.2.10)
誘導標識　市販品
室名札　アクリル板

⑨．点検口
（天井　既存取外し再取付）

施工箇所	材種	寸法	形式
天井	※ アルミニウム製 ・	※ ４５０×４５０ ・ ６００×６００	※ 目地タイプ ・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製 ・	・ ４５０×４５０ ※ ６００×６００	※ 一般形貼物用 ・ 一般形充填用

10．視覚障害者用誘導ブロック　屋　外　※ コンクリート製　・ 磁器質タイル

⑪．ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ
ユニットサイズ　⊙間口800　奥行1200　天井高2000
（最終サイズは監督員の指示による）
床　⊙ユニット仕様による
壁　⊙ユニット仕様による
天井　⊙ユニット仕様による　⊙フラット天井
水栓　⊙シャワー水栓
ドア　⊙折戸　幅700　半透明樹脂ｶﾞﾗｽ
照明　⊙壁付き照明
換気扇　⊙天井換気扇
その他　⊙タオル掛け

訂正	月	日

SASAKI AKIRA ARCHITECT OFFICE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙橋	髙橋	髙橋	盛岡体育館大規模改修（建築主体）工事	A ―― 05
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙橋	担当 髙橋	承認年月日 ・　・	図面名称 建築改修工事特記仕様書(4)	縮尺 NoScale

87.3.13施行

項目	特記事項

工事請負契約に伴う事務手続き等

1 工事着手届の提出

受注者は、契約締結後７日以内に工事着手届を発注者へ提出しなければならない。

2 工事実績情報の登録

請負代金額が５００万円以上の全ての工事は、工事実績情報（工事カルテ）の登録をおこなわなければならない。登録する際は監督員に予め内容の確認を受け、登録完了後、速やかに登録機関発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員へ提出しなければならない。また、機関への登録期限は下記表のとおりとし、日数には「行政機関の休日に関する法律（昭和６３年法律第３１号）」に定める行政機関の休日（土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始）は含まないこととする。

	機関への登録期限	概　要
工事受注時	契約締結後１０日以内	工事着手時
登録内容の変更	変更契約締結後から１０日以内	工期の変更、請負代金額の変更、技術者の変更
工事完成時	工事完成後１０日以内	

3 保　険

工事着手から引渡しまでの期間、工事目的物及び工事材料等を火災保険、建設工事保険その他の保険に付し、その写しを監督員に提出すること。

4 現場代理人の兼務及び常駐義務の緩和

受注者は、現場代理人の常駐義務を緩和させたい場合や、現場代理人を本工事以外の他の工事に兼務させたい場合は、監督員と協議しなければならない。

盛岡市ホームページの「市営建設工事に係る現場代理人及び下請負人に関する取扱いについて」を参照のこと。

5 建設リサイクル法の適用

・対象外工事　○対象工事（本工事は下記表に該当する工事）

工事の種類	規模の基準	備　考
建築物の解体工事	床面積の合計：80平方メートル以上	
建築物の新築・増築工事	床面積の合計：500平方メートル以上	
建築物の修繕・模様替等工事（リフォームなど）	請負代金額：1億円以上（税込み）	
建築物以外の工作物の解体・新築工事等	請負代金額 500万円以上（税込み）	土木・電気・機械工事を含む

落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、発注担当事等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。

6 建設リサイクル法の通知等

特定建設資材（コンクリート、アスファルト・コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材）を用いた対象建設工事は、建設リサイクル法に基づき、発注者は通知書を作成し、工事を着手する前までに所定の特定行政庁へ通知書を提出しなければならない。

7 建設資材廃棄物処理方法等通知書

建設リサイクル法の対象工事の場合、受注者は、盛岡市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の規定により「盛岡市建設資材廃棄物処理方法等通知書」等を工事着手する前までに、所定の行政機関へ提出とする。

8 工　期

全体工期	391	日間	※全体工期 ＝ 余裕期間 ＋ 実工期
うち余裕期間	0	日間	※工期の始期日を含めて数えた180日を超えない日数とする。
うち実工期	391	日間	※工事開始日を含めて数えた日数とする。

実工期には、作業日数、準備日数、後片付け日数のほか休工日（土曜日、日曜日、祝祭日、天候による休工日、連休等（ゴールデンウィーク　７日間、お盆休暇　４日間 、お正月休暇　６日間 ）を含むものとする。

9 余裕期間の設定等

○なし　・あり（本工事の工事着手は、令和　年　月　日からとする。）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に提出資料、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事である。

※１　余裕期間内は、現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の配置を兼しない。

※２　余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

※３　工事実績情報システム(コリンズ)は、実工期にて登録するものとし、工事開始日(変更後の工事開始日含む。)後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録申請するものとする。

※４　工事請負契約約款第３条の規定に基づく工程表には、余裕期間も含めた全体工期を記載するものとする。

※５　工事請負契約約款第４条の規定に基づく契約保証の期間は、全体工期を満たすものとし、契約締結の日から全体工期の終期日までを対象とするものとする。

※６　工事請負契約約款第10条の規定に基づく、現場代理人及び主任技術者等の通知については、工事開始日までに通知するものとする。

※７　工事請負契約約款第16条第２項の規定に基づく工事用地の管理については、工事開始日の前日までは、発注者の責任において行うものとし、受注者に資材の搬入や仮設物の設置等を行わせてはならないものとする。

※８　工事開始日の前日までの期間に施工体制及び建設資材や労働者の確保が図られる場合は、受発注者協議により、工事開始日を変更することができる。なお、工事開始日を遅らせる場合は、余裕期間を180日間超えないこととする。

※９　その他、余裕期間を設定する工事の取扱いは、盛岡市ホームページに掲載されている「余裕期間（建設工事関係）の設定について運用基準」による。

10 週休２日工事

○週休２日工事(発注者指定型)　・週休２日工事(受注者希望型)　・週休２日交替工事(発注者指定型)　・週休２日工事の対象ではない。

○週休２日工事は、４週８休(現場閉所率が28.5%以上)であることを求める。［　・完全週休２日　○月単位の週休２日　・通期の週休２日　］

発注者指定型において、４週８休が達成できない場合は、補正係数分を減額して設計変更を行う。

週休２日工事に取り組むことを理由に工期の延長は行わない。

受注者は、週休２日工事である旨を現場の公衆の見えやすい場所に掲示(※)しなければならない。

手続き及び条件の詳細は、盛岡市ホームページの「盛岡市週休２日工事実施要領」を参照のこと。

（※）週休２日工事　掲示の例

この工事は、盛岡市が発注した週休２日工事です。
建設現場の働き方改革を推進するため、土曜・日曜・祝日の休工日取り組んでいます。
発注者：
電　話：

（※）週休２日交替制工事　掲示の例

この工事は、盛岡市が発注した週休２日交替制工事です。
建設現場の働き方改革を推進するため、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保に取り組んでいます。
発注者：
電　話：

11 工事の一時中止

工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には、中止時点における工事の出来高、搬入材料及び建設機械器具等の調書、中止期間中の休刊及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。

各種検査関係事項

12 指定部分検査及び指定部分工事目的物の引渡し

○なし　・あり（指定部分検査を受けるべき建物等は、下記の表のとおりとする。）

建物または工種	工事段階	備　考

13 中間検査

○「請負工事検査要領（平成25年４月１日改正）」の第６第１項(4)の規定により、中間検査を実施することがある。

○「請負工事検査要領（平成25年４月１日改正）」の第６条第３項の規定により、中間検査を実施することがある。

14 竣年検査

・行わない　○行う（工事の引渡しから１年を経過したときに竣年検査を実施する。）

総合評価

15 総合評価落札方式（建設資材調書）

○なし　・あり（・標準型　・簡易型　・特別簡易型）

建設資材調書の提出は、工事完成後、紙で出力した建設資材調書に押印したものを監督員に提出するものとする。

詳細は、盛岡市ホームページの「総合評価落札方式競争入札」を参照のこと。

発生材の処理等

16 産業廃棄物

・なし　○あり　　工事の施工により発生する産業廃棄物は、以下の場所に搬入することとする。

廃棄物名	産業廃棄物受入施設等名	受入場所	備　考
コンクリート殻（有筋）			
廃コンクリート殻（無筋）			
アスファルト殻			
廃金属類	神佐藤興産	盛岡市手代森18-2-2	
木材	南岩手ハツリ工業	盛岡市川目第3地割19-20	

産業廃棄物受入施設等名については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者が上記施設とは異なる施設で処理する場合においても設計変更の対象とはしない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、この限りではない。

本工事で発生した産業廃棄物は、可能な限り中間処理施設等に於いて再利用、減量化を図るものとする。また、最終処分場で処分される産業廃棄物は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）で管理すること。

17 残土の処理

・構内指示の場所に敷き均し　・構内指示の場所に堆積　・構外搬出(構外搬出場所は「(別紙)発生土等について」による

18 ＰＣＢ分析調査

○なし　・あり（ＰＣＢ分析調査を本工事で実施し、含有していると確認された場合は工事内容を変更する。）

19 特別管理産業廃棄物

・なし　○あり（・ＰＣＢ（・シーリング材　・高圧機器類　・安定器　・低圧機器類 ）○アスベスト）

ＰＣＢを含有する機器等は、廃棄物処理法に基づき、飛散、流出、地下浸透、悪臭が発生しないよう、発注者の指定する施設内の場所へ適切に保管とする。

20 冷媒の回収

○なし　・あり（　　）

冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロンの回収及び破壊の実施の健保等に関する法律（フロン回収破壊法）」に従って行い、監督職員に第一種フロン類回収資格者又は資格者又は登録技術者又は登録業者の写し、フロン回収証明書を提出する。ただし、家庭等のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、法に従ってリサイクル（フロン類の攻修を含む）を行い、監督員に、特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写しを提出する。

21 資源有効利用促進法の運用

受注者は、次のいずれかに該当する数量の建設資材を搬入又は搬出する場合は、再生資源利用（促進）計画書を作成し、監督員に提出後、現場に掲示すること。

・再生資源利用計画書（搬入）

建設資材	数量	対象
・土砂	500m3以上	・
・砕石	200 t以上	・
・加熱アスファルト混合物	200 t以上	・

・再生資源利用促進計画書（搬出）

建設資材	数量	対象
・土砂	500m3以上	・
・コンクリート塊 アスファルト・ コンクリート塊 建設発生木材	合計 200 t以上	・

※国土交通省で定めている様式を準用すること。

※対象となる建設資材については、設計数量をもとに定めている。

現場事務所の掲示等

22 工事表示板の設置

受注者は、契約締結後速やかに、当該工事現場の公衆の見えやすい場所に工事表示板を掲げなければならない。ただし、監督員の承諾を得た場合は、その設置を省略することができる。また、工事表示板の大きさは、日本工業規格Ａ２（420×594）程度を標準とする。

工事表示板（参考）

工 事 名	
発 注 者	
設　計	
監　督	
施　工	
工　期	令和　年　月　日～令和　年　月　日
現場連絡先	電話　　現場代理人

23 施工体制の掲示等

受注者は、当該請負工事における下請負人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成することとし、施工体系図は工事現場の公衆が見えやすい場所へ掲示しなければならない。

共通費の実績変更

24 労働者確保に要する共通費の実績変更について

※１　本工事は、受注者が負担する「労働者に係る宿泊費」、「労働者に係る送迎費」及び「募集及び解散等に要する費用」について、不足する労働者を広域的に確保せざるを得ない場合（以下「実績変更対象費」という。）を受注者の支出実績を踏まえて契約変更することができるものとする。

共通仮設費（精上式）：①宿舎等（借上費、宿泊費）、②労働者送迎費

現場管理費（率式）　：①募集及び解散費に要する費用、②賃金以外の食事・通勤費等に要する費用

※２　実績変更対象費（率分）に含む内容は、下記の内容である。

実績変更対象費（率分）：【現場管理費（率分）】①募集及び解散等に要する費用、②慰安、娯楽及び厚生に要する費用、③純工事費に含まれない作業用具及び作業用被服等の費用、④賃金以外の食事・通勤費等に要する費用、⑤安全、衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用、⑥労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用

※３　受注者は、労働者確保に要する共通費の実績変更（以下「共通費の実績変更」という。）を請求する意思がある場合は、すみやかに書面により発注者に対し通知するものとする。

※４　受注者は、「共通費の実績変更」を請求する場合は、監督員に設計額における「実績変更対象費」を確認の上、実績報告書（様式１）及び実績変更対象費に実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書などという。）を監督員に提出し、「共通費の実績変更」の内容について協議するものとする。なお、実績報告書及び証明書類の提出期限等については、監督員と協議のうえ決定するものとする。

※５　受注者の責めによる工事工程の遅れ等、受注者の責めに帰すべき事由による場加費用については、「共通費の実績変更」の対象としない。

※６　発注者は、「共通費の実績変更」をする場合は、実績変更対象費に実際支払った額のうち証明書類において確認された費用について、下記に示す方法により積算変更時の設計額を算出するものとする。

共通仮設費（精上式）：積算基準により算出した共通仮設費に加算

現場管理費（率式）　：「実績変更対象費に実際支払った額のうち、証明書類において確認された費用から積算基準により算出した現場管理費に含まれる実績変更対象費（率分）を差し引いた費用」を積算基準により算出した現場管理費に加算

※７　発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名停止等の措置を行う場合がある。

※８　発注者は、「共通費の実績変更」に伴う契約変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

※９　詳細については、「労働者確保に要する共通費の実績変更の運用基準（建築・電気設備・機械設備）」のとおりであり、以下のホームページを参考とすること。

http://www.city.morioka.iwate.jp/jigyousha/keiyaku/kensetsuitaku/1008588.html

25 施工体制台帳の作成

受注者は下請負契約を締結した場合、その金額に関わらず施工体制台帳を作成し、その写しを監督員に提出し確認を受けなければならない。

工事関係図書の作成等

26 工事関係担当者の通知

受注者は、現場代理人等を補助する者を定の方法は、工事関係担当者等通知書を提出しなければならない。

27 下請負契約対象の限定

社会保険等に未加入である建設業許可業者を下請負人（二次以下の下請負人を含む。）とすることは禁止することとし、その者を下請負人とした場合は、「工事成績評定の減点」や「受注者の指名停止措置」を講じる。また、社会保険等の未加入業者を下請負人とする場合は、工事請負契約約款第７条の２第２項の規定による。詳細は、盛岡市ホームページの「盛岡市(市上下水道局を含む)発注の工事請負契約における社会保険等未加入対策の強化について（平成30年４月１日）」を参照のこと。

28 工事月間工程報告書の作成

発注者、受注者及び関連工事の受注者の間で工事の進捗状況及び今後の工事工程等を確認するため、受注者は工事月間工程会議で報告しなければならない。ただし、監督員の承諾を得た場合は、報告書の作成を省略することができる。

雛形は、盛岡市ホームページ（盛岡市トップページ ＞ 事業者の皆さんへ ＞ 市の発注契約）の「営繕工事特記仕様書に定める提出書類等」による。

29 休業期間中の現場管理体制の報告

受注者は、工事期間内に工事作業を休業（ゴールデンウィーク、お盆休暇、お正月休暇）する場合は、休業期間中の工事現場の管理体制を報告しなければならない。

30 各種手続き

工事の着手、施工及び完成において官公署への他関係機関へ必要となる諸手続き等は、監督員と協議のうえ受注者が証憑なく処理すること。なお、当該手続きに係る費用はすべて受注者の負担とする。

31 事故報告

本工事で事故が発生した場合、「盛岡市建設工事等における事故報告要領」に基づき報告すること。なお、報告要領は盛岡市ホームページを参照のこと。

32 工事施工上必要な図書等

受注者は、下記表に掲げる工事施工上必要な図書等を作成し、現場に備えなければならない。ただし、監督員の承諾を得た図書等は、その作成を省略することができる。

また、工事完成時には工事施工上必要な図書として監督員へ提出しなければならない。ただし、監督員の承諾を得た図書等は、提出を省略することができる。

（下記表の部数の欄で、工事監理業務委託の監督員が選任されている場合はカッコ書きの部数を提出し、選任されていない場合はカッコ無しの部数とする。）

必要な図書等		部数	提出時期	備　考
施工予定に関する事項	工程表：実施工程表（全体）	2（3）	契約締結後速やかに提出する。	監督員の承諾を受ける。
	工程表：変更実施工程表（全体）			
	週間又は月間工程表	1（2）		監督員の指示により作成する。
	工種別工程表			
	総合施工計画書	2（3）	契約締結後30日以内に提出すること。	盛岡市様式第19号により届け出る。（総合仮設を含む工事の全般的な進め方、主要工事の施工方法、品質目標と管理方針、重要管理事項等、各種検査予定表の大要等を記載し、監督員の承諾を受ける。） なお、選休２日工事の対象の場合は、次の書類を添付すること。 選休２日工事(発注者指定型)：選休２日工事工程表(計画) 選休２日工事(受注者希望型)：選休２日工事工程表(計画) 選休２日交替制工事(発注者指定型)：交替制による選休２日の確保を実施する旨を記載
	工種別施工計画書	2（3）	一工程の施工の着手の７日前を目途に適宜提出すること。	盛岡市様式第19号により届け出る。総合施工計画書に基づいて工種別の施工計画を定める。施工要領のほか、仮設計画、工程計画、養生計画、安全・環境対策、品質計画、一工程の施工の確認を行う段階、施工体制等を記載し、品質計画は監督員の承諾を受ける。
	施工体制台帳の写し	2	適宜提出する。	
	施工図（加工図）	2（3）	一工程の施工の着手前	監督員の承諾を受ける。
	総合図	2（3）	前に適宜提出すること。	監督員の承諾を得て省略することができる。
施工記録に関する事項	工事材料搬入報告書	1（2）	監督員の指示による。	試験成績書、規格証明書、品質証明書等を含む。また、自主検査記録、監理者等検査記録、是正報告書等は監督員の指示により提出。
	工事材料検査記録	1（2）		
	施工報告書	1（2）		
	施工検査（立会）記録	1（2）		
	工事施状況報告書	1（2）	監督員の指示による。	週休２日工事の対象の場合は、次の内容を記載すること。 選休２日工事(発注者指定型)：休工日の実績 選休２日工事(受注者希望型)：休工日の実績 選休２日交替制工事(発注者指定型)：休日率
	工事週報	1	毎週火曜日	監督員の承諾を得て省略することができる。
	工事日報	1（2）	毎月上旬	雛形は盛岡市ホームページによる。
	工事打合せ簿	1（2）		監督員の指示により作成する。
	工事写真	1		「営繕工事写真撮影要領」国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課による。
	産業廃棄物管理票（写）	1（2）		A黒・B２黒・D黒・E黒・受渡確認票
	週休２日工事工程表(実施)	1	工事完成届提出の20日前までに提出すること。	週休２日工事の対象の場合は、次の内容を記載し提出すること。 なお、選休２日交代制工事(発注者指定型)の場合は、実施工程表に記載し提出すること。 選休２日工事(発注者指定型)：休工日の実績、現場閉所の状況 選休２日工事(受注者希望型)：休工日の実績、現場閉所の状況 選休２日交替制工事(発注者指定型)：休日率

工事完成時に提出する必要書類

33 工事完成図書等

受注者は、下記表に掲げる工事完成時に提出する図書等を作成し、監督員に提出しなければならない。ただし、監督員の承諾を得た図書等は、提出を省略することができる。

	提出する図書等	部数	備　考
工事完成図書	工事施工上必要な図書等	1	工事期間中に監督員から承諾を受けた施工図面及びその他の書類全てを提出する。
	主要機器一覧表	1	機器名称、製造者名（連絡先含む）、形式、容量、出力、数量等
	機器完成図	1	
	出荷証明書	1	
完成写真	写真帳	1	
図面の製本	完成図　（Ａ１版、またはＡ２版）	1	黒文字青表紙のニつ折り製本とする。また、完成図は、
	縮小完成図（Ａ３版）	2	工事の完成に合わせ設計図を修正した図面を収めること。
	施工図　（Ａ１版、またはＡ２版）	1	黒文字青表紙のニつ折り製本とする。 ※作成は監督員との協議による。
提示または写しの提出（工事成績評定の加点に係る書類）	安全協議会、安全教育及び安全訓練等（店社パトロール、ＫＹ、ＴＢＭ等）、新規入場者教育		
	仮設工事の点検・監理・記録等		
	建設機械車両の低騒音・低振動・排ガス対策の配慮、過積載防止点検記録		
	品質管理表、品質確認記録、出来形管理記録、社内検査記録		
	地域に貢献したことを証明できる書類（地域イベント参加や道路清掃等）		

34 保全に関する資料

受注者は、下記表に掲げる引渡時に提出する図書等を作成し、監督員に提出するとともに、その内容を施設管理者に説明しなければならない。ただし、監督員の承諾を得た図書等は、提出を省略することができる。

	提出する図書等	部数	備　考
保証書	責任施工部分保証書	2	工事部分に関する保証（例：屋根工事等）
	機器類の製造者保証書	2	
建築物等の利用に関する説明書	建物の主要な構造部や外構について	2	
	建物を使用する方への注意事項	2	
	建物に設置されている建具及び家具、機器等の概要	2	
	建物、工作物、植栽等を管理するうえでの保全業務の要点	2	
	建物等の清掃の要点	2	
機器取扱説明書	系統図及びフローチャート図等により、機器等の配置位置や運転方法、取り扱いに関する注意事項等	2	
	製造者の機器取扱説明書	2	
試験成績書	現地試験成績表	2	各種の建築、電気、機械に係る試験
	機器試験成績表	2	
官公署届出書類	各書関係機関の届出や申請書類	2	原本、原本の写し
緊急連絡先	装置・機器類の不具合や故障が発生したときの連絡表	2	
総合試運転報告書		2	
鍵箱	鍵番号一覧表	―	建築工事の鍵箱に、関連工事の鍵を一式収納すること。
予備品・工具類	機器等に付属されたもの	―	

※１　保全に関する図書は、施設管理者で取扱説明書として利用するものと、監督や検査等で使用する保存版の２部構成とする。

35 情報共有システム（ASP）

○発注者指定型　・受注者希望型（監督員との協議による）

国土交通省が発出した「工事施工中における発注者間の情報共有システム機能要件及び営繕工事編（最新版）」を満たす、情報共有システムを利用すること。

契約後、情報共有システムの取扱いについて「事前協議チェックシート」を監督員に提出し、内容について協議すること。

様式については、以下のホームページを準用すること。

https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/1020273/1020277/1020281.html

36 電子納品特記仕様書

１　適用

本工事は、電子納品の対象工事とする。

電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品するものとする」をいう。ここでいう電子成果品とは、盛岡市電子納品ガイドライン（案）（以下、「ガイドライン」という。）に基づいて作成した電子データを指す。

（http://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/douro_kotsu/douro/1015739.html）

２　電子納品対象書類

本工事における電子納品の実施区分は、次のとおりとする。

（ ）本工事は、電子納品を「義務」として実施する。

(○)本工事は、電子納品の実施を受発注者間の「協議」により決定する。

※いずれかに「○」を記入するものとする

３　電子納品対象書類

［建築関係(建築設備を含む。)］

本工事において、電子納品対象書類を「義務」又は「協議」とする区分は、次のとおりとする。

フォルダ名	書類名	作成者 発注者	作成者 受注者	作成者 受注者 ※ASP利用時	備　考
工事写真			○	○	JPEG形式
PLAN	施工計画書	総合施工計画書		○	PLAN.XML
		工種別施工計画書		○	PLAN.XML
SCHEDULE	工程表	マスター工程表		○	SCHEDULE.XML
		月間工程表		○	SCHEDULE.XML
MEET	打合簿	工事打合せ記録		○	MEET.XML
MATERIAL	機材関係資料	試験計画書		○	MATERIAL.XML
		試験成績書		○	MATERIAL.XML
		品質証明書		○	MATERIAL.XML
		調合表		○	MATERIAL.XML
		規格証明書		○	MATERIAL.XML
PROCESS	施工関係資料	試験計画書		○	PROCESS.XML
		試験成績書		○	PROCESS.XML
		出来高管理図		○	PROCESS.XML
INSPECT	検査関係資料	完成検査記録		○	INSPECT.XML
SALVAGE	発生材関係資料	発生材調書		○	SALVAGE.XML
		処理報告書		○	SALVAGE.XML
DRAWINGF	完成図	完成図	○	○	SFC形式(DRAWINGF.XML) JWW形式、PDF の全て
MAINT	保全に関する資料	保全に関する説明書		○	MAINT.XML
		官公署届出書類		○	MAINT.XML
		備品リスト		○	MAINT.XML
OTHERS	施工図	施工図	○	○	OTHRS.XML
	完成写真	完成写真	○	○	JPEG形式(OTHRS.XML)
	その他の資料			○	OTHRS.XML

※１　作成者欄の「○」は義務、「△」は協議を示す。

※２　上記以外の書類については、受発注者間の協議によって決定する。

※３　ガイドラインで定めているものの他に、電子納品が必要な書類がある場合は、上表に記載するものとする。

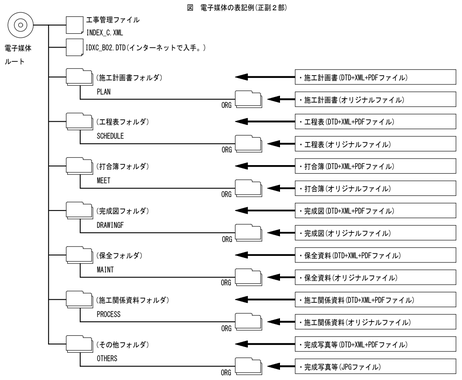
※４　参考フォルダ　　http://www.city.morioka.iwate.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/017/579/sample1.zip

４　電子成果品は、ガイドラインに基づいて作成し、電子媒体(CD-RXはDVD-R)で２部提出するものとする。

５　電子成果品を提出する際は、電子納品チェックシステム、SXFブラウザ等による成果品のチェックを行い、エラー及び訴りがないことを確認するとともに、確実にウィルスチェックを実施したうえで提出するものとする。

６　電子成果品を提出する際には、「電子媒体納品書」を作成し、電子媒体と併せて提出するものとする。

図　電子媒体の表記例(正副２部)



電子納品特記仕様書

```
工事管理ファイル(INDEX_C.XML)の記述例（注意　アスタリスク「*」は、半角スペースに置き換えてください。）

<?xml version="1.0" encoding="shift_jis"?>
<!DOCTYPE constdata SYSTEM "IDXC_B02.DTD"[]>
<!-- http://www.city.morioka.iwate.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/017/579/sample1.zip から「IDXC
_B02.DTD」をダウンロードできます。-->
<constdata DTD_version="02">
 **<基礎情報>
 ****<メディア番号>1</メディア番号>
 ****<メディア種別>DVD-R</メディア種別>
 ****<メディア総枚数>1</メディア総枚数>
 ****<メディアフォーマット>UDF</メディアフォーマット>
 ****<完成図フォルダ名>DRAWINGF/ORG</完成図フォルダ名>
 ****<完成図オリジナルファイルフォルダ名>DRAWINGF/ORG</完成図オリジナルファイルフォルダ名>
 ****<保全に関する資料フォルダ名>MAINT</保全に関する資料フォルダ名>
 ****<保全に関する資料オリジナルファイルフォルダ名>MAINT/ORG</保全に関する資料オリジナルファイルフォルダ名>
 ****<施工計画書フォルダ名>PLAN</施工計画書フォルダ名>
 ****<施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>PLAN/ORG</施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>
 ****<工程表フォルダ名>SCHEDULE</工程表フォルダ名>
 ****<工程表オリジナルファイルフォルダ名>SCHEDULE/ORG</工程表オリジナルファイルフォルダ名>
 ****<打合せ簿フォルダ名>MEET</打合せ簿フォルダ名>
 ****<打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>MEET/ORG</打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>
 ****<機材関係資料フォルダ名>MATERIAL</機材関係資料フォルダ名>
 ****<機材関係資料オリジナルファイルフォルダ名>MATERIAL/ORG</機材関係資料オリジナルファイルフォルダ名>
 ****<施工関係資料フォルダ名>PROCESS</施工関係資料フォルダ名>
 ****<施工関係資料オリジナルファイルフォルダ名>PROCESS/ORG</施工関係資料オリジナルファイルフォルダ名>
 ****<検査関係資料フォルダ名>INSPECT</検査関係資料フォルダ名>
 ****<検査関係資料オリジナルファイルフォルダ名>INSPECT/ORG</検査関係資料オリジナルファイルフォルダ名>
 ****<発生材関係資料フォルダ名>SALVAGE</発生材関係資料フォルダ名>
 ****<発生材関係資料オリジナルファイルフォルダ名>SALVAGE/ORG</発生材関係資料オリジナルファイルフォルダ名>
 ****<その他資料フォルダ名>OTHRS</その他資料フォルダ名>
 ****<その他資料オリジナルファイルフォルダ名>OTHRS/ORG</その他資料オリジナルファイルフォルダ名>
 **</基礎情報>
 **<ソフトウェア情報>
 ****<ソフトウェア名>○○電子成果品作成支援・検査システム</ソフトウェア名>
 ****<バージョン情報>OO</バージョン情報>
 ****<メーカ名>○○株式会社</メーカ名>
 ****<メーカ連絡先>東京都○○区■■</メーカ連絡先>
 ****<ソフトメーカ用TAG></ソフトメーカ用TAG>
 **</ソフトウェア情報>
 **<工事情報>
 ****<!--(必須項目)工事番号は、契約書に掲載してある番号を入力するものとする。掲載の無いものは、「999999」を入力するものとする。-->
 ****<工事番号>○○○○○○</工事番号>
 ****<工事名称>市営○○住宅○○主体工事</工事名称>
 ****<!--(必須項目)工事分野は、CORINSの「公共事業の分野」に従って記入するものとする。-->
 ****<工事分野>OO</工事分野>
 ****<!--(必須項目)工事業種は、CORINSの「本件登録工事の受注に対応した建設業許可業種」に従って記入するものとする。-->
 ****<工事業種>OO一式工事</工事業種>
 ****<!--(必須項目)工種は、CORINSの「工種、工法・型式」の「工種」を記入するものとする。-->
 ****<工種>OO一式工事</工種>
 ****<!--(必須項目)工法型式は、CORINSの「工種、工法・型式」の「工法・型式」を記入するものとする。-->
 ****<工法型式>OO一式工事</工法型式>
 ****<契約金額>○○○○○</契約金額>
 ****<工期開始日>2016-OO-OO</工期開始日>
 ****<工期終了日>2016-OO-OO</工期終了日>
 ****<工事内容>新営、OO</工事内容>
 **</工事情報>
 **<発注者情報>
 ****<発注者コード>50301201</発注者コード>
 ****<発注者名称>盛岡市</発注者名称>
 **</発注者情報>
 **<受注者情報>
 ****<!--(必須項目)受注者コードは、盛岡市役所財政部契約検査課から送付のある盛岡市競争入札参加資格者名簿(４桁)を入力するものとする。-->
 ****<受注者コード>OOOO</受注者コード>
 ****<受注者名称>△△建設株式会社</受注者名称>
 **</受注者情報>
 **<施設情報>
 ****<!--(任意項目)発注者より提示されたコードを記入する。官庁営繕事業では8桁で入力するものとする。-->
 ****<施設識別コード>OOOOOOOO</施設識別コード>
 ****<施設名称>OO市営住宅</施設名称>
 ****<!--(必須項目)境界座標情報は、位置情報を http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/citycode.cgi?code=03201 で確認し、入力すること。-->
 ****<施設基準点緯度>39.702236</施設基準点緯度>
 ****<施設基準点経度>141.154714</施設基準点経度>
 ****</建築物情報>
 ******<!--(任意項目)発注者より提示されたコードを記入する。官庁営繕事業では11桁で入力するものとする。-->
 ******<建築物識別コード>OOOOOOOOOOOO</建築物識別コード>
 ******<建築物名称>OO市営住宅O号棟</建築物名称>
 ******<!--(必須項目)建築物の所在地を入力するものとする。-->
 ******<所在地>盛岡市○丁目××</所在地>
 ******<!--(必須項目)境界座標情報は、位置情報を http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/citycode.cgi?code=03201 で確認し、入力すること。-->
 ******<建築物基準点緯度>39.702236</建築物基準点緯度>
 ******<建築物基準点経度>141.154714</建築物基準点経度>
 ****</建築物情報>
 **</施設情報>
 **<予備>監督職員　盛岡市役所建設部建築住宅課　盛岡太郎</予備>
 **<予備>現場代理人　○○建設株式会社　都南二郎</予備>
 **<予備>主任技術者　○○建設株式会社　玉山三郎</予備>
 **<予備>下請負人　□□舗装株式会社　△△設備株式会社・・・</予備>
</constdata>
```

施設識別コードの設定

施設識別コードは８桁とする。（盛岡市コード（６桁）＋施設コード（２桁））

建築物識別コードの設定

建築物識別コードは11桁とする。（盛岡市コード（６桁）＋建物コード（５桁））

各種コード詳細

盛岡市コード（６桁）：032018

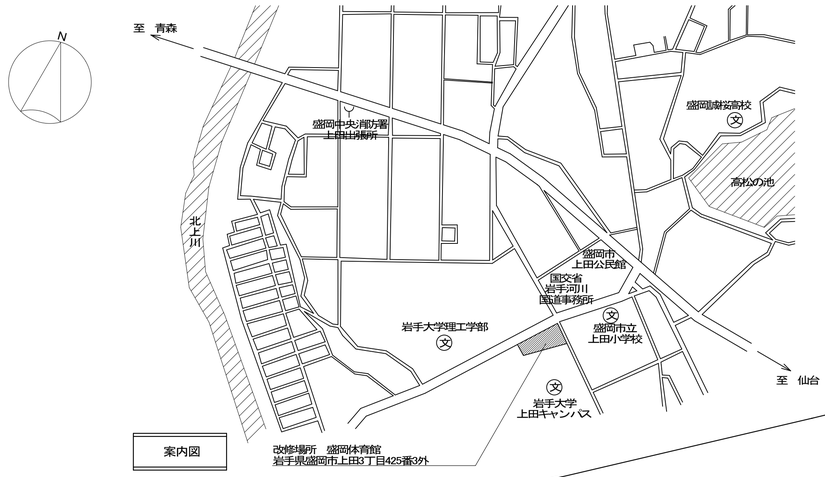
施設コード（２桁）：08

建築物コード（５桁）：00008

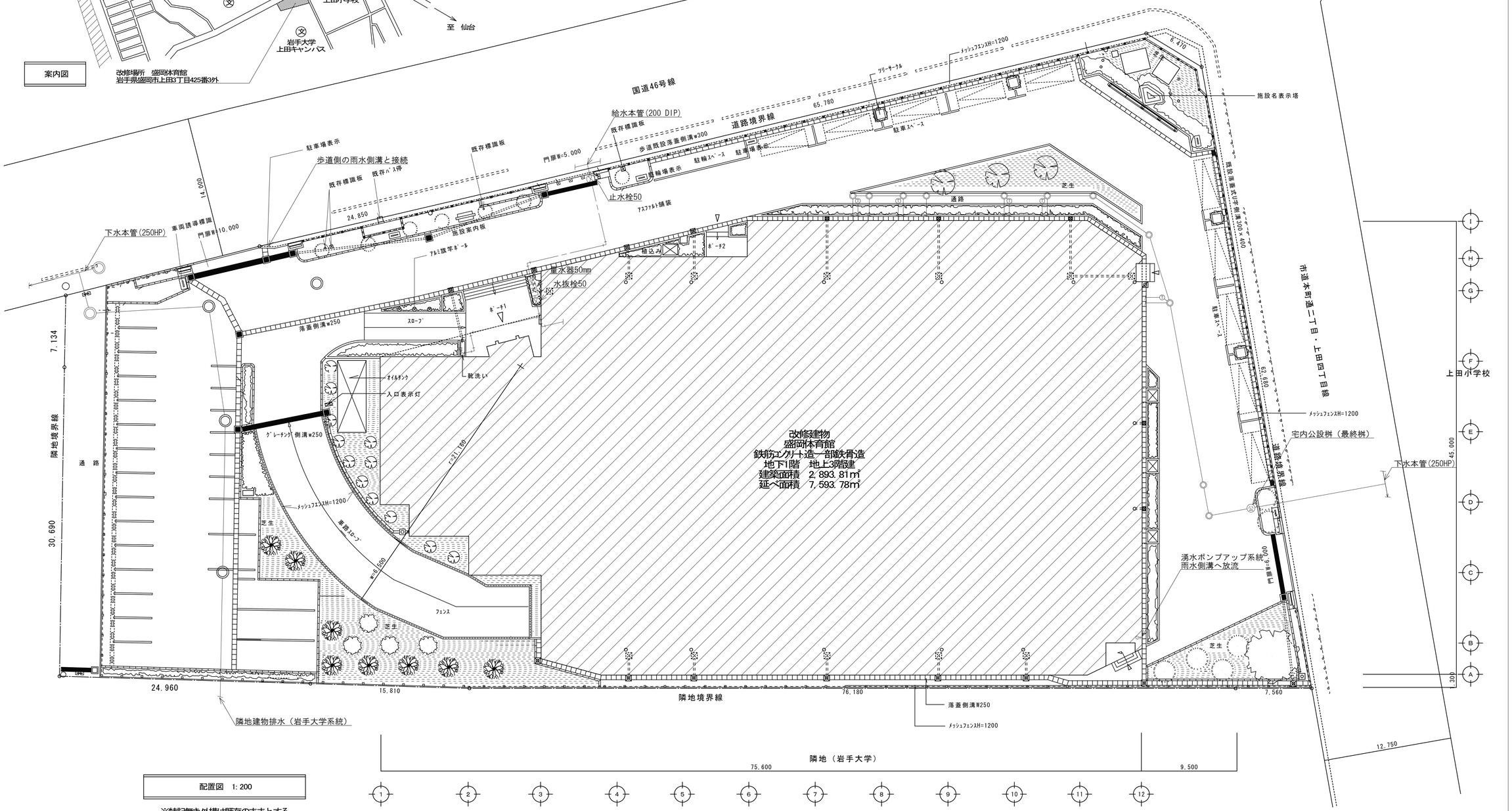
訂正	月　日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙　橋



案内図



配置図 1:200

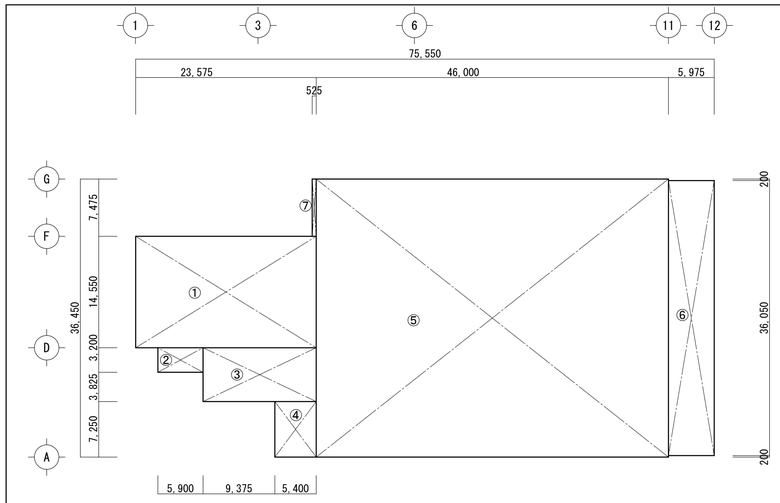
※特記無き外構は既存のままとする

訂正	月	日	

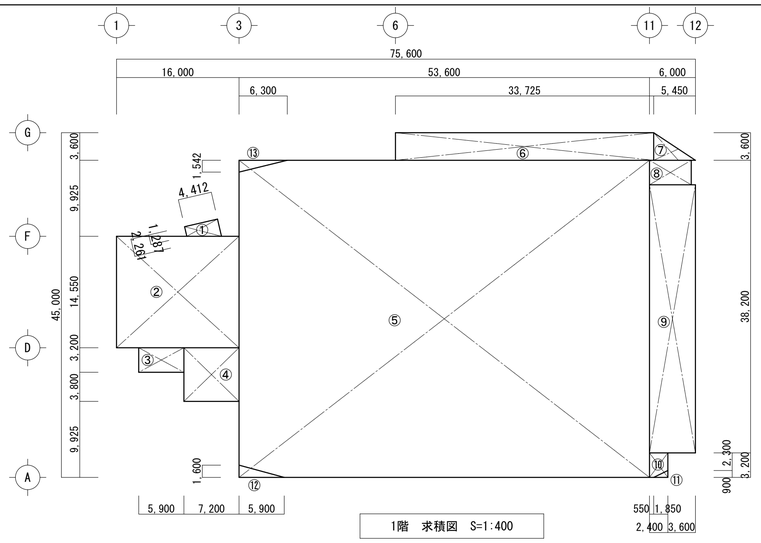
SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE

一級建築士事務所 岩手県知事登録 第お（2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061 岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222 FAX 019-661-8221

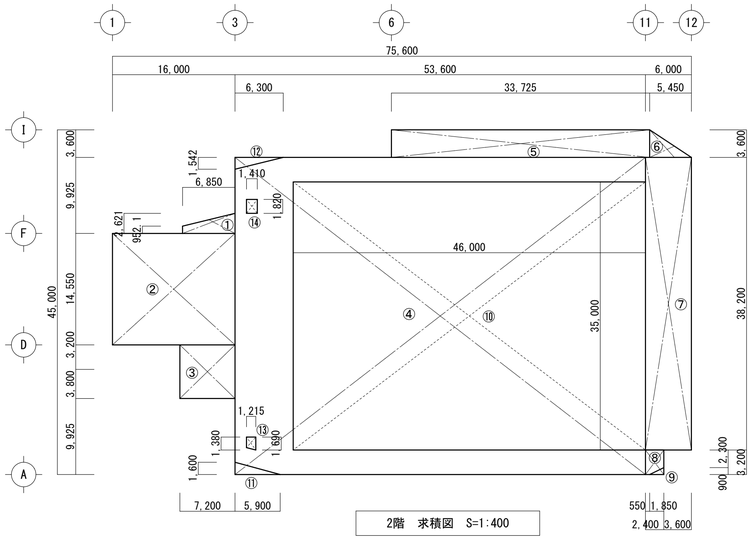
設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	髙 橋	髙 橋	髙 橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	A ―― 07
一級建築士 登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋 雅人	製図 髙 橋	担当 髙 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 案内図、配置図	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400



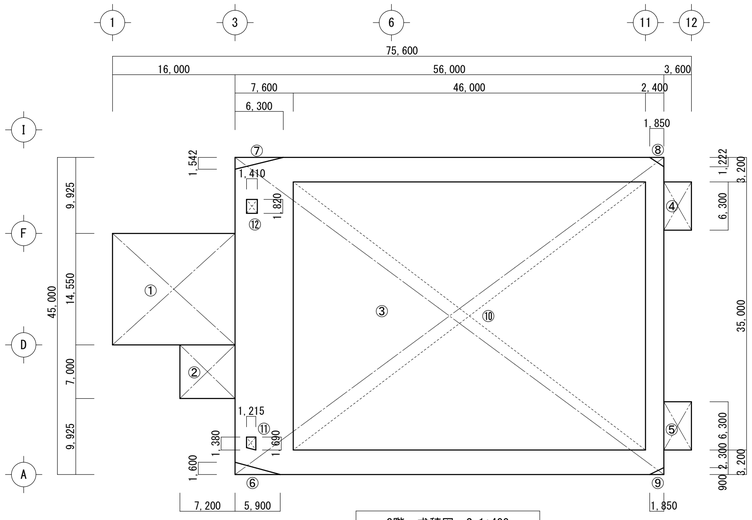
B1階　求積図　S=1:400



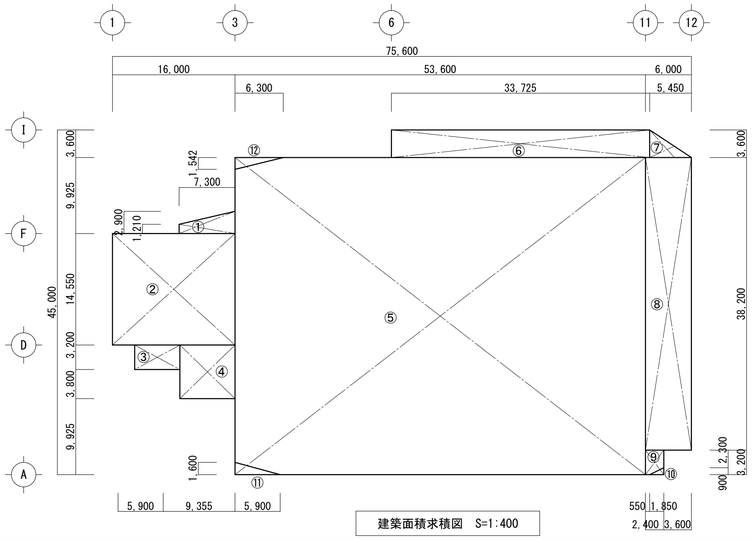
1階　求積図　S=1:400



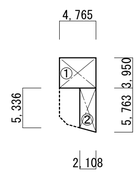
2階　求積図　S=1:400



3階　求積図　S=1:400



建築面積求積図　S=1:400



PH階　求積図　S=1:400

床面積算定表

階数	番号	計算式	面積(㎡)	各階合計床面積(㎡)
B1	①	23.575 × 14.50	341.8375	
	②	5.90 × 3.20	18.88	
	③	14.775 × 7.025	103.7943	
	④	5.40 × 7.25	39.15	
	⑤	46.00 × 36.45	1676.70	
	⑥	5.975 × 36.05	215.3987	
	⑦	0.525 × 7.475	3.9243	
		計	2399.6848	2,399.68
1	①	4.412 × (1.287 + 2.261) × 1/2	7.8268	
	②	16.00 × 14.55	232.80	
	③	5.90 × 3.20	18.88	
	④	7.20 × 7.00	50.40	
	⑤	53.60 × 41.40	2219.04	
	⑥	33.725 × 3.60	121.41	
	⑦	5.45 × 3.60 × 1/2	9.81	
	⑧	5.45 × 3.20	17.44	
	⑨	6.00 × 35.00	210.00	
	⑩	2.40 × 3.20	7.68	
	⑪	△ 1.85 × 0.90 × 1/2	△ 0.8325	
	⑫	△ 5.90 × 1.60 × 1/2	△ 4.72	
	⑬	△ 6.30 × 1.542 × 1/2	△ 4.8573	
		計	2884.877	2,884.87
2	①	6.85 × (2.621 + 9.521) × 1/2	12.2375	
	②	16.00 × 14.55	232.80	
	③	7.20 × 7.00	50.40	
	④	53.60 × 41.40	2219.04	
	⑤	33.725 × 3.60	121.41	
	⑥	5.45 × 3.60 × 1/2	9.81	
	⑦	38.20 × 6.00	229.20	
	⑧	2.40 × 3.20	7.68	
	⑨	△ 1.85 × 0.90 × 1/2	△ 0.8325	
	⑩	△ 46.00 × 35.00	△ 1610.00	
	⑪	△ 5.90 × 1.60 × 1/2	△ 4.72	
	⑫	△ 6.30 × 1.542 × 1/2	△ 4.8573	
	⑬	△ 1.215 × (1.38 + 1.69) × 1/2	△ 1.8650	
	⑭	△ 1.41 × 1.82	△ 2.5662	
		計	1257.7365	1,257.73
3	①	16.00 × 14.55	232.80	
	②	7.20 × 7.00	50.4	
	③	56.00 × 41.40	2318.4	
	④	3.60 × 6.30	22.68	
	⑤	3.60 × 6.30	22.68	
	⑥	△ 5.90 × 1.60 × 1/2	△ 4.72	
	⑦	△ 6.30 × 1.542 × 1/2	△ 4.8573	
	⑧	△ 1.85 × 1.222 × 1/2	△ 1.1303	
	⑨	△ 1.85 × 0.90 × 1/2	△ 0.8325	
	⑩	△ 46.00 × 35.00	△ 1610.00	
	⑪	△ 1.215 × (1.38 + 1.69) × 1/2	△ 1.865	
	⑫	△ 1.41 × 1.82	△ 2.5662	
		計	1020.9887	1,020.98
PH	①	4.765 × 3.95	18.82175	
	②	2.108 × (5.336 + 5.763) × 1/2	11.69835	
		計	30.5201	30.52
		計		7,593.78

建築面積算定表

番号	計算式	面積(㎡)	各階合計床面積(㎡)
①	7.30 × (2.90 + 1.21) × 1/2	15.0015	
②	16.00 × 14.55	232.80	
③	5.90 × 3.20	18.88	
④	7.20 × 7.00	50.40	
⑤	53.60 × 41.40	2219.04	
⑥	33.725 × 3.60	121.41	
⑦	5.45 × 3.60 × 1/2	9.81	
⑧	6.00 × 38.20	229.20	
⑨	2.40 × 3.20	7.68	
⑩	△ 1.85 × 0.90 × 1/2	△ 0.8325	
⑪	△ 5.90 × 1.60 × 1/2	△ 4.72	
⑫	△ 6.30 × 1.542 × 1/2	△ 4.8573	
	計	2893.8117	2,893.81

訂正	月	日

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	高 橋	高 橋	高 橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体）工事	A ―― 08
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋　雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 既存　求積図	縮尺 A1: 1/400 A3: 1/800

外部仕上表

大屋根（鉄骨下地）	既存	ｽﾃﾝﾚｽﾌｯ素塗装鋼板段葺(ｱ)1.0 W400×H60（ﾔﾏﾓ YRC同等品）、常温ｱｽﾌｧﾙﾄ塗膜防水工法（AR）、
		木毛板(ｱ)25（耐火30分ー通R-0114）下地、ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)25捨張
		化粧棟～ ｽﾃﾝﾚｽﾌｯ素塗装鋼板加工(ｱ)1.2 （ﾌｪﾉｰﾙ現場発砲(ｱ)20）
		破風、鼻隠し～ｽﾃﾝﾚｽﾌｯ素塗装鋼板加工(ｱ)1.2 （ﾌｪﾉｰﾙ現場発砲(ｱ)20）
		妻通気口～ｱﾙﾐｱﾙﾐﾌｯ素塗装ﾊﾟﾈﾙ(ｱ)2.0加工（ﾀﾃｶﾞﾗﾘ＋ｽﾃﾝﾚｽ防虫網付）
		幕板化粧ｱﾙﾐﾌｯ素塗装ﾊﾟﾈﾙ(ｱ)2.0加工（ﾌｪﾉｰﾙ現場発砲(ｱ)20） 妻、平側幕板ｳﾗ面～押出成形ｾﾒﾝﾄ平板(ｱ)60横下張
		妻側立上り壁～押出成形ｾﾒﾝﾄ板平板横張(ｱ)60（一部ﾘﾌﾞ付横張 ﾉｻﾞﾜ～ﾃﾞﾝﾛｯｸ同等品） 、ｱｸﾘﾙｶﾗｰﾄｯﾌﾟｺｰﾄ仕上
	改修	屋根面：既存高圧洗浄後下地調整(RB種)の上　屋根用高日射反射塗料塗り（アクリルシリコン樹脂塗装）
		雪止め：取外し再取付
越屋根（鉄骨下地）	既存	ｽﾃﾝﾚｽﾌｯ素塗装鋼板(ｱ)1.0 W330×H30 段葺（ﾔﾏﾓ YRC同等品）、ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ22kg／品、木毛板(ｱ)25（耐火30分）下地、
		ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)25捨張野地板
		破風、鼻隠し～大屋根と同じ
		妻壁～ｱﾙﾐﾌｯ素塗装ﾊﾟﾈﾙ(ｱ)2.0加工　（裏面＋ﾌｪﾉｰﾙ現場発砲(ｱ)20）
	改修	屋根面：既存高圧洗浄後下地調整(RB種)の上　屋根用高日射反射塗料塗り（アクリルシリコン樹脂塗装）
		破風・鼻隠し：既存高圧洗浄後下地調整(RB種)の上　屋根用高日射反射塗料塗り（アクリルシリコン樹脂塗装）
陸屋根（R階PH階）	既存	ｶﾗｰｽﾃﾝﾚｽ(ｱ)0.4防水（さざ波模様）～ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立上り、天端包み共
		ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ20kg品、発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ(ｱ)4下貼、ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地
	改修	平場：既存ｽﾃﾝﾚｽ防水上　ジョイントキャップ間硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑｔ＝25敷込の上軟質塩化ビニル樹脂系シート防水(ｱ)1.5
		立上り：既存ｽﾃﾝﾚｽ防水立上り部撤去の上　RC立上り部分下地調整　緩衝ﾌｫｰﾑ(ｱ)1.0mmの上　軟質塩化ビニル樹脂系シート防水(ｱ)1.5
陸屋根（3階2階）	既存	加硫ｺﾞﾑｶﾗｰｼｰﾄ防水(ｱ)2.0～ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立上り、天端包み共
		発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ(ｱ)4、ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地
	改修	既存　加硫ｺﾞﾑｶﾗｰｼｰﾄ防水(ｱ)2.0、ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立上り、天端包み、発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ(ｱ)4　撤去
		既存コンクリート下地面樹脂モルタル補修(平場面積の30%程度)の上
		平場　塩化ビニル樹脂系シート防水(ｱ)2.0+プライマー塗り+ポリエチレンフォームｔ＝10　新設
		立上　塩化ビニル樹脂系シート防水(ｱ)2.0　密着工法　新設
雨ドイ ドレイン	既存	ｽﾃﾝﾚｽﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ　ﾀﾃ型φ100、ｽﾉｰｷｬｯﾌﾟ付、ｽﾃﾝﾚｽﾀﾃﾄﾞｲφ114.3×t2.1、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温筒包み、ｽﾃﾝﾚｽ支持金物（@1500以内每）
		ｽﾃﾝﾚｽﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ　ﾖｺ型φ 75、ｽﾉｰｷｬｯﾌﾟ付、ｽﾃﾝﾚｽﾀﾃﾄﾞｲφ 80×t2.1、 ｽﾃﾝﾚｽ支持金物（@1500以内每）
		ﾖｺﾄﾞｲ用ｽﾃﾝﾚｽ飾桝（ACE A型）取付
	改修	既存　ｽﾃﾝﾚｽﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ　ﾀﾃ型φ100　19ヶ所(ｽﾃﾝﾚｽ防水12ヶ所　シート防水7ヶ所）　撤去
		改修用ｽﾃﾝﾚｽﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ　ﾀﾃ型φ100　19ヶ所　新設
笠木 水切 手すり	既存	ｱﾙﾐ笠木ｽﾃﾝｶﾗｰ、ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ水切
		ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ仕上手すり
	改修	既存　ｱﾙﾐ笠木ｽﾃﾝｶﾗｰW225、ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ水切　取外し（再利用）
		取外し部：ｱﾙﾐ笠木ｽﾃﾝｶﾗｰW225、ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ水切　防水改修完了後再取付

軒天	既存	正面～ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰﾊﾟﾈﾙ(ｱ)2.0加工（裏面、ﾌｪﾉｰﾙ現場発砲(ｱ)2.0）
庇	既存	ﾎﾟｰﾁ、通用口1～2、ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰﾊﾟﾈﾙ(ｱ)2.0加工（裏面、ﾌｪﾉｰﾙ現場発砲(ｱ)2.0）
風除室屋根	既存	ｽﾃﾝﾚｽﾍﾟﾗｲﾝ仕上ﾊﾟﾈﾙ(ｱ)1.5加工（裏面、ｹｲｶﾙ板(ｱ)8、ﾌｪﾉｰﾙ現場発砲(ｱ)2.0）
	改修	既存　取り合いシーリング撤去後　変成シリコン系シーリング　15×10(MS-2)　新設
外壁	既存	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し下地、石目調厚付吹付材（目地～一段目地入れ、ﾎﾞｰﾀﾞｰﾗｲﾝ～二段目地入れ）
		化粧柱型～天然御影石張（磨き／ﾌﾞﾗｽﾄ仕上）(ｱ)20mm（東面 A 通り～ I 通り、北面 3 ～ 12 通り）
		化粧腰ﾎﾞｰﾀﾞｰ～天然御影石張り（磨き）(ｱ)20、（東面 A 通り～ I 通り、北面 1 通り～ 12 通り、西面 D 通り～ I 通り）
		正面一部、ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰﾊﾟﾈﾙ(ｱ)2.0加工、（裏面、ﾌｪﾉｰﾙ(ｱ)20現物発砲）
		腰化粧目地ﾎﾞｰﾀﾞｰ～石目調厚付吹付材 （目地～二段目地入れ）
	改修	既存部全面高圧洗浄の上　サッシ廻り、金属パネル取合、コンクリート打継目地部シーリング　撤去
		既存シーリング撤去部　変成シリコン系シーリング　(MS-2)　新設
		クラック部：超微粒子高性能ポリマーセメント低圧注入の上　石目調厚吹付材(外装厚塗材E) 研出し仕上げ　200巾
地巾木	既存	石目調厚付吹付材　一段目地入れ
	改修	既存　石目調厚付吹付材(外装厚塗材E)　一部撤去
		撤去部　石目調厚付吹付材(外装厚塗材E) 研出し仕上　新設
ｼｰﾘﾝｸﾞ	既存	C種ｼｰﾘﾝｸﾞ（変成ｼﾘｺﾝ）（笠木、防水立上り、ｻｯｼ廻り、金属ﾊﾟﾈﾙ取合、ｺﾝｸﾘｰﾄ打継目地）
	改修	※各部位ごとの改修内容に記載
開口部	既存	ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰｻｯｼ（一般ｻｯｼ）見込70　複層ｶﾞﾗｽ入れ、ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰｻｯｼ（AT-100）複層ｶﾞﾗｽ入れ
		ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰﾊﾞｯｸﾏﾘｵﾝﾀｲﾌﾟ　見込80　複層ｶﾞﾗｽ入れ（横ﾗｲﾝ、枠付ﾀｲﾌﾟ）
		ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰﾌﾗｯﾄｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ　見込60　複層ｶﾞﾗｽ入れ
		自動ﾄﾞｱ（ﾃﾗｽ方同等品）～ｽﾃﾝﾚｽｽﾐﾗｰ加工　見込100
		ｽﾃﾝﾚｽﾄﾞｱ、ｽﾁｰﾙﾄﾞｱｰ、越屋根部分～排煙用ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰﾊﾟﾈﾙ(ｱ)2.0加工　電動ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ装置付
		排煙用ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ（ﾅﾌﾞｺ同等品）（網入型ｶﾞﾗﾘ入り）、手動ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ付
		ｻｯｼ廻り額縁は全てｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰﾊﾟﾈﾙ(ｱ)2.0
	改修	既存　ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰｻｯｼ（一般ｻｯｼ）見込70　電動オペレーター改修(AW-4)
		既存　ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰﾊﾞｯｸﾏﾘｵﾝﾀｲﾌﾟ　見込80　アリーナ南側窓　ガラス撤去後新設
		既存　ｽﾁｰﾙﾄﾞｱ　一部ドアノブ・ドアクローザー改修
		既存　ｽﾁｰﾙﾄﾞｱ　消防ホース用開口塞ぎ
		既存　自動ﾄﾞｱ　ガラス戸、エンジン　撤去後　強化ガラス戸、エンジン　新設　2ヶ所
		既存　排煙用ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ（ﾅﾌﾞｺ同等品）（網入型ｶﾞﾗﾘ入り）　手動オペレーター改修

断熱材	既存	機械室・消火ﾎﾟﾝﾌﾟ室・電気室・発電気室・EV機械室：壁、天井～ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100（32kg品）ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張
		土間下～発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ(ｱ)8敷　（車路共）　地下RCｽﾗﾌﾞ（湧水ﾋﾟｯﾄを除く）、1階ﾋﾟｯﾄ RCｽﾗﾌﾞ下～ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ(ｱ)25打込
		外周壁面、各階ｽﾗﾌﾞ下～ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ現場発砲(ｱ)20
		ｻｯｼ枠廻り～ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ現場発砲充填
		軽鉄間仕切下地W100ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100-16k充填
	改修	既存アリーナ天井裏　ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)25面　新規発泡ウレタン(ｱ)30吹付
		既存アリーナ天井裏　押出成形セメント板(ｱ)60面　新規発泡ウレタン(ｱ)30吹付
防水剤	既存	地下外壁面、湧水ﾋﾟｯﾄ内床面・立上り、車路外壁無機質浸透性防水剤塗布（ｾﾚｯﾄ同等品）
		1階配管ﾋﾟｯﾄ、地下配管ﾋﾟｯﾄ、水槽、雑排水槽～床、立上り　防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上
ﾎﾟｰﾁ1床	既存	天然御影石張(ｱ)20 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕上、ﾎﾞｰﾀﾞｰ磨き仕上げ
		ｽﾛｰﾌﾟ～天然御影石張(ｱ)20 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕上、植込み～壁ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し石目調厚付吹付材、笠木～天然御影石(ｱ)20 本磨仕上
	改修	既存　階段・スロープ一部：天然御影石張(ｱ)20 ｼﾞｪｯﾄﾊﾞｰﾅｰ仕上　撤去
		撤去部：下地調整の上　天然御影石張(ｱ)20 ｼﾞｪｯﾄﾊﾞｰﾅｰ仕上　新設
ﾎﾟｰﾁ2 通用口1、2	既存	ﾓﾙﾀﾙ下地磁器ﾀｲﾙ150角（ｲﾅﾌﾛｱ7150角同等品）
	改修	既存　ﾓﾙﾀﾙ下地　磁器ﾀｲﾙ150角　撤去
		下地ﾓﾙﾀﾙの上　磁器ﾀｲﾙ150角　新設
躯体防水混和剤	既存	ﾍﾞｽﾄﾝ同等品（地下外周躯体GL＋470まで、地下湧水ﾋﾟｯﾄ定版）
屋外	既存	植込ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、石目調厚付吹付材仕上、笠木磁器ﾀｲﾙ張り
		正面靴洗場～ｽﾃﾝﾚｽﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ加工ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞW400×L1300枠付き、枠四方天然御影石磨きﾎﾞｰﾀﾞｰ張、立上り壁～天然御影石磨き張
		ｱﾙﾐ旗竿ﾎﾟｰﾙ～H=10m×3本
		施設名文字（ｽﾃﾝﾚｽ(ｱ)0.6 箱文字加工、200角、ｽｺﾁｶﾙｼｰﾄ貼）
		土留・ﾌｪﾝｽ・門扉・誘導ｻｲﾝ・ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装・植栽・雨水排水
		地下排気塔3ヵ所
		車路（ｽﾛｰﾌﾟ）～増打ちｺﾝｸﾘｰﾄ押型模様 着色仕上（隠柄）、排水溝～防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上
		内壁、ｺﾝｸﾘｰﾄ打放下地石目調厚付吹付材仕上、笠木磁器ﾀｲﾙ張り、ﾌｪﾝｽ
	改修	植栽　一部撤去（伐採、枝打ち）

内部仕上表

階	室名	種別	床 下地	床 仕上材	巾木 下地	巾木 仕上材	巾木 塗装	巾木 巾木高	腰・壁 下地	腰・壁 仕上材	天井 下地	天井 仕上材	天井高	天井廻縁	備考 カーテンボックス	備考 ブラインドボックス	備考 天井点検口	備考 その他	室名札
BF	駐車場	既存	RC	豆砂利ｺﾝｸﾘｰﾄ着色（ｶﾗｸﾘｰﾄﾜｯｸｽ仕上）仕上(ｱ)40～90	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修下地		100	RC		LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12下地	2,500				○	床排水溝防水ﾓﾙﾀﾙ補修　車通行部分～有孔ｽﾃﾝﾚｽCP(ｱ)4.5、他～有孔ｽﾃﾝﾚｽCP(ｱ)3.0	○
				ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ 100ロ×3.2φ入れ		ﾜｯｸｽ仕上		≀		二重壁押出成形ｾﾒﾝﾄ板(ｱ)25 ｼｽﾃﾑ工法（三菱ﾏﾃﾘｱﾙDECF工法同等品）	防震ﾀｲﾌﾟ	ｹｲｶﾙ板(ｱ)6　目透張　ＶＰ	≀	塩ﾋﾞ				枠付W200（水抜VP50-1ｽﾊﾟﾝ毎／2ヵ所）　・車止～地先境界ﾌﾞﾛｯｸ150/150×600　埋込固定	
				※各ｽﾊﾟﾝ毎伸縮目地入れ				150		外周柱・中柱型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修仕上　一部ＶＰ			2,550					・駐車区画ﾗｲﾝ引＋駐輪ｽﾍﾟｰｽ　・駐輪ｽﾍﾟｰｽﾊﾞﾘｶｰ　二重壁排水溝防水ﾓﾙﾀﾙ～水抜管VPφ75-1ｽﾊﾟﾝ毎／2ヶ所	
				管理室、便所、廊下前通路部分～均しﾓﾙﾀﾙ下地														二重壁点検口～半割ｽﾃﾝﾚｽ仕上（W=630×H450）-1ｽﾊﾟﾝ毎／2ヶ所　鍵付	
				磁器床150角ﾀｲﾙ張														湧水槽配水管VP100φ(1ｽﾊﾟﾝ当り1ヵ所)、湧水槽ー鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙφ550、密閉型 ﾎﾞﾙﾄﾛｯｸ式(6t用)、ｽﾃﾝﾚｽｽﾗｯﾌﾟ－3段	
																		雑排水槽、～鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙφ650・650角、密閉型、ﾎﾞﾙﾄﾛｯｸ式（6t用）	
																		雑排水槽内ｽﾃﾝﾚｽｽﾗｯﾌﾟ～φ16×W400×4段	
																		雑排水槽、汚水槽、湧水ピット、底面、立上り壁～防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ(ｱ)20	
		改修									一部撤去	既存 ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12下地 ｹｲｶﾙ板(ｱ)6　一部撤去		一部撤去				既存　雑排水槽、汚水槽、湧水槽　鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙφ550：１ヶ所　φ650：2ヶ所　650角：5ヶ所　撤去　枠共	
											LGS19新設	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5下地 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(ｱ)6 VP 新設		塩ﾋﾞ新設				撤去部　鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙ　T6　密閉型　φ500：１ヶ所　φ600：2ヶ所　650角：5ヶ所　新設　枠共	
	電気室	既存	RC	豆砂利ｺﾝｸﾘｰﾄ増打(ｱ)200(ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ入φ6×100目)下地	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修下地		100	RC	ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(32K)	PC/RC	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100　(32K)　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張	4,100					配線ﾋﾟｯﾄ	○
				表面ｺﾝｸﾘｰﾄ強化剤塗（ﾘﾄﾘﾝ同等品）		ﾘﾄﾘﾝ同等品				二重壁押出成形ｾﾒﾝﾄ板(ｱ)25 ｼｽﾃﾑ工法、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(32K)	ＰＣ	ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法	≀					機械基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修	
									ＣＢ	間仕切補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ(ｱ)150（C種）、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(32K)			3,800					点検用鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙφ600密閉型ﾎﾞﾙﾄﾛｯｸ式（6t用）、ｽﾃﾝﾚｽｽﾗｯﾌﾟφ16×W=400×3段	
	発電気室	既存	RC	豆砂利ｺﾝｸﾘｰﾄ増打(ｱ)200(ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ入φ6×100目)下地	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修下地		100	RC	ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(32K)	PC/RC	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100　(32K)　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張	4,100					配線ﾋﾟｯﾄ	○
				表面ｺﾝｸﾘｰﾄ強化剤塗（ﾘﾄﾘﾝ同等品）		ﾘﾄﾘﾝ同等品				二重壁押出成形ｾﾒﾝﾄ板(ｱ)25 ｼｽﾃﾑ工法、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(32K)		ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法	≀					機械基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修	
									ＣＢ	間仕切補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ(ｱ)150（C種）、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(32K)			3,800					点検用鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙφ600密閉型ﾎﾞﾙﾄﾛｯｸ式（6t用）、ｽﾃﾝﾚｽｽﾗｯﾌﾟφ16×W=400×3段	
	機械室	既存	RC	豆砂利ｺﾝｸﾘｰﾄ増打(ｱ)200(ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ入φ6×100目)下地	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修下地		100	RC	ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(32K)	PC/RC	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100　(32K)　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張	4,100					機械基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修	○
				表面ｺﾝｸﾘｰﾄ強化剤塗（ﾘﾄﾘﾝ同等品）		ﾘﾄﾘﾝ同等品				二重壁押出成形ｾﾒﾝﾄ板(ｱ)25 ｼｽﾃﾑ工法、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(32K)		ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法	≀					点検用鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙφ600密閉型ﾎﾞﾙﾄﾛｯｸ式（6t用）、ｽﾃﾝﾚｽｽﾗｯﾌﾟφ16×W=400×3段	
									ＣＢ	間仕切補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ(ｱ)150（C種）、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(32K)			3,800						
		改修		配管更新部床補修　300*300程度　2ヶ所														ボイラー基礎増設	
	消火ﾎﾟﾝﾌﾟ室	既存	RC	豆砂利ｺﾝｸﾘｰﾄ増打(ｱ)200(ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ入φ6×100目)下地	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修下地		100	RC	ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(32K)	PC/RC	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100　(32K)　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張	4,100					機械基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修	○
				表面ｺﾝｸﾘｰﾄ強化剤塗（ﾘﾄﾘﾝ同等品）		ﾘﾄﾘﾝ同等品				ＣＢ　間仕切補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ(ｱ)150（C種）、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(32K)		ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法	≀					床下受水槽、底面、立上り壁～防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ(ｱ)20	
													3,800					鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙφ600、密閉式ﾎﾞﾙﾄﾛｯｸ式（6t用）　ｽﾃﾝﾚｽｽﾗｯﾌﾟφ16×W400×3段	
	管理室	既存	RC	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	RC	ｿﾌﾄ巾木		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9捨張	2,500	塩ﾋﾞ				槽内～ｽﾃﾝﾚｽｽﾗｯﾌﾟφ16×W400×2段　ｱﾙﾐ床点検口（ﾓﾙﾀﾙ用）600×600　鍵付	○
				長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.0貼ｼｰﾑﾚｽ（ｴﾎﾟｷｼ接着剤）	LW(50)				LGS50	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋(ｱ)12下地ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼		+化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9　（ｼﾞｸﾞﾄｰﾝ）							

訂正	月	日

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(2808) 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体）工事	A ―― 09
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋　雅人	製図 高橋	担当 高橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 仕上表(1) / 縮尺 NoScal e	

内部仕上表

階	室名	種別	床 下地	床 仕上材	巾木 下地	巾木 仕上材	塗装	巾木高	腰・壁 下地	腰・壁 仕上材	天井 下地	天井 仕上材	天井高	天井廻縁	カーテンボックス	ブラインドボックス	天井点検口	備考 その他	室名札
B F	便所	既存	R C	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	R C	ﾓﾙﾀﾙ下地			R C	ﾓﾙﾀﾙ下地、内装用ﾀｲﾙ接着張(100×100)	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ア)9捨張	2,500	塩ﾋﾞ			○	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	○
				磁器床ﾀｲﾙ100角接着張		内装用ﾀｲﾙ100角張						ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ア)9　目透張　ＶＰ							
	前室	既存	R C	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	R C	ｿﾌﾄ巾木		60	R C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修下地、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼　　一部ﾓﾙﾀﾙ下地内装用ﾀｲﾙ接着張（100×100）	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ア)9捨張	2,500	塩ﾋﾞ				湯沸流し台＋吊戸棚	○
				長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ア)2.0ｼｰﾑﾚｽ					LGS100	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12＋12（ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ア)100間仕切内密度16k充填）ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼		+化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)9						ｱﾙﾐ床点検口（ﾓﾙﾀﾙ用）600×600　鍵付ｽﾃﾝﾚｽﾗﾗｯﾌﾟ3段取付	
	休憩室	既存	R C	ﾌﾘｰﾌﾛｱｰC（ﾌｸﾋﾞ）		ﾀﾀﾐ寄（ｽﾌﾟﾙｽ）			LGS100	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12＋12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼（ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ア)100-16K充填）	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12下地ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	2,400	木製				造作材～ｽﾌﾟﾙｽ　　白木ｸﾘﾔｰ	
				ﾀﾞｲｹﾝﾀﾀﾐ(ア)50					LGS50	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12＋12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼（ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ア)100-16K充填）		（ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ア)100-16K敷込）		白木ｸﾘﾔｰ					
				板敷、天然木繊甲板(ア)12（ひのき）															
	倉庫２	既存	R C	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ア)2.0ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		６０	R C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　ＶＰ	LGS19	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)9	2,500	塩ﾋﾞ			○	木製ﾀﾅ	○
									LGS100	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12＋ｹｲｶﾙ板(ア)8　ＶＰ									
									LGS50	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12＋ｹｲｶﾙ板(ア)8　ＶＰ									
										二重壁押出成形ｾﾒﾝﾄ板(ア)25ｼｽﾃﾑ工法　ＶＰ									
	倉庫１、３	既存	R C	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ア)2.0ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		６０	R C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　ＶＰ	RCGS19	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　ＶＰ	2,500	塩ﾋﾞ				点検用ﾏﾝﾎｰﾙφ600　密閉型ﾎﾞﾄﾙ鍵付　ｽﾃﾝﾚｽﾗﾗｯﾌﾟφ16×W=400×3段	○
										二重壁押出成形ｾﾒﾝﾄ板(ア)25ｼｽﾃﾑ工法　ＶＰ									
	廊下	既存	R C	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ア)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		６０	R C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　　多彩模様塗材(ﾍﾟｲﾝﾄｽﾉｰ同等品)	LGS19	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)9	2,500	塩ﾋﾞ			○		
									LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12+ｹｲｶﾙ板(ア)8　多彩模様塗材(アスベスト含有)									
１Ｆ	風除室	既存	R C	均しﾓﾙﾀﾙ、天然御影石(ア)20　本磨一部ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ加工		ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15		１００	R C	薄塗ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15接着張	LGS19	ｱﾙﾐｽﾃｨﾝｶﾗｰﾊﾟﾈﾙｴｷﾞﾝｸﾞ加工(ア)2.0	2,350	塩ﾋﾞ				既存　自動ドア　ガラス戸及び駆動装置撤去後新設	
									LGS50	ｹｲｶﾙ板(ア)8下地　ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15接着張		（裏面ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ(ア)20吹付）	～						
												一部石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12岩綿化粧吸音板(ア)9	2,980						
	ホール１	既存	R C	均しﾓﾙﾀﾙ　天然御影石(ア)20　本磨		ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15		１００	R C	薄塗ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15接着張	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　岩綿化粧吸音板(ア)15	3,000	塩ﾋﾞ			○	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ（天井取付～掲示ﾊﾟﾈﾙ吊下げ用）　天井点検口450角	○
									LGS50	ｹｲｶﾙ板(ア)8下地　ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15接着張								受付ｶｳﾝﾀｰ上部　間接照明BOX～ﾎﾝﾃﾞ鋼板　ﾙｰﾊﾞｰｱｸﾘﾙｸﾛｽﾊﾞｰ　ﾍﾞﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼	
									R C	化粧壁面 薄塗ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15接着張　H=1,400　天板ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15									
		改修									撤去	既存　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　岩綿化粧吸音板(ア)15　撤去		撤去				既存　天井点検口450角　取外し再取付	
											LGS19新設	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12.5 岩綿化粧吸音板(ア)15(ｽﾄﾗｲﾌﾟ) 新設	3,000	塩ﾋﾞ新設					
	ホール２ EVホール	既存	R C	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　ｾﾝｲ床ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ(ア)6.5		ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(ア)1.6	ＯＰ	１００	R C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　多彩模様塗材(ｺﾞｰﾄｽｷﾝ同等品)		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　岩綿化粧吸音板(ア)15	3,000 ～	下り見切		○	○	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ（天井取付～掲示ﾊﾟﾈﾙ吊下げ用）　天井点検口450角	○
				床見切　天然御影石(ア)20　本磨						ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15接着張			2,700	OP塗、塩ﾋﾞ				ﾛｯｶｰ	
		改修									撤去	既存　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　岩綿化粧吸音板(ア)15　撤去	3,000 ～	撤去				既存　天井点検口450角　取外し再取付　　既存ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ　取外し再取付	
											LGS19新設	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12.5 岩綿化粧吸音板(ア)15(ｽﾄﾗｲﾌﾟ) 新設	2,700	塩ﾋﾞ新設					
	ロビー	既存	R C	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　ｾﾝｲ床ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ(ア)9		ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15		１００	R C	薄塗ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15接着張	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　岩綿化粧吸音板(ア)15	3,000	塩ﾋﾞ		○	○	天井点検口450角	○
				床見切　天然御影石(ア)20　本磨				１００	LGS50	ｹｲｶﾙ板(ア)8下地　ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15接着張									
		改修									撤去	既存　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　岩綿化粧吸音板(ア)15　撤去		撤去				既存　天井点検口450角　取外し再取付	
											LGS19新設	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12.5 岩綿化粧吸音板(ア)15(ｽﾄﾗｲﾌﾟ) 新設	3,000	塩ﾋﾞ新設					
	事務室	既存	R C	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄｼｰﾑﾚｽ(ア)2.8（東リ～リッチ）		ｿﾌﾄ巾木		６０	LGS100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12＋12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　岩綿化粧吸音板(ア)9	2,700	塩ﾋﾞ		○	○	行事黒板　受付ｶｳﾝﾀｰ照明BOX（ﾎｰﾙと同じ）	○
									LGS50										
		改修									撤去	既存　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　岩綿化粧吸音板(ア)9　撤去		撤去					
											LGS19新設	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12.5 岩綿化粧吸音板(ア)9 新設	2,700	塩ﾋﾞ新設					
	書庫印刷室	既存	R C	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ア)2.0ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		６０	LGS100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12＋石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　岩綿化粧吸音板(ア)9	2,480	塩ﾋﾞ		○	○	印刷台	
									LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12＋石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼									
	湯沸室	既存	R C	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ア)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		６０	LGS100	ｹｲｶﾙ板(ア)8＋ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　岩綿化粧吸音板(ア)9	2,480	塩ﾋﾞ				流し台、吊戸棚、食器戸棚	
									LGS50	ｹｲｶﾙ板(ア)8＋ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼									
									R C	薄塗ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ、　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼									
										流し面:内装用磁器100角ﾀｲﾙ張									
	ＴＥＬコーナー	既存	R C	均しﾓﾙﾀﾙ　天然御影石(ア)20　本磨		ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15		１００	R C	薄塗ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15接着張	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　岩綿化粧吸音板(ア)9	2,480	塩ﾋﾞ		○	○	TELｶｳﾝﾀｰ、人工大理石、鏡	○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(ア)8下地　一部石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12+ｹｲｶﾙ板下地　ｾﾗﾌｫｰﾑ接着張								ｶｳﾝﾀｰ上部　間接照明BOX～ﾎﾝﾃﾞ鋼板(ア)1.6ﾍﾞﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼　ﾙｰﾊﾞｰｱｸﾘﾙｸﾛｽﾊﾞｰ	
									LGS50	ｹｲｶﾙ板(ア)8下地　ｾﾗﾌｫｰﾑ(ア)15接着張									
	医務室	既存	R C	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ア)2.8　ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		６０	LGS100	ｹｲｶﾙ板(ア)8+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　岩綿化粧吸音板(ア)9	2,480	塩ﾋﾞ		○	○	配管ﾊﾟｯｸ天板：ﾌｯｿ焼付塗装ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼鈑(ア)1.6仕上	○
									LGS50	ｹｲｶﾙ板(ア)8+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼									
	指導員室 （踏込）	既存	R C	ﾌﾘｰﾌﾛｱｰ（ﾌｸﾋﾞKE）ﾀﾞｲｹﾝﾀﾀﾐ(ア)50		ﾀﾀﾐﾖｾ（ｽﾌﾟﾙｽ）			LGS100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12＋12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12＋(ア)12、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	2,480	塩ﾋﾞ		○	○		○
				ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ア)2.0　ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		６０	LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12＋12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼			～						
										踏込部分～ｹｲｶﾙ板(ア)8+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ア)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼			2,580						

訂正	月	日

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(2808) 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙橋	髙橋	髙橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事	A ―― 10
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙橋	担当 髙橋	承認年月日 ・　・	図面名称 仕上表(2)	縮尺 NoScal e

内部仕上表

階	室名	種別	床 下地	床 仕上材	巾木 下地	巾木 仕上材	巾木 塗装	巾木 巾木高	腰・壁 下地	腰・壁 仕上材	天井 下地	天井 仕上材	天井 天井高	天井 天井廻縁	カーテンボックス	ブラインドボックス	天井点検口	備考 その他	室名札
1F	廊下	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8 ｼｰﾑﾚｽ		ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6	OP	100	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 多彩模様塗材(ﾍﾟｲﾝﾄｽﾉｰ同等品)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 岩綿化粧吸音板(ｱ)9	2,700	塩ﾋﾞ		○	○	ﾀﾃ樋包 ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6ﾊﾟﾈﾙOP塗	
									LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋ｹｲｶﾙ板(ｱ)8 多彩模様塗材(アスベスト含有)								雨水桝、二重蓋(ｱﾙﾐﾊｯﾁ600ﾛ＊鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙφ450～以下共通)	
		改修				既存 ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6 一部撤去				既存 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋ｹｲｶﾙ板(ｱ)8 多彩模様塗材(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有) 一部撤去									
						撤去部 ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6 新設				撤去部 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(ｱ)8 多彩模様塗材 新設									
	通用口1	既存	RC	均しﾓﾙﾀﾙ下地 磁器床ﾀｲﾙ150角		天然御影石(ｱ)20 本磨		100	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 多彩模様塗材(ﾍﾟｲﾝﾄｽﾉｰ同等品)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 岩綿化粧吸音板(ｱ)9	2,700	塩ﾋﾞ			○	ﾀﾃ樋包:(共通)	
						上り框～天然御影石			LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋ｹｲｶﾙ板(ｱ)8 多彩模様塗材(アスベスト含有)			～					雨水桝、二重蓋:(共通)	
						(ｱ)20×60 本磨							2,980						
	通用口2	既存	RC	路込：均しﾓﾙﾀﾙ下地 磁器床ﾀｲﾙ150角		路込～天然御影石(ｱ)20		100	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 多彩模様塗材(ﾍﾟｲﾝﾄｽﾉｰ同等品)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 岩綿化粧吸音板(ｱ)9	2,700	塩ﾋﾞ					
				ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ貼		上り框～天然御影石			LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12+ｹｲｶﾙ板(ｱ)8 多彩模様塗材(アスベスト含有)			～						
						(ｱ)20×h60	OP						2,980						
						ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6													
	ﾁｪｲﾙﾄﾞﾙｰﾑ	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｾﾝｲ床ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ(ｱ)6.5		ｿﾌﾄ巾木(先付)		75	LGS100	腰:木片ｾﾒﾝﾄ板(素地)(ｱ)12、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(16K)充填 VP	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 岩綿化粧吸音板(ｱ)9	2,530	塩ﾋﾞ		○	○	雨水桝、二重蓋(共通)	○
									LGS50	壁:有孔木片ｾﾒﾝﾄ板(素地)(ｱ)12、ﾍｯｼｬﾝｸﾛｽ裏貼、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(16K)充填 VP									
	役員室	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｾﾝｲ床ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ(ｱ)6.5		ｿﾌﾄ巾木(先付)		75	LGS100	腰:木片ｾﾒﾝﾄ板(素地)(ｱ)12、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(16K)充填 VP	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 岩綿化粧吸音板(ｱ)9	2,530	塩ﾋﾞ		○	○	雨水桝、二重蓋(共通)	○
									LGS50	壁:有孔木片ｾﾒﾝﾄ板(素地)(ｱ)12、ﾍｯｼｬﾝｸﾛｽ裏貼、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(16K)充填 VP								ｶｳﾝﾀｰ(ﾕﾆﾎﾞｰﾄﾞ)	
	放送調整室	既存		ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｾﾝｲ床ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ(ｱ)6.5		ｿﾌﾄ巾木(先付)		75	LGS100	腰:木片ｾﾒﾝﾄ板(素地)(ｱ)12、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(16K)充填 VP	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 岩綿化粧吸音板(ｱ)9	2,530	塩ﾋﾞ		○	○	雨水桝、二重蓋(共通)	○
									LGS50	壁:有孔木片ｾﾒﾝﾄ板(素地)(ｱ)12、ﾍｯｼｬﾝｸﾛｽ裏貼、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)100(16K)充填 VP									
	器具庫1	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ		ｱｶﾞﾁｽ(ｱ)21	OP	100	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 VP		化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9(ｼﾞｯﾌﾟﾄｰﾝ)	2,800	塩ﾋﾞ			○	ﾀﾃ樋包:(共通) 雨水桝、二重蓋(共通)	○
				天然木床材 (塗装品～FMｴﾐｯﾄ:ﾅﾗ材) (ｱ)15接着張					LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋ｹｲｶﾙ板(ｱ)8 VP									
										一部⑫通り～C～F間 FH=1,500まで木摺取付									
	器具庫2	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ		ｱｶﾞﾁｽ(ｱ)21	OP	100	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 VP	LGS19	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9(ｼﾞｯﾌﾟﾄｰﾝ)	2,530	塩ﾋﾞ			○	ﾀﾃ樋包:(共通) 雨水桝、二重蓋(共通)	○
				天然木床材 (塗装品～FMｴﾐｯﾄ:ﾅﾗ材) (ｱ)15接着張					LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋ｹｲｶﾙ板(ｱ)8 VP									
	身障者便所	既存	RC	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｽﾃﾝﾚｽﾍﾟﾗﾌｲﾝ(ｱ)1.5		60	RC	ﾓﾙﾀﾙ下地 内装用200×100ﾀｲﾙ張	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	2,530	塩ﾋﾞ			○	身障者手摺	○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8、下地 内装用200×100ﾀｲﾙ接着張									
		改修				既存 ｽﾃﾝﾚｽﾍﾟﾗﾌｲﾝ(ｱ)1.5 一部撤去				既存 ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8、下地 内装用200×100ﾀｲﾙ接着張 一部撤去								既存 身障者手摺 撤去	
						撤去部 ｽﾃﾝﾚｽﾍﾟﾗﾌｲﾝ(ｱ)1.5 新設				撤去部 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(ｱ)8+8、下地 内装用200×100ﾀｲﾙ接着張 新設								はね上げ式手摺 L=600 樹脂被覆タイプ Φ34 新設	
	更衣室(男)	既存	RC	路込部分～ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 岩綿化粧吸音板(ｱ)9	2,530	塩ﾋﾞ		○	○	上り框 ﾀﾓ集成材ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗装(ｱ)45×100	○
				ﾌﾘｰﾌﾛｱｰ (ﾌｶﾋﾞKE) ｺﾝﾊﾞﾈ(ｱ)12					LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋ｹｲｶﾙ板(ｱ)8張り 多彩模様塗材(アスベスト含有)									
				天然木床材 (塗装品～FMｴﾐｯﾄ:ﾅﾗ) (ｱ)15塗装品					LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8張り 多彩模様塗材(アスベスト含有)									
	更衣室(女)	既存	RC	路込部分～ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 岩綿化粧吸音板(ｱ)9	2,530	塩ﾋﾞ		○	○	上り框 ﾀﾓ集成材ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗装(ｱ)45×100	○
				ﾌﾘｰﾌﾛｱｰ (ﾌｶﾋﾞKE) ｺﾝﾊﾞﾈ(ｱ)12					LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋ｹｲｶﾙ板(ｱ)8張り 多彩模様塗材(アスベスト含有)									
				天然木床材 (塗装品～FMｴﾐｯﾄ:ﾅﾗ) (ｱ)15塗装品					LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8張り 多彩模様塗材(アスベスト含有)									
	便所(男)	既存	RC	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｽﾃﾝﾚｽﾍﾟﾗﾌｲﾝ(ｱ)1.5		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 内装用150角ﾀｲﾙ接着張 (INAXﾘﾍﾞｲﾅ)	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	2,530	塩ﾋﾞ			○	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ(巾木ﾀｲﾌﾟ)	○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8下地 内装用150角ﾀｲﾙ接着張								洗面ｶｳﾝﾀｰ 天井点検口450角	
									LGS50	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8下地 内装用150角ﾀｲﾙ接着張								間接照明BOX ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6加工、ﾍﾞﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼 ﾙｰﾊﾞｰｱｸﾘﾙｸﾛｽﾊﾟｰ	
																		配管ﾊﾟｯｸ天板：ﾌｯ素鋼板(ｱ)1.6	
		改修		便器撤去部 コンクリート穴埋めの上								既存 ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り 撤去		撤去				既存 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 撤去 新規ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	
				長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8熱溶接工法 新設								ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り 新設	2,530	塩ﾋﾞ				既存 天井点検口450角 取外し再取付	
	便所(女)	既存	RC	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｽﾃﾝﾚｽﾍﾟﾗﾌｲﾝ(ｱ)1.5		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 内装用150角ﾀｲﾙ接着張 (INAXﾘﾍﾞｲﾅ)	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	2,530	塩ﾋﾞ			○	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ(巾木ﾀｲﾌﾟ)	○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8下地 内装用150角ﾀｲﾙ接着張								洗面ｶｳﾝﾀｰ 天井点検口450角	
									LGS50	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8下地 内装用150角ﾀｲﾙ接着張								間接照明BOX ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6加工、ﾍﾞﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼 ﾙｰﾊﾞｰｱｸﾘﾙｸﾛｽﾊﾟｰ	
																		配管ﾊﾟｯｸ天板：ﾌｯ素鋼板(ｱ)1.6	
		改修		便器撤去部 コンクリート穴埋めの上								既存 ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り 撤去		撤去				既存 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 撤去 新規ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	
				長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8熱溶接工法 新設								ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り 新設	2,530	塩ﾋﾞ				既存 天井点検口450角 取外し再取付	
	洗面 ｼｬﾜｰ室(男)	既存		防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｽﾃﾝﾚｽﾍﾟﾗﾌｲﾝ(ｱ)1.5		60	RC	薄塗ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｾﾗﾌｫｰﾑ(ｱ)15接着張	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	2,530	塩ﾋﾞ			○	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ ｼｬﾜｰﾌﾞｰｽ ｼｬﾜｰｶｰﾃﾝ	○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8下地 ｾﾗﾌｫｰﾑ(ｱ)15接着張								洗面ｶｳﾝﾀｰ 洗面前 全面鏡	
										下地ﾓﾙﾀﾙ 150□ﾀｲﾙ貼り								間接照明BOX ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6加工、ﾍﾞﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼 ﾙｰﾊﾞｰｱｸﾘﾙｸﾛｽﾊﾟｰ	
		改修										既存 ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り 撤去		撤去					
												ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り 新設	2,530	塩ﾋﾞ					
	洗面 ｼｬﾜｰ室(女)	既存		防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｽﾃﾝﾚｽﾍﾟﾗﾌｲﾝ(ｱ)1.5		60	RC	薄塗ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｾﾗﾌｫｰﾑ(ｱ)15接着張	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	2,530	塩ﾋﾞ			○	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ ｼｬﾜｰﾌﾞｰｽ ｼｬﾜｰｶｰﾃﾝ	○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8下地 ｾﾗﾌｫｰﾑ(ｱ)15接着張								洗面ｶｳﾝﾀｰ 洗面前 全面鏡	
										下地ﾓﾙﾀﾙ 150□ﾀｲﾙ貼り								間接照明BOX ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6加工、ﾍﾞﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼 ﾙｰﾊﾞｰｱｸﾘﾙｸﾛｽﾊﾟｰ	
		改修							LGS100撤去	既存 ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8下地 ｾﾗﾌｫｰﾑ(ｱ)15接着張 一部撤去								既存 ｼｬﾜｰﾌﾞｰｽ 撤去 新規ｼｬﾜｰﾌﾞｰｽ 2ヶ所	
									LGS100新設	撤去部 ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5下地 化粧ｹｲ酸カルシウム板(ｱ)6接着張 新設									

訂正	月	日

SASAKI AKIRA ARCHITECT OFFICE
一級建築士事務所 岩手県知事登録 第お(2808)1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061 岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222 FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	髙橋	髙橋	髙橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体)工事	A —— 11
一級建築士 登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋 雅人	製図 髙橋	担当 髙橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 仕上表(3) / 縮尺 NoScale	

内部仕上表

階	室名	種別	床 下地	床 仕上材	巾木 下地	巾木 仕上材	巾木 塗装	巾木 巾木高	腰・壁 下地	腰・壁 仕上材	天井 下地	天井 仕上材	天井高	天井廻縁	備考 カーテンボックス	ブラインドボックス	天井点検口	その他	室名札
1F	アリーナ	既存	RC	鋼製組（ｽﾉﾒ900-2形同等品）H=500		ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6	ﾌｯ素	100	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　ｱｸﾘﾙ吹付ﾀｲﾙ	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ化粧板(80)	12,100	化粧廻縁ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板				壁際巾木上部　床下通気用ｽﾃﾝﾚｽﾍﾟｱﾗｲﾝﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞ(ｱ)2.0　W=150	
				T1ｺﾝﾊﾟﾈ(ｱ)15下地大型積層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)18（ｶﾊﾞ）			焼付		Ｌｎ	3階壁部分：鋼製下地ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(ｱ)50　有孔天然木化粧合板ｔ12塗装品（ｼﾞｭｳｵｰﾙｼｽﾃﾑ同等品）	(防震)	(ｱ)25専用ｼﾞｮｲﾅｰ使用照明部ﾜｲﾔｰﾈｯﾄ	≒	(ｱ)1.6加工 OP塗				床ｽﾘｯﾄ：ｼｰﾘﾝｸﾞC種(変性ｼﾘｺｰﾝ)20×18	
				特殊張ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗仕上						1~2階壁部分：鋼製下地　　天然木化粧合板ｔ12塗装品（ｼﾞｭｳｵｰﾙｼｽﾃﾑ同等品）		粉体塗装5φ80P×80P	15,700	塩ﾋﾞ				ｺｰﾄﾗｲﾝ　ｾﾊﾟﾚｰﾀｰﾈｯﾄ　床金具基礎　吊ﾊﾞﾄﾝ	
																		床下点検口600φ－8ヵ所(木板張仕様～蓋共)	
		改修		既存　T1ｺﾝﾊﾟﾈ(ｱ)15下地大型積層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)18（ｶﾊﾞ）　一部撤去						既存　1~2階壁部分：天然木化粧合板ｔ12塗装品　撤去	LGS19撤去	既存　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ化粧板(80)　撤去		化粧廻縁ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板				床貼り替え部　コート支持用金具は既存のまま	
				既存鋼製組　一部補強改修（既存大引き間@450で補強材新設）						撤去部　1~2階壁部分：天然木化粧合板ｔ12　新設		膜天井　天井用吸音膜材（不燃材料）　新設		(ｱ)1.6加工 撤去				床撤去部　コートライン復旧	
				撤去部　構造用合板(ｱ)15下地大型積層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)18（ｶﾊﾞ）　新設						一部：構造用合板(ｱ)12+天然木化粧合板ｔ12　新設								吊りバトン　北側：取外し再取付　南側：撤去後新設	
				の上　特殊張ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗仕上															
2F	EVホール	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8		ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6	OP	100	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋　岩綿化粧吸音板(ｱ)15	2,980	塩ﾋﾞ			○		○
									LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋ｹｲｶﾙ板(ｱ)8～　多彩模様塗材(アスベスト含有)									
	廊　下	既存		ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8		ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6	OP	100		ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋　岩綿化粧吸音板(ｱ)15	2,980	塩ﾋﾞ			○	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ（天井取付～掲示ﾊﾟﾈﾙ吊下げ用）　天井点検口450角	○
										石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋ｹｲｶﾙ板(ｱ)8～　多彩模様塗材(アスベスト含有)									
		改修									撤去	既存　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　岩綿化粧吸音板(ｱ)15　撤去		撤去				既存　天井点検口450角　取外し再取付　既存ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ　取外し再取付	
											LGS19新設	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 岩綿化粧吸音板(ｱ)15(ｽﾄﾗｲﾌﾟ) 新設	2,980	塩ﾋﾞ新設					
	談話室	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　ｾﾝｲ床ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ(ｱ)6.5		ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6	OP	100	LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8＋石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋　岩綿化粧吸音板(ｱ)15	2,980	塩ﾋﾞ		○	○	天井点検口450角	○
												一部石膏ボード(ｱ)12＋ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り							
		改修									撤去	既存　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　岩綿化粧吸音板(ｱ)15　撤去		撤去				既存　天井点検口450角　取外し再取付	
											LGS19新設	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 岩綿化粧吸音板(ｱ)15(ｽﾄﾗｲﾌﾟ) 新設	2,980	塩ﾋﾞ新設					
	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ	既存		ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　ｾﾝｲ床ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ(ｱ)6.5		ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6	OP	100	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋　岩綿化粧吸音板(ｱ)15	3,480	塩ﾋﾞ		○	○	鏡	○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8＋石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼							天井点検口450角	
		改修									撤去	既存　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　岩綿化粧吸音板(ｱ)15　撤去		撤去				既存　天井点検口450角　取外し再取付	
											LGS19新設	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 岩綿化粧吸音板(ｱ)15(ｽﾄﾗｲﾌﾟ) 新設	3,480	塩ﾋﾞ新設					
	健康体力相談室	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8		ﾋﾞﾆﾙ巾木		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　岩綿化粧吸音板(ｱ)9	2,530	塩ﾋﾞ		○	○	天井点検口450角	○
									LGS100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12+12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼									
		改修				既存　ﾋﾞﾆﾙ巾木　撤去				既存　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼　撤去		既存　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　岩綿化粧吸音板(ｱ)9　撤去		撤去				既存　天井点検口450角　取外し再取付	
						撤去部　ﾋﾞﾆﾙ巾木　新設		60		下地調整の上　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼　新設		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5　岩綿化粧吸音板(ｱ)9　新設		塩ﾋﾞ新設					
	通　路 観覧席	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　天然木床材		ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6	OP	100	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　岩綿化粧吸音板(ｱ)9	3,820～ 3,560	塩ﾋﾞ		○	○	移動式（手動）観覧席（ｺﾄﾌﾞｷ同等品）雨ﾄﾞｲ覆　ﾎﾞﾝﾃﾞ(ｱ)1.60P	
				（塗装品FMｴﾐｯﾄ:ﾅﾗ材(ｱ)15接着張）					RC柱	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　ｱｸﾘﾙ吹付ﾀｲﾙ			(観覧席)					手摺　ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ仕上+強化ｶﾞﾗｽ(ｱ)8	
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8＋ｹｲｶﾙ板(ｱ)8　多彩模様塗材(アスベスト含有)			3,560					
									LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12+ｹｲｶﾙ板(ｱ)8　多彩模様塗材(アスベスト含有)			(通路)					
		改修				既存　ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6　一部撤去				ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部　ｱｸﾘﾙ吹付ﾀｲﾙ　復旧　200角程度		既存　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　岩綿化粧吸音板(ｱ)9　一部撤去		撤去					
						撤去部　ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6　新設				既存　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋ｹｲｶﾙ板(ｱ)8　多彩模様塗材(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有)　一部撤去		撤去部　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　岩綿化粧吸音板(ｱ)9　新設	3,820～ 3,560	塩ﾋﾞ新設					
										撤去部　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(ｱ)8　多彩模様塗材　新設									
	更衣室(男)	既存	RC	踏込部分～ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　岩綿化粧吸音板(ｱ)9	2,530	塩ﾋﾞ		○	○	上り框　ﾀﾓ集成材ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗装(ｱ)45×100	○
				ﾌﾘｰﾌﾛｱｰ（ﾌｸﾋﾞKE）ｺﾝﾊﾟﾈ(ｱ)12						石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋ｹｲｶﾙ板(ｱ)8張り　多彩模様塗材(アスベスト含有)								天井点検口450角	
				天然木床材（塗装品～FMｴﾐｯﾄ:ﾅﾗ）(ｱ)15塗装品					LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8張り　多彩模様塗材(アスベスト含有)								
		改修										既存　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　岩綿化粧吸音板(ｱ)9　撤去		撤去				既存　天井点検口450角　取外し再取付	
												石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5　岩綿化粧吸音板(ｱ)9　新設	2,530	塩ﾋﾞ新設					
	更衣室(女)	既存	RC	踏込部分～ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　岩綿化粧吸音板(ｱ)9	2,530	塩ﾋﾞ		○	○	上り框　ﾀﾓ集成材ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗装(ｱ)45×100	○
				ﾌﾘｰﾌﾛｱｰ（ﾌｸﾋﾞKE）ｺﾝﾊﾟﾈ(ｱ)12					LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12＋ｹｲｶﾙ板(ｱ)8張り　多彩模様塗材(アスベスト含有)								天井点検口450角	
				天然木床材（塗装品～FMｴﾐｯﾄ:ﾅﾗ）(ｱ)15塗装品					LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8張り　多彩模様塗材(アスベスト含有)								
		改修										既存　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　岩綿化粧吸音板(ｱ)9　撤去		撤去				既存　天井点検口450角　取外し再取付	
												石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5　岩綿化粧吸音板(ｱ)9　新設	2,530	塩ﾋﾞ新設					
	便　所(男)	既存	RC	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ(ｱ)1.5		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　内装用150角ﾀｲﾙ接着張（INAXﾘﾍﾞｲﾅ）	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	2,530	塩ﾋﾞ			○	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ（巾木ﾀｲﾌﾟ）	○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8下地　内装用150角ﾀｲﾙ接着張								洗面ｶｳﾝﾀｰ　天井点検口450角	
									LGS50	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8下地　内装用150角ﾀｲﾙ接着張								間接照明BOX ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6加工、ﾍﾞﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼　ﾙｰﾊﾞｰｱｸﾘﾙｸﾛｽﾊﾞｰ	
																		配管ﾊﾞｯｸ天板：ﾌｯ素鋼板(ｱ)1.6	
		改修		便器撤去部　コンクリート穴埋めの上								既存　ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り　撤去		撤去				既存　ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ　撤去　新規ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	
				長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8熱溶接工法　新設								ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り　新設	2,530	塩ﾋﾞ新設				既存　天井点検口450角　取外し再取付	
	便　所(女)	既存	RC	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ(ｱ)1.5		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　内装用150角ﾀｲﾙ接着張（INAXﾘﾍﾞｲﾅ）	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	2,530	塩ﾋﾞ			○	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ（巾木ﾀｲﾌﾟ）	○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8下地　内装用150角ﾀｲﾙ接着張								洗面ｶｳﾝﾀｰ　天井点検口450角	
									LGS50	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8下地　内装用150角ﾀｲﾙ接着張								間接照明BOX ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6加工、ﾍﾞﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼　ﾙｰﾊﾞｰｱｸﾘﾙｸﾛｽﾊﾞｰ	
																		配管ﾊﾞｯｸ天板：ﾌｯ素鋼板(ｱ)1.6	
		改修		便器撤去部　コンクリート穴埋めの上								既存　ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り　撤去		撤去				既存　ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ　撤去　新規ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	
				長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8熱溶接工法　新設								ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り　新設	2,530	塩ﾋﾞ新設				既存　天井点検口450角　取外し再取付	
	洗　面 ｼｬﾜｰ室(男)	改修		防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ(ｱ)1.5		60	RC	薄塗ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　ｾﾗﾌｫｰﾑ(ｱ)15接着張	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	2,530	塩ﾋﾞ			○	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ　ｼｬﾜｰﾌﾞｰｽ　ｼｬﾜｰｶｰﾃﾝ	○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8下地　ｾﾗﾌｫｰﾑ(ｱ)15接着張								洗面ｶｳﾝﾀｰ　洗面前　全面鏡	
										下地ﾓﾙﾀﾙ　150□ﾀｲﾙ貼り								間接照明BOX ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6加工、ﾍﾞﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼　ﾙｰﾊﾞｰｱｸﾘﾙｸﾛｽﾊﾞｰ	
		改修		既存　2階(男)：長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ　一部撤去								既存　ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り　撤去		撤去				既存　ｼｬﾜｰﾌﾞｰｽ　撤去　新規ｼｬﾜｰﾌﾞｰｽ　1ヶ所	
				撤去部　2階(男)：長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8熱溶接工法　新設								ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り　新設	2,530	塩ﾋﾞ新設					
	洗　面 ｼｬﾜｰ室(女)	既存		防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(ｱ)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ(ｱ)1.5		60	RC	薄塗ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　ｾﾗﾌｫｰﾑ(ｱ)15接着張	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	2,530	塩ﾋﾞ			○	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ　ｼｬﾜｰﾌﾞｰｽ　ｼｬﾜｰｶｰﾃﾝ	○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(ｱ)8+8下地　ｾﾗﾌｫｰﾑ(ｱ)15接着張								洗面ｶｳﾝﾀｰ　洗面前　全面鏡	
										下地ﾓﾙﾀﾙ　150□ﾀｲﾙ貼り								間接照明BOX ﾎﾞﾝﾃﾞ鋼板(ｱ)1.6加工、ﾍﾞﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼　ﾙｰﾊﾞｰｱｸﾘﾙｸﾛｽﾊﾞｰ	
		改修										既存　ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り　撤去		撤去				既存　ｼｬﾜｰﾌﾞｰｽ　撤去　新規ｼｬﾜｰﾌﾞｰｽ　2ヶ所	
												ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り　新設	2,530	塩ﾋﾞ新設					

訂正	月	日

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(2808)1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	髙橋	髙橋	髙橋	盛岡体育館大規模改修（建築主体）工事	A ―― 12
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙橋	担当 髙橋	承認年月日 ・　・	図面名称 仕上表(4)	縮尺 NoScale

内部仕上表

階	室名	種別	床 下地	床 仕上材	巾木 下地	巾木 仕上材	巾木 塗装	巾木 巾木高	腰・壁 下地	腰・壁 仕上材	天井 下地	天井 仕上材	天井高	天井廻縁	備考 カーテンボックス	備考 ブラインドボックス	備考 天井点検口	備考 その他	備考 室名札
3F	EVﾎｰﾙ廊下	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8		ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(7)1.6	OP	100	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12 岩綿化粧吸音板(7)9	2,980	塩ﾋﾞ			○		○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(7)8＋ｹｲｶﾙ板(7)8 多彩模様塗材(アスベスト含有) (間仕切壁は1時間耐火仕様)		ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ廻り:石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋12							
												ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼							
	研修室1､2	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ センイ床ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ(7)9		ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(7)1.6		60	LGS100	ｹｲｶﾙ板(7)8+8下地、ﾍﾟﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12 岩綿化粧吸音板(7)9	2,980	塩ﾋﾞ		○	○	ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ ﾎﾜｲﾄ黒板 OHSｽｸﾘｰﾝ(手動)	○
						ﾍﾟﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼			LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12+ｹｲｶﾙ板(7)8下地、ﾍﾟﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼								
		改修										既存 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋岩綿化粧吸音板(7)9 一部撤去							
												撤去部 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12.5＋岩綿化粧吸音板(7)9 新設	2,980						
	会議室	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8		ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(7)1.6		60	LGS100	ｹｲｶﾙ板(7)8+8下地、ﾍﾟﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋岩綿化粧吸音板(7)15	2,700	塩ﾋﾞ		○	○	ﾎﾜｲﾄ黒板	○
						ﾍﾟﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼			LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12+ｹｲｶﾙ板(7)8下地、ﾍﾟﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12 岩綿化粧吸音板(7)9							
	体力測定室	既存	RC	鋼製床組 (ﾂﾒ) 900-2特殊型H=300		~~ﾎﾝﾃﾞ鋼板(7)1.6~~	OP	100	LGS100	ｹｲｶﾙ板(7)8+8目透張り、多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋岩綿化粧吸音板(7)15	3,500	塩ﾋﾞ		○	○	大鏡	○
				TIｺﾝﾊﾟﾈ(7)15下地 大型積層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(7)18 (ｶﾊﾞ)		(現況)木の上塗装(種類不明)			LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12+ｹｲｶﾙ板(7)8張り、多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋12ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	〃						
				特殊張ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ塗仕上									2,980							
		改修		既存ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ面 ｻﾝﾀﾞｰ掛け(RA種)の上 ウレタン塗装仕上															
	測定準備室	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.0		ｱｶﾞﾁｽ(7)21	OP	100	LGS100	ｹｲｶﾙ板(7)8+8張り VP	LGS19	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9 (ｼﾞｯﾌﾟﾄｰﾝ)	2,530	塩ﾋﾞ		○	○		○
									LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12+ｹｲｶﾙ板(7)8張り VP									
	湯沸室	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		60	LGS100	ｹｲｶﾙ板(7)8＋ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(7)12 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12 岩綿化粧吸音板(7)9	2,530	塩ﾋﾞ				流し台、吊戸棚、食器戸棚	
									LGS50	ｹｲｶﾙ板(7)8＋ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(7)12 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼								
									RC	薄塗ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ、 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼								
										流し面:内装用磁器100角ﾀｲﾙ張									
		改修									撤去	既存 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋岩綿化粧吸音板(7)9撤去						既存 天井点検口450角 取外し再取付	
											LGS19新設	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12.5＋岩綿化粧吸音板(7)9 新設	2,980						
	ｷｬｯﾄｳｫｰｸ	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 天然木床材 (塗装品FMｴﾐｯﾄ(7)15接着張)		ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(7)1.6	OP	100	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 ｱｸﾘﾙ吹付ﾀｲﾙ	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12 岩綿化粧吸音板(7)9	2,980	塩ﾋﾞ		○	○	雨ﾄﾞｲ覆 ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(7)1.60P	
									LGS100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋ｹｲｶﾙ板(7)8張り ｱｸﾘﾙ吹付ﾀｲﾙ							化粧見切 ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(7)1.60P	
									LGS50	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋ｹｲｶﾙ板(7)8張り ｱｸﾘﾙ吹付ﾀｲﾙ							手摺 ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ仕上＋強化ｶﾞﾗｽ(7)8	
		改修								既存 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋ｹｲｶﾙ板(7)8張り ｱｸﾘﾙ吹付ﾀｲﾙ 一部撤去		既存 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋岩綿化粧吸音板(7)9一部撤去						既存 天井点検口450角 取外し再取付	
										撤去部 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12.5＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(7)8張り ｱｸﾘﾙ吹付ﾀｲﾙ 新設		撤去部 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12.5＋岩綿化粧吸音板(7)9 新設	2,980						
	便 所(男)	既存	RC	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ(7)1.5		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 内装用150角ﾀｲﾙ接着張 (INAXﾘﾍﾞｲﾅ)	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(7)12 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	2,530	塩ﾋﾞ			○	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ(巾木ﾀｲﾌﾟ) 洗面ｶｳﾝﾀｰ	○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(7)8+8下地 内装用150角ﾀｲﾙ接着張								間接照明BOX ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(7)1.6加工、ﾍﾟﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼 ﾙｰﾊﾞｰｱｸﾘﾙｸﾛｽﾊﾞｰ	
									LGS50	ｹｲｶﾙ板(7)8+8下地 内装用150角ﾀｲﾙ接着張								配管ﾊﾞｯｸ天板:ﾌｯ素鋼板(7)1.6	
		改修		便器撤去部 コンクリート穴埋めの上														既存 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 撤去 新規ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	
				長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8熱溶接工法 新設															
	便 所(女)	既存	RC	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ(7)1.5		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 内装用150角ﾀｲﾙ接着張 (INAXﾘﾍﾞｲﾅ)	LGS19	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(7)12 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	2,530	塩ﾋﾞ			○	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ(巾木ﾀｲﾌﾟ) 洗面ｶｳﾝﾀｰ	○
									LGS100	ｹｲｶﾙ板(7)8+8下地 内装用150角ﾀｲﾙ接着張								間接照明BOX ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板(7)1.6加工、ﾍﾟﾙﾋﾞｱﾝｼｰﾄ貼 ﾙｰﾊﾞｰｱｸﾘﾙｸﾛｽﾊﾞｰ	
									LGS50	ｹｲｶﾙ板(7)8+8下地 内装用150角ﾀｲﾙ接着張								配管ﾊﾞｯｸ天板:ﾌｯ素鋼板(7)1.6	
		改修		便器撤去部 コンクリート穴埋めの上														既存 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 撤去 新規ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	
				長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8熱溶接工法 新設															
共通	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ 機械室	既存		昇降路内、ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上		ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ		100	RC	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(7)100 ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張 (32K)	RC	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(7)100	2,200					ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｽﾃﾝﾚｽW=40	○
				豆砂利ｺﾝｸﾘｰﾄ(7)100金ｺﾞﾃ仕上 (ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭφ6×100目)								ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ工法ｶﾞﾗｽｸﾛｽ張 (32K)	〃					手摺 ｽﾁｰﾙ OP塗	
				表面ｺﾝｸﾘｰﾄ強化剤(ﾘﾄﾘﾝ同等品)									2,300						
	階段1	既存	RC	踊場､踏面 ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12 岩綿化粧吸音板(7)9	2,700	塩ﾋﾞ				吹抜部､ｽﾃﾝﾚｽﾌﾚｰﾑHL仕上､ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞｰﾄﾞﾈｲﾄ板(7)5 手摺笠木～ﾋﾞﾆﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙW=42	○
				蹴上面:ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8		吹抜部､ﾎﾞｰﾀﾞｰ:			LGS100	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋ｹｲｶﾙ板(7)8張り 多彩模様塗材(アスベスト含有)	RC	段裏～ｺﾝｸﾘｰﾄ補修下地多彩模様塗材 (ﾍﾟｲﾝﾄｽﾉｰ同等品)						ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｽﾃﾝﾚｽW=40(ﾀｲﾔ入)	
						大理石(7)20×120					LGS19	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ廻り､石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼						壁面部､ｽﾃﾝﾚｽﾌﾗｯﾄHL仕上 手摺笠木～ﾋﾞﾆﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙW=42	
	階段2	既存	RC	踊場､踏面 ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12 岩綿化粧吸音板(7)9	2,700	塩ﾋﾞ				吹抜部､ｽﾃﾝﾚｽﾌﾚｰﾑHL仕上､ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞｰﾄﾞﾈｲﾄ板(7)5 手摺笠木～ﾋﾞﾆﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙW=42	○
				蹴上面:ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8		吹抜部､ﾎﾞｰﾀﾞｰ:			LGS50	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋ｹｲｶﾙ板(7)8張り 多彩模様塗材(アスベスト含有)	RC	段裏～ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修下地 多彩模様塗材 (ﾍﾟｲﾝﾄｽﾉｰ同等品)						ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｽﾃﾝﾚｽW=40(ﾀｲﾔ入)	
						大理石(7)20×120					LGS19	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ廻り､石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼						壁面部､ｽﾃﾝﾚｽﾌﾗｯﾄHL仕上 手摺笠木～ﾋﾞﾆﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙW=42	
	階段3	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12 岩綿化粧吸音板(7)9	2,980	塩ﾋﾞ				手摺PVC製φ35 ﾌﾟﾗｯﾄﾄｱﾙﾐﾀﾞｲｷｬｽﾄ製 中間手摺笠木ﾀﾓ集成材200×30ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｸﾘﾔｰ仕上	○
				蹴上面:ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8					LGS50	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋ｹｲｶﾙ板(7)8張り 多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	下り壁、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12下地 多彩模様塗材 (ﾍﾟｲﾝﾄｽﾉｰ同等品)	〃					ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｽﾃﾝﾚｽW=40(ﾀｲﾔ入)	
											RC	段裏～ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修下地 多彩模様塗材 (ﾍﾟｲﾝﾄｽﾉｰ同等品)	2,500						
	階段4	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9	2,700	塩ﾋﾞ				手摺PVC製φ35 ﾌﾟﾗｯﾄﾄｱﾙﾐﾀﾞｲｷｬｽﾄ製 中間手摺笠木ﾀﾓ集成材200×30ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｸﾘﾔｰ仕上	○
				蹴上面:ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8					LGS50	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋ｹｲｶﾙ板(7)8張り 多彩模様塗材(アスベスト含有)	RC	段裏～ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修下地 多彩模様塗材 (ﾍﾟｲﾝﾄｽﾉｰ同等品)						ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｽﾃﾝﾚｽW=40(ﾀｲﾔ入)	
											LGS19	下り壁、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12下地 多彩模様塗材 (ﾍﾟｲﾝﾄｽﾉｰ同等品)							
	階段5	既存	RC	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8ｼｰﾑﾚｽ		ｿﾌﾄ巾木		60	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 多彩模様塗材(アスベスト含有)	LGS19	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9	2,700	塩ﾋﾞ				手摺PVC製φ35 ﾌﾟﾗｯﾄﾄｱﾙﾐﾀﾞｲｷｬｽﾄ製 中間手摺笠木ﾀﾓ集成材200×30ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｸﾘﾔｰ仕上	○
				蹴上面:ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(7)2.8					LGS50	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(7)12＋ｹｲｶﾙ板(7)8張り 多彩模様塗材(アスベスト含有)	RC	段裏～ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修下地 多彩模様塗材 (ﾍﾟｲﾝﾄｽﾉｰ同等品)						ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｽﾃﾝﾚｽW=40(ﾀｲﾔ入)	
											LGS19	下り壁、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12下地 多彩模様塗材 (ﾍﾟｲﾝﾄｽﾉｰ同等品)							

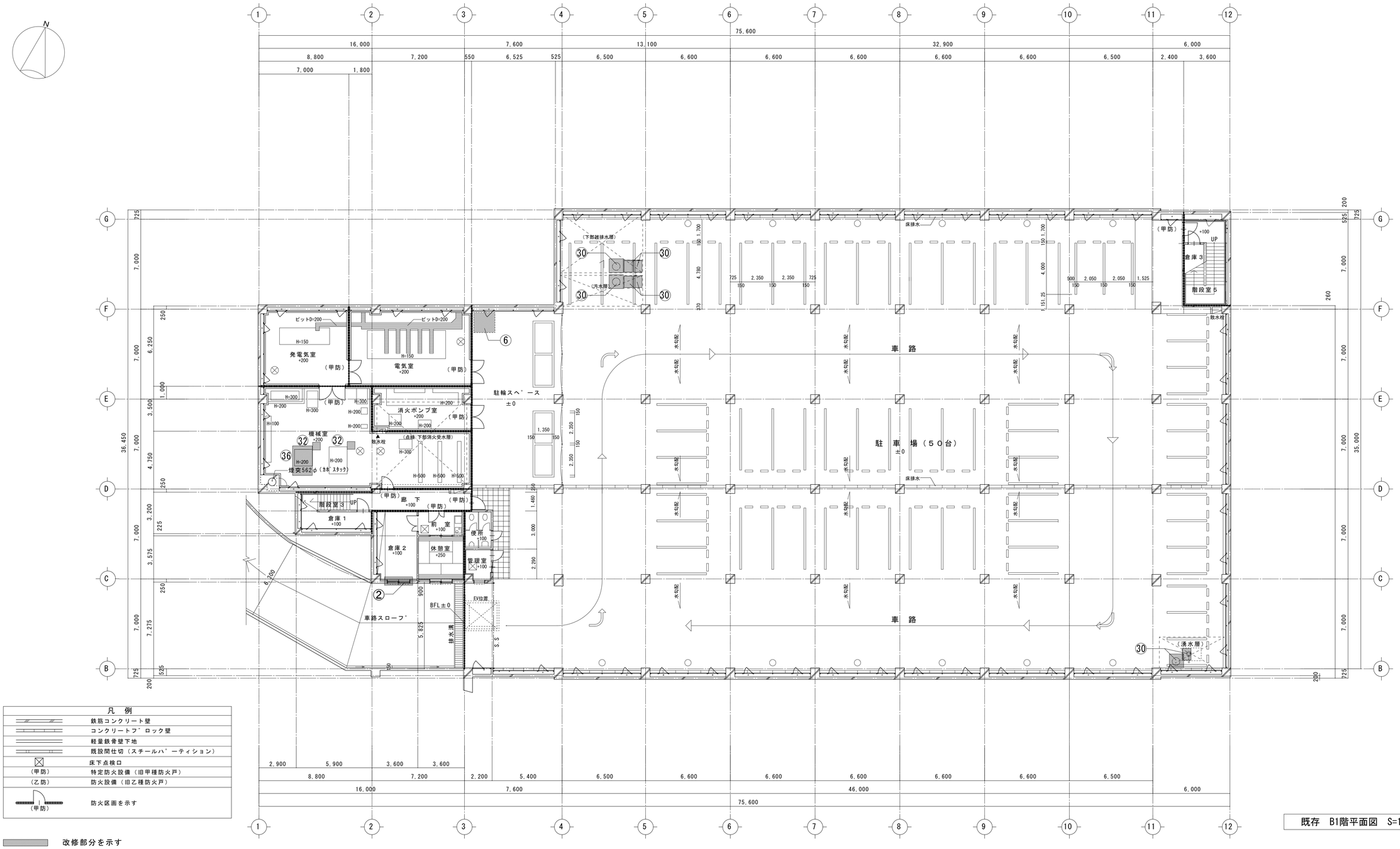
凡 例

RC	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	LGS50	軽量鉄骨壁下地 (間仕切用W=50)
CB	補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ C種	LGS19	軽量鉄骨天井下地 (屋内用)
LGS100	軽量鉄骨壁下地 (間仕切用W=100)	LGS25	軽量鉄骨天井下地 (屋外用)

訂正	月	日

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所 岩手県知事登録 第お(2808)1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061 岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222 FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体)工事	A — 13
一級建築士 登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋 雅人	製図 高橋	担当 高橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 仕上表(5) / 縮尺 NoScale	



凡　例

	鉄筋コンクリート壁
	コンクリートブロック壁
	軽量鉄骨壁下地
	既設間仕切（スチールパーティション）
⊠	床下点検口
（甲防）	特定防火設備（旧甲種防火戸）
（乙防）	防火設備（旧乙種防火戸）
（甲防）	防火区画を示す

改修部分を示す

既存　B1階平面図　S=1:150

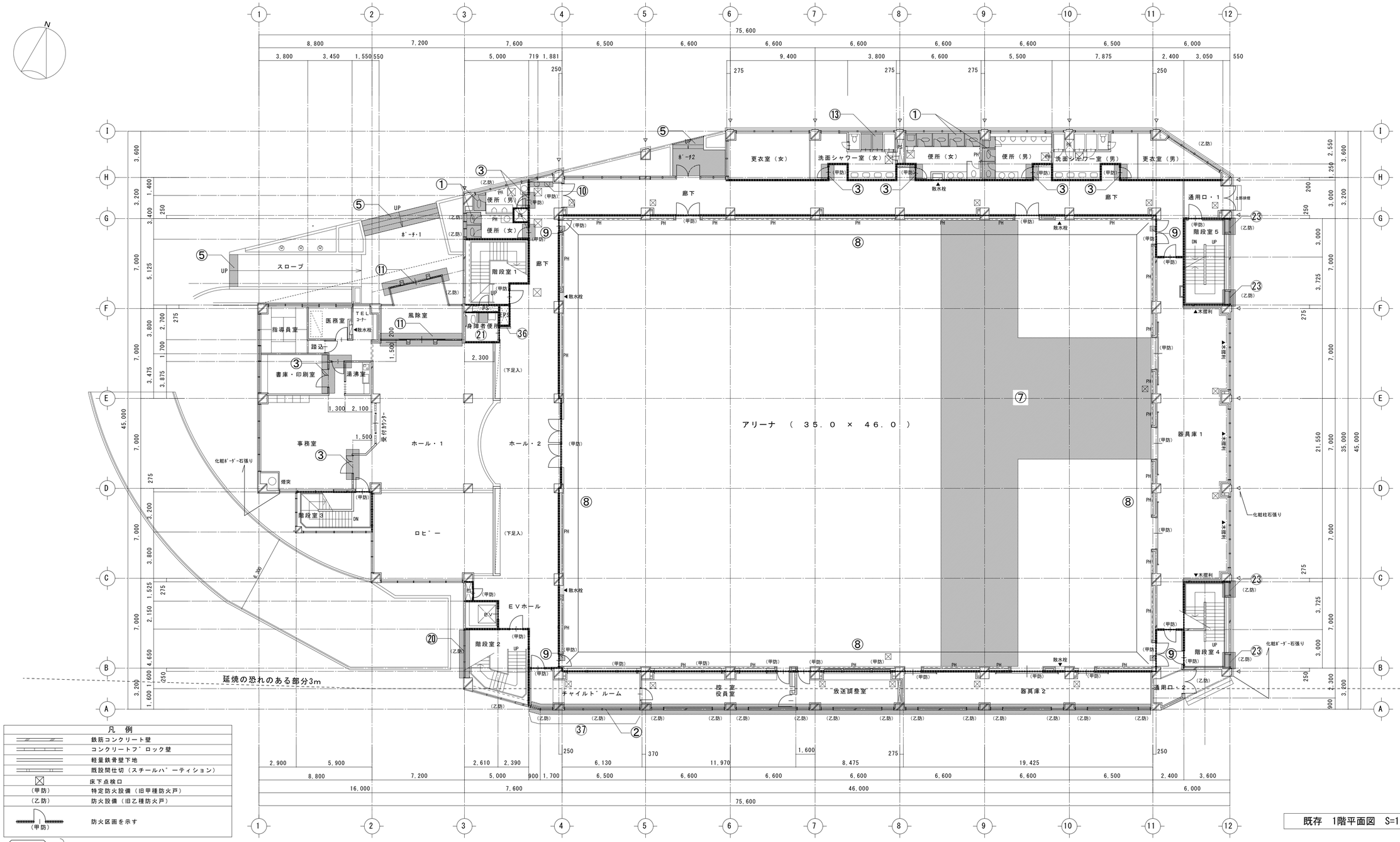
改修範囲一覧

番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容
①	各階トイレブース改修 それに伴う床等改修	既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去・新設(詳細図参照) 大便器更新、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ新設に伴う一式改修(詳細図参照)	⑩	各階廊下水飲み場改修	腰壁下地+仕上共撤去(LGS既存のまま)・新設(詳細図参照)	⑳	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、排煙窓ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ交換	既存ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ　ﾜｲﾔｰ交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉙	外部樹木伐採	(外構配置図参照)
			⑪	正面入口自動ドア改修	自動ドア駆動装置、ガラス交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉑	身障者ﾄｲﾚ　ｵｽﾄﾒｲﾄ改修	ｵｽﾄﾒｲﾄ新設に伴う壁及び手摺の撤去・新設(詳細図参照)	㉚	マンホール蓋取替え550φ、650φ、650□	マンホール蓋撤去(枠共)　の上　下地調整後枠、蓋新設
②	南面窓ガラス改修	既存窓ガラス交換(建具表、キープラン参照)	⑫	2階ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ、談話室天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	㉒	外部シーリング改修	既存ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去・新設(立面図、詳細図参照)	㉛	室外機架台補強改修	既存室外機架台の補強材新設(部分詳細参照)
③	各部ドア改修	ドアクローザー、ドアノブ交換(建具表、キープラン参照)	⑬	1、2階男女更衣室ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ改修	既存ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ撤去・新設、壁下地+仕上撤去・新設(部分詳細図参照)	㉓	建具開閉レバーハンドル交換	レバーハンドルの交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉜	配管更新に伴う床補修	配管更新に伴う床の補修　300×300程度
④	1階ホール1・2天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	⑭	2階男子更衣室床改修	仕上撤去の上　ﾓﾙﾀﾙ均し調整+仕上新設(部分詳細図参照)	㉔	外周部高圧洗浄	建物外周部汚れ高圧洗浄	㉝	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	2階アリーナ柱吹付タイル復旧　200角程度
⑤	外部床タイル補修	既存タイル撤去・新設(外構詳細図参照)	⑮	各階天井改修	仕上撤去・新設、点検口取外再取付(詳細図参照)	㉕	ビニルクロス貼替	既存ビニルクロス撤去の上　下地調整+ビニルクロス新設	㉞	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	地下駐車場　天井　撤去・新設(詳細図参照)
⑥	駐車場(身障者便所下)天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	⑯	アリーナ天井改修	既存下地+仕上共撤去の上　膜天井新設(詳細図参照)	㉖	3階体力測定室床改修	既存床研磨の上　塗装(詳細図参照)	㉟	室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設	既存手摺一部撤去の上　室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設(詳細図参照)
⑦	アリーナ床改修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照) 既存鋼製束@900から鋼製束@450増設(詳細図参照)	⑰	屋根改修(金属屋根)	既存高圧洗浄後下地調整の上　屋根用高日射反射塗料塗(詳細図参照) 屋根下地裏断熱材新設(詳細図参照)	㉗	外部クラック補修	(立面図、詳細図参照)	㊱	壁改修	仕上撤去・新設
						㉘	外壁・地巾木廻り部分改修	(立面図、詳細図参照)	㊲	ｶｰﾃﾝ更新	既存ｶｰﾃﾝ撤去・新設
⑧	アリーナ壁補修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照)	⑱	屋根改修(ステンレス防水)	既存ステンレス防水の上　シート防水新設(詳細図参照)				㊳	機械室ボイラー基礎　目荒しの上コンクリート入力打設(矩計図参照)	既存ボイラー基礎　目荒しの上コンクリート入力打設(矩計図参照)
⑨	アリーナ防火戸改修	防火戸下部消防用ホース通過孔撤去の上　開口塞ぎ(建具表参照)	⑲	屋根改修(シート防水)	既存シート防水+室外機架台撤去の上 シート防水+室外機架台新設(詳細図参照)				㊴	室外機架台取外し再取付	防水改修及び室外機の更新に伴う室外機架台の取外し再取付

訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(2808)1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体)工事	A ―― 14
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋　雅人	製図 高橋	担当 高橋	承認年月日 ・　・	図面名称　既存 B1階平面図(改修位置図)　縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	



既存　1階平面図　S=1:150

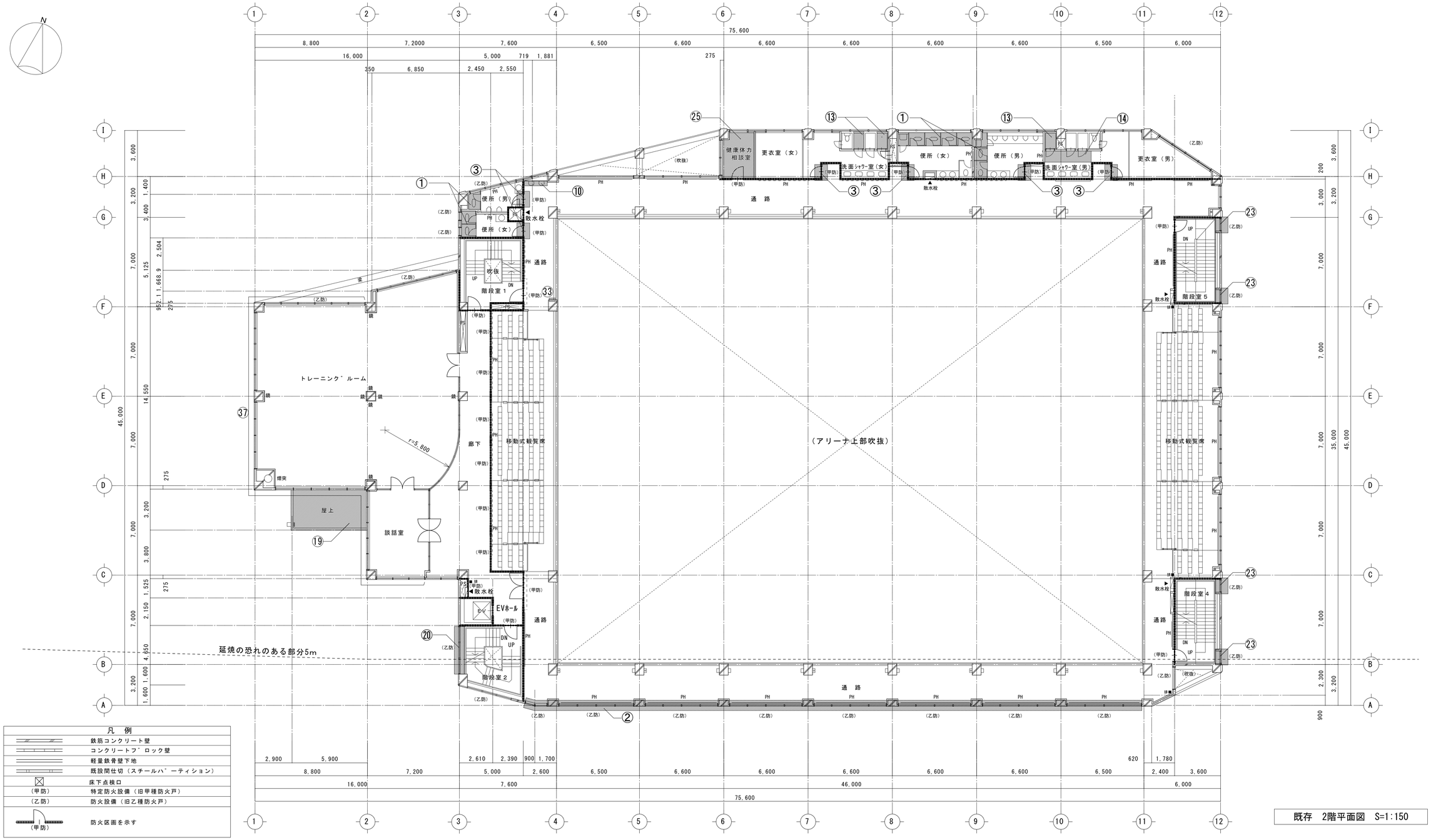
改修範囲一覧

番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容
①	各階トイレブース改修 それに伴う床等改修	既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去・新設（詳細図参照） 大便器更新、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ新設に伴う一式改修（詳細図参照）	⑩	各階廊下水飲み場改修	腰壁下地+仕上共撤去（LGS既存のまま）・新設（詳細図参照）	⑳	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、排煙窓ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ交換	既存ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ　ﾜｲﾔｰ交換（建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照）	㉙	外部樹木伐採	（外構配置図参照）
			⑪	正面入口自動ドア改修	自動ドア駆動装置、ガラス交換（建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照）	㉑	身障者ﾄｲﾚ　ｵｽﾄﾒｲﾄ改修	ｵｽﾄﾒｲﾄ新設に伴う壁及び手摺の撤去・新設（詳細図参照）	㉚	マンホール蓋取替え550φ、650φ、650□	マンホール蓋撤去（枠共）　の上　下地調整後枠、蓋新設
②	南面窓ガラス改修	既存窓ガラス交換（建具表、キープラン参照）	⑫	2階ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ、談話室天井改修	下地+仕上共撤去・新設（詳細図参照）	㉒	外部シーリング改修	既存ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去・新設（立面図、詳細図参照）	㉛	室外機架台補強改修	既存室外機架台の補強材新設（部分詳細参照）
③	各部ドア改修	ドアクローザー、ドアノブ交換（建具表、キープラン参照）	⑬	1、2階男女更衣室ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ改修	既存ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ撤去・新設、壁下地+仕上撤去・新設（部分詳細図参照）	㉓	建具開閉レバーハンドル交換	レバーハンドルの交換（建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照）	㉜	配管更新に伴う床補修	配管更新に伴う床の補修　300×300程度
④	1階ホール1・2天井改修	下地+仕上共撤去・新設（詳細図参照）	⑭	2階男子更衣室床改修	仕上撤去の上　ﾓﾙﾀﾙ均し調整+仕上新設（部分詳細図参照）	㉔	外周部高圧洗浄	建物外周部汚れ高圧洗浄	㉝	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	2階アリーナ柱吹付タイル復旧　200角程度
⑤	外部床タイル補修	既存タイル撤去・新設（外構詳細図参照）	⑮	各階天井改修	仕上撤去・新設、点検口取外再取付（詳細図参照）	㉕	ビニルクロス貼替	既存ビニルクロス撤去の上　下地調整+ビニルクロス新設	㉞	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	地下駐車場　天井　撤去・新設（詳細図参照）
⑥	駐車場（身障者便所下）天井改修	下地+仕上共撤去・新設（詳細図参照）	⑯	アリーナ天井改修	既存下地+仕上共撤去の上　膜天井新設（詳細図参照）	㉖	3階体力測定室床改修	既存床研磨の上　塗装（詳細図参照）	㉟	室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設	既存手摺一部撤去の上　室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設（詳細図参照）
⑦	アリーナ床改修	既存仕上撤去・新設（詳細図参照） 既存鋼製束#900から鋼製束#450増設（詳細図参照）	⑰	屋根改修（金属屋根）	既存高圧洗浄後下地調整の上　屋根用高日射反射塗料塗（詳細図参照） 屋根下地裏断熱材新設（詳細図参照）	㉗	外部クラック補修	（立面図、詳細図参照）	㊱	壁改修	仕上撤去・新設
						㉘	外壁・地巾木廻り部分改修	（立面図、詳細図参照）	㊲	ｶｰﾃﾝ更新	既存ｶｰﾃﾝ撤去・新設
⑧	アリーナ壁補修	既存仕上撤去・新設（詳細図参照）	⑱	屋根改修（ステンレス防水）	既存ステンレス防水の上　シート防水新設（詳細図参照）				㊳	機械室ボイラー基礎増設	既存ボイラー基礎　目荒しの上コンクリート入力打設（矩計図参照）
⑨	アリーナ防火戸改修	防火戸下部消防用ホース通過孔撤去の上　開口塞ぎ（建具表参照）	⑲	屋根改修（シート防水）	既存ｼｰﾄ防水+室外機架台撤去の上 ｼｰﾄ防水+室外機架台新設（詳細図参照）				㊴	室外機架台取外し再取付	防水改修及び室外機の更新に伴う室外機架台の取外し再取付

訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙　橋	髙　橋	髙　橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	A ―― 15
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙　橋	担当 髙　橋	承認年月日 ・　・	図面名称　既存 1階平面図（改修位置図）	縮尺　A1：1/150 A3：1/300



凡　例

	鉄筋コンクリート壁
	コンクリートﾌﾞﾛｯｸ壁
	軽量鉄骨壁下地
	既設間仕切（スチールﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ）
☒	床下点検口
（甲防）	特定防火設備（旧甲種防火戸）
（乙防）	防火設備（旧乙種防火戸）
（甲防）	防火区画を示す

既存　2階平面図　S=1:150

改修部分を示す

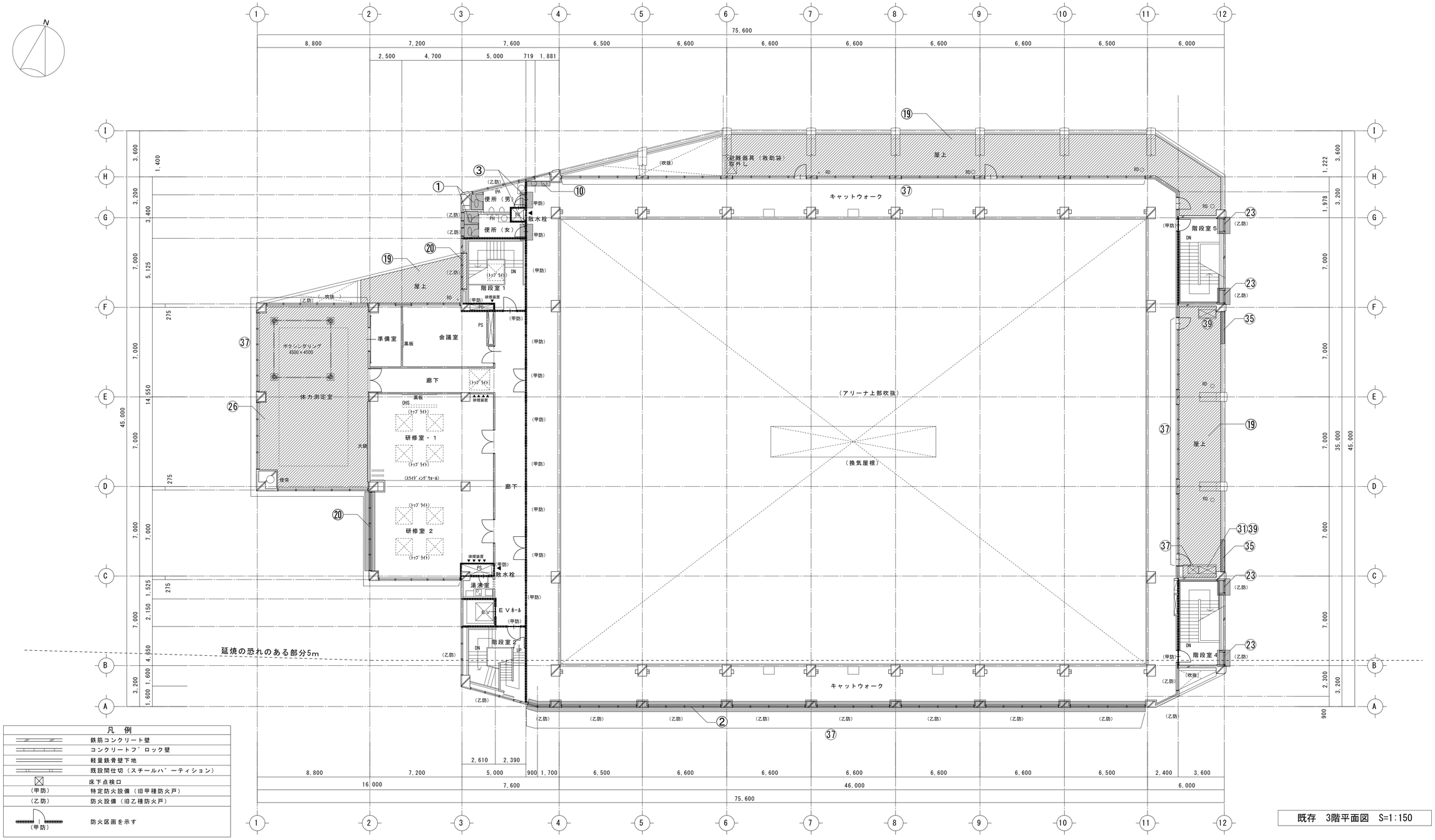
改修範囲一覧

番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容
①	各階トイレブース改修 それに伴う床等改修	既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去・新設（詳細図参照） 大便器更新、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ新設に伴う一式改修（詳細図参照）	⑩	各階廊下水飲み場改修	腰壁下地+仕上共撤去（LGS既存のまま）・新設（詳細図参照）	⑳	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、排煙窓ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ交換	既存ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ　ﾜｲﾔｰ交換（建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照）	㉙	外部樹木伐採	（外構配置図参照）
			⑪	正面入口自動ドア改修	自動ドア駆動装置、ガラス交換（建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照）	㉑	身障者ﾄｲﾚ　ｵｽﾄﾒｲﾄ改修	ｵｽﾄﾒｲﾄ新設に伴う壁及び手摺の撤去・新設（詳細図参照）	㉚	マンホール蓋取替え550φ、650φ、650□	マンホール蓋撤去（枠共）　の上　下地調整後枠、蓋新設
②	南面窓ガラス改修	既存窓ガラス交換（建具表、キープラン参照）	⑫	2階ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ、談話室天井改修	下地+仕上共撤去・新設（詳細図参照）	㉒	外部シーリング改修	既存ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去・新設（立面図、詳細図参照）	㉛	室外機架台補強改修	既存室外機架台の補強材新設（部分詳細参照）
③	各部ドア改修	ドアクローザー、ドアノブ交換（建具表、キープラン参照）	⑬	1、2階男女更衣室ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ改修	既存ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ撤去・新設、壁下地+仕上撤去・新設（部分詳細図参照）	㉓	建具開閉レバーハンドル交換	レバーハンドルの交換（建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照）	㉜	配管更新に伴う床補修	配管更新に伴う床の補修　300×300程度
④	1階ホール1・2天井改修	下地+仕上共撤去・新設（詳細図参照）	⑭	2階男子更衣室床改修	仕上撤去の上　ﾓﾙﾀﾙ均し調整+仕上新設（部分詳細図参照）	㉔	外周部高圧洗浄	建物外周部汚れ高圧洗浄	㉝	ｱｽﾍﾟｽﾄ検体採取部復旧	2階アリーナ柱吹付タイル復旧　200角程度
⑤	外部床タイル補修	既存タイル撤去・新設（外構詳細図参照）	⑮	各階天井改修	仕上撤去・新設、点検口取外再取付（詳細図参照）	㉕	ビニルクロス貼替	既存ビニルクロス撤去の上　下地調整+ビニルクロス新設	㉞	ｱｽﾍﾟｽﾄ検体採取部復旧	地下駐車場　天井　撤去・新設（詳細図参照）
⑥	駐車場（身障者便所下）天井改修	下地+仕上共撤去・新設（詳細図参照）	⑯	アリーナ天井改修	既存下地+仕上共撤去の上　膜天井新設（詳細図参照）	㉖	3階体力測定室床改修	既存床研磨の上　塗装（詳細図参照）	㉟	室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設	既存手摺一部撤去の上　室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設（詳細図参照）
⑦	アリーナ床改修	既存仕上撤去・新設（詳細図参照） 既存鋼製束#900から鋼製束#450増設（詳細図参照）	⑰	屋根改修（金属屋根）	既存高圧洗浄後下地調整の上　屋根用高日射反射塗料塗（詳細図参照） 屋根下地裏断熱材新設（詳細図参照）	㉗	外部クラック補修	（立面図、詳細図参照）	㊱	壁改修	仕上撤去・新設
						㉘	外壁・地巾木廻り部分改修	（立面図、詳細図参照）	㊲	ｶｰﾃﾝ更新	既存ｶｰﾃﾝ撤去・新設
⑧	アリーナ壁補修	既存仕上撤去・新設（詳細図参照）	⑱	屋根改修（ステンレス防水）	既存ステンレス防水の上　シート防水新設（詳細図参照）				㊳	機械室ボイラー基礎増設	既存ボイラー基礎　目荒しの上コンクリート入力打設（矩計図参照）
⑨	アリーナ防火戸改修	防火戸下部消防用ホース通過孔撤去の上　開口塞ぎ（建具表参照）	⑲	屋根改修（シート防水）	既存ｼｰﾄ防水+室外機架台撤去の上 ｼｰﾄ防水+室外機架台新設（詳細図参照）				㊴	室外機架台取外し再取付	防水改修及び室外機の更新に伴う室外機架台の取外し再取付

訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙橋	髙橋	髙橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	A ―― 16
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙橋	担当 髙橋	承認年月日 ・　・	図面名称　既存 2階平面図（改修位置図）	縮尺　A1：1/150　A3：1/300



凡　例	
	鉄筋コンクリート壁
	コンクリートブロック壁
	軽量鉄骨壁下地
	既設間仕切（スチールパーティション）
☒	床下点検口
（甲防）	特定防火設備（旧甲種防火戸）
（乙防）	防火設備（旧乙種防火戸）
（甲防）	防火区画を示す

既存　3階平面図　S=1:150

改修部分を示す

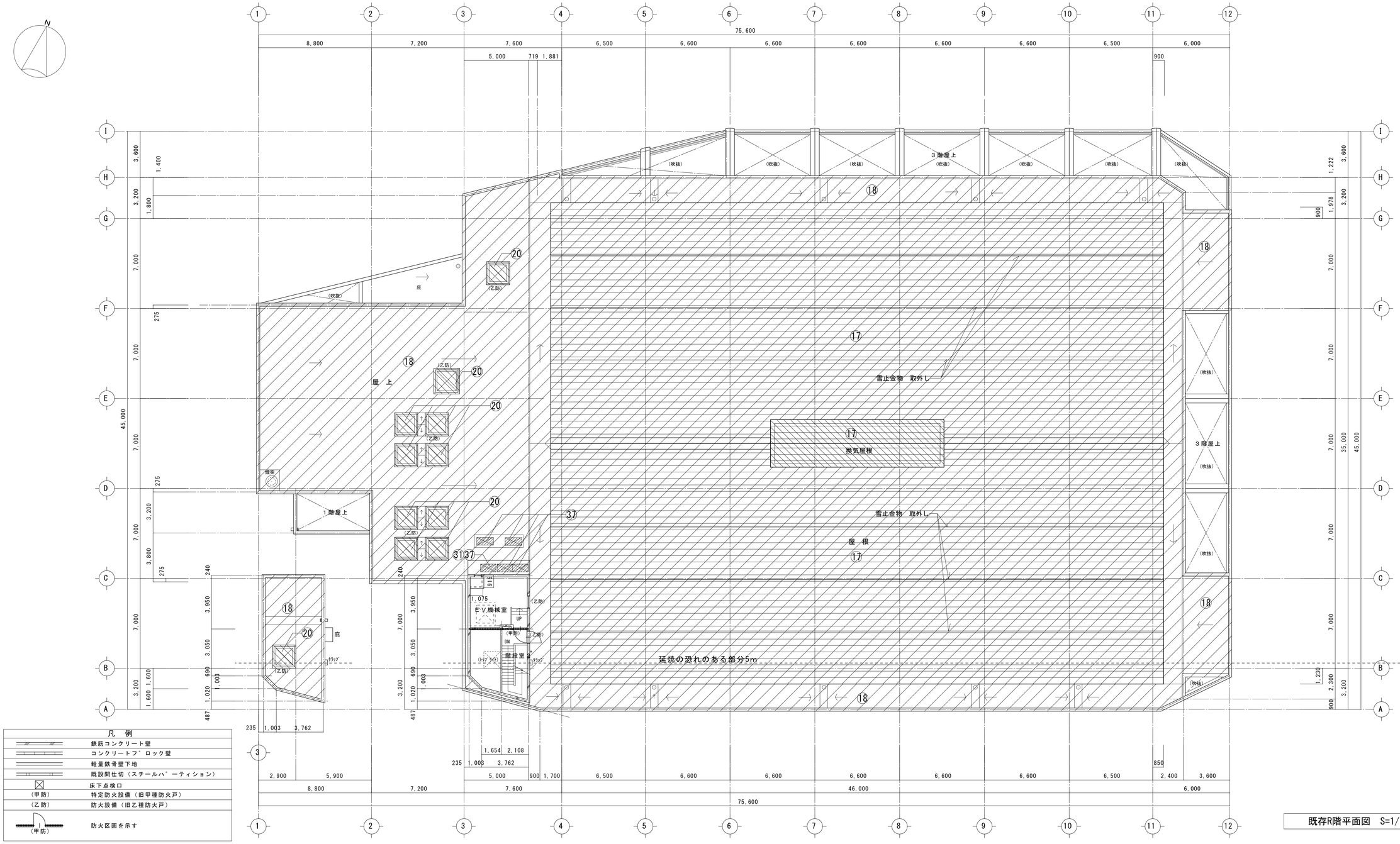
改修範囲一覧

番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容
①	各階トイレブース改修 それに伴う床等改修	既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去・新設（詳細図参照） 大便器更新、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ新設に伴う一式改修（詳細図参照）	⑩	各階廊下水飲み場改修	腰壁下地+仕上共撤去（LGS既存のまま）・新設（詳細図参照）	⑳	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、排煙窓ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ交換	既存ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ　ﾜｲﾔｰ交換（建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照）	㉙	外部樹木伐採	（外構配置図参照）
			⑪	正面入口自動ドア改修	自動ドア駆動装置、ガラス交換（建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照）	㉑	身障者ﾄｲﾚ　ｵｽﾄﾒｲﾄ改修	ｵｽﾄﾒｲﾄ新設に伴う壁及び手摺の撤去・新設（詳細図参照）	㉚	マンホール蓋取替え550φ、650φ、650□	マンホール蓋撤去の上　の上　下地調整後枠、蓋新設
②	南面窓ガラス改修	既存窓ガラス交換（建具表、キープラン参照）	⑫	2階ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ、談話室天井改修	下地+仕上共撤去・新設（詳細図参照）	㉒	外部シーリング改修	既存ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去・新設（立面図、詳細図参照）	㉛	室外機架台補強改修	既存室外機架台の補強材新設（部分詳細参照）
③	各部ドア改修	ドアクローザー、ドアノブ交換（建具表、キープラン参照）	⑬	1、2階男女更衣室ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ改修	既存ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ撤去・新設、壁下地+仕上撤去・新設（部分詳細図参照）	㉓	建具開閉レバーハンドル交換	レバーハンドルの交換（建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照）	㉜	配管更新に伴う床補修	配管更新に伴う床の補修　300×300程度
④	1階ホール1・2天井改修	下地+仕上共撤去・新設（詳細図参照）	⑭	2階男子更衣室床改修	仕上撤去の上　ﾓﾙﾀﾙ均し調整+仕上新設（部分詳細図参照）	㉔	外周部高圧洗浄	建物外周部汚れ高圧洗浄	㉝	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	2階アリーナ柱吹付タイル復旧　200角程度
⑤	外部床タイル補修	既存タイル撤去・新設（外構詳細図参照）	⑮	各階天井改修	仕上撤去・新設、点検口取外再取付（詳細図参照）	㉕	ビニルクロス貼替	既存ビニルクロス撤去の上　下地調整+ビニルクロス新設	㉞	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	地下駐車場　天井　撤去・新設（詳細図参照）
⑥	駐車場（身障者便所下）天井改修	下地+仕上共撤去・新設（詳細図参照）	⑯	アリーナ天井改修	既存下地+仕上共撤去の上　膜天井新設（詳細図参照）	㉖	3階体力測定室床改修	既存床研磨の上　塗装（詳細図参照）	㉟	室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設	既存手摺一部撤去の上　室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設（詳細図参照）
⑦	アリーナ床改修	既存仕上撤去・新設（詳細図参照） 既存鋼製束#900から鋼製束#450増設（詳細図参照）	⑰	屋根改修（金属屋根）	既存高圧洗浄後下地調整の上　屋根用高日射反射塗料塗（詳細図参照） 屋根下地裏断熱材新設（詳細図参照）	㉗	外部クラック補修	（立面図、詳細図参照）	㊱	壁改修	仕上撤去・新設
						㉘	外壁・地巾木廻り部分改修	（立面図、詳細図参照）	㊲	ｶｰﾃﾝ更新	既存ｶｰﾃﾝ撤去・新設
⑧	アリーナ壁補修	既存仕上撤去・新設（詳細図参照）	⑱	屋根改修（ステンレス防水）	既存ステンレス防水の上　シート防水新設（詳細図参照）				㊳	機械室ボイラー基礎増設	既存ボイラー基礎　目荒しの上コンクリート人力打設（矩計図参照）
⑨	アリーナ防火戸改修	防火戸下部消防用ホース通過孔撤去の上　開口塞ぎ（建具表参照）	⑲	屋根改修（シート防水）	既存ｼｰﾄ防水+室外機架台撤去の上 ｼｰﾄ防水+室外機架台新設（詳細図参照）				㊴	室外機架台取外し再取付	防水改修及び室外機の更新に伴う室外機架台の取外し再取付

訂正	月	日	

SASAKI AKIRA ARCHITECT OFFICE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙橋	髙橋	髙橋	盛岡体育館大規模改修（建築主体）工事	A ―― 17
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙橋	担当 髙橋	承認年月日 ・　・	図面名称　既存 3階平面図（改修位置図）	縮尺　A1：1/150 A3：1/300



既存R階平面図 S=1/150

改修部分を示す

改修範囲一覧

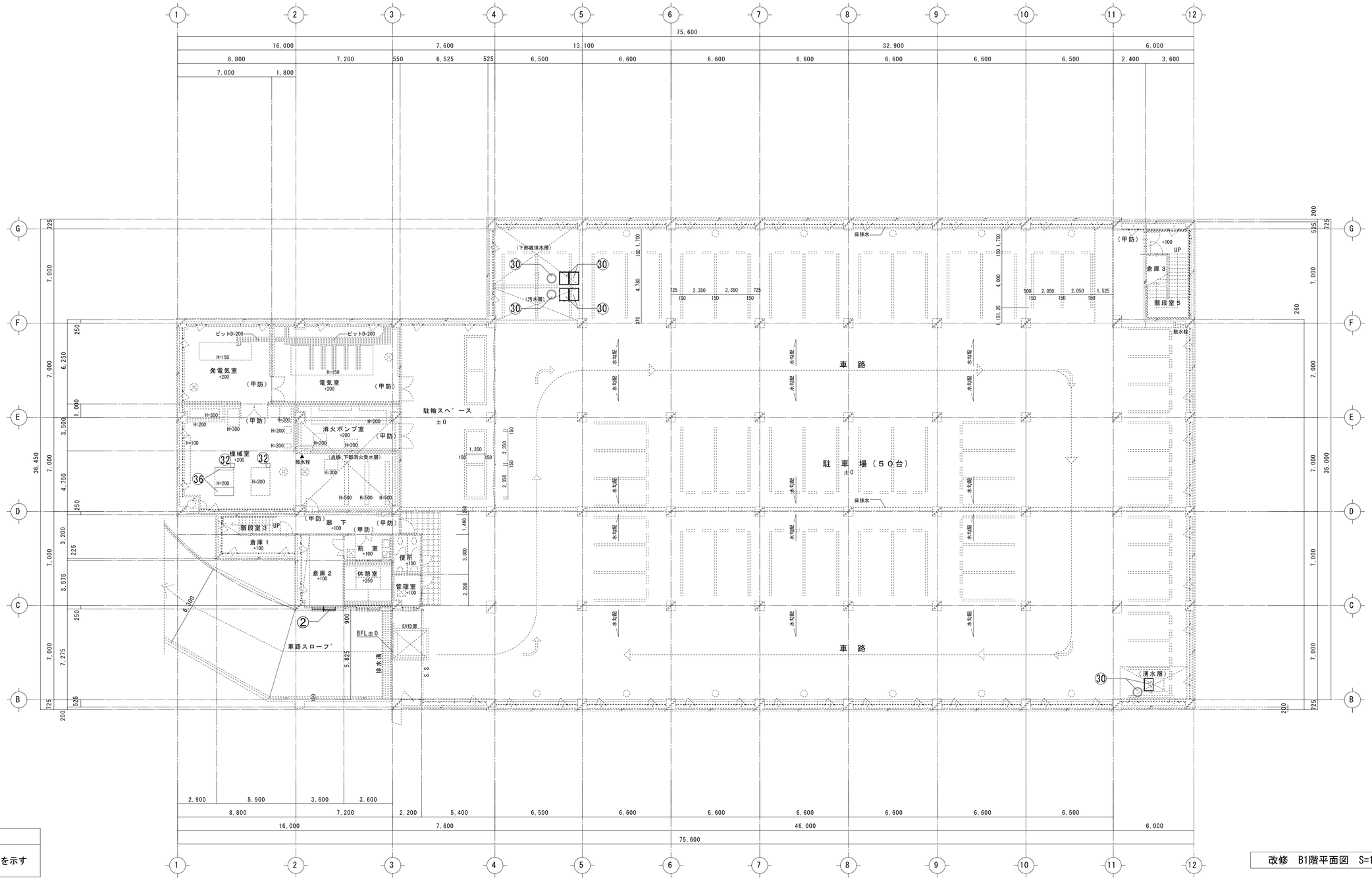
番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容
①	各階トイレブース改修 それに伴う床等改修	既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去・新設(詳細図参照) 大便器更新、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ新設に伴う一式改修(詳細図参照)	⑩	各階廊下水飲み場改修	腰壁下地+仕上共撤去(LGS既存のまま)・新設(詳細図参照)	⑳	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、排煙窓ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ交換	既存ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ　ﾜｲﾔｰ交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉙	外部樹木伐採	(外構配置図参照)
			⑪	正面入口自動ドア改修	自動ドア駆動装置、ガラス交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉑	身障者ﾄｲﾚ　ｵｽﾄﾒｲﾄ改修	ｵｽﾄﾒｲﾄ新設に伴う壁及び手摺の撤去・新設(詳細図参照)	㉚	マンホール蓋取替え550φ、650φ、650□	マンホール蓋撤去(枠共)　の上　下地調整後枠、蓋新設
②	南面窓ガラス改修	既存窓ガラス交換(建具表、キープラン参照)	⑫	2階ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ、談話室天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	㉒	外部シーリング改修	既存ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去・新設(立面図、詳細図参照)	㉛	室外機架台補強改修	既存室外機架台の補強材新設(部分詳細参照)
③	各部ドア改修	ドアクローザー、ドアノブ交換(建具表、キープラン参照)	⑬	1、2階男女更衣室ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ改修	既存ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ撤去・新設、壁下地+仕上撤去・新設(部分詳細図参照)	㉓	建具開閉レバーハンドル交換	レバーハンドルの交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉜	配管更新に伴う床補修	配管更新に伴う床の補修　300×300程度
④	1階ホール1・2天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	⑭	2階男子更衣室床改修	仕上撤去の上　ﾓﾙﾀﾙ均し調整+仕上新設(部分詳細図参照)	㉔	外周部高圧洗浄	建物外周部汚れ高圧洗浄	㉝	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	2階アリーナ柱吹付タイル復旧　200角程度
⑤	外部床タイル補修	既存タイル撤去・新設(外構詳細図参照)	⑮	各階天井改修	仕上撤去・新設、点検口取外再取付(詳細図参照)	㉕	ビニルクロス貼替	既存ビニルクロス撤去の上　下地調整+ビニルクロス新設	㉞	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	地下駐車場　天井　撤去・新設(詳細図参照)
⑥	駐車場(身障者便所下)天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	⑯	アリーナ天井改修	既存下地+仕上共撤去の上　膜天井新設(詳細図参照)	㉖	3階体力測定室床改修	既存床研磨の上　塗装(詳細図参照)	㉟	室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設	既存手摺一部撤去の上　室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設(詳細図参照)
⑦	アリーナ床改修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照) 既存鋼製束#900から鋼製束#450増設(詳細図参照)	⑰	屋根改修(金属屋根)	既存高圧洗浄後下地調整の上　屋根用高日射反射塗料塗(詳細図参照) 屋根下地裏断熱材新設(詳細図参照)	㉗	外部クラック補修	(立面図、詳細図参照)	㊱	壁改修	仕上撤去・新設
						㉘	外壁・地巾木廻り部分改修	(立面図、詳細図参照)	㊲	ｶｰﾃﾝ更新	既存ｶｰﾃﾝ撤去・新設
⑧	アリーナ壁補修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照)	⑱	屋根改修(ステンレス防水)	既存ステンレス防水の上　シート防水新設(詳細図参照)				㊳	機械室ボイラー基礎増設	既存ボイラー基礎　目荒しの上コンクリート入力打設(矩計図参照)
⑨	アリーナ防火戸改修	防火戸下部消防用ホース通過孔撤去の上　開口塞ぎ(建具表参照)	⑲	屋根改修(シート防水)	既存シート防水+室外機架台撤去の上 シート防水+室外機架台新設(詳細図参照)				㊴	室外機架台取外し再取付	防水改修及び室外機の更新に伴う室外機架台の取外し再取付

訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE

一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(2808) 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL. 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	高 橋	高 橋	高 橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事	A —— 18
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋　雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称　既存 R階平面図(改修位置図)　縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	



改修　B1階平面図　S=1:150

凡例	
----------	既存部分を示す

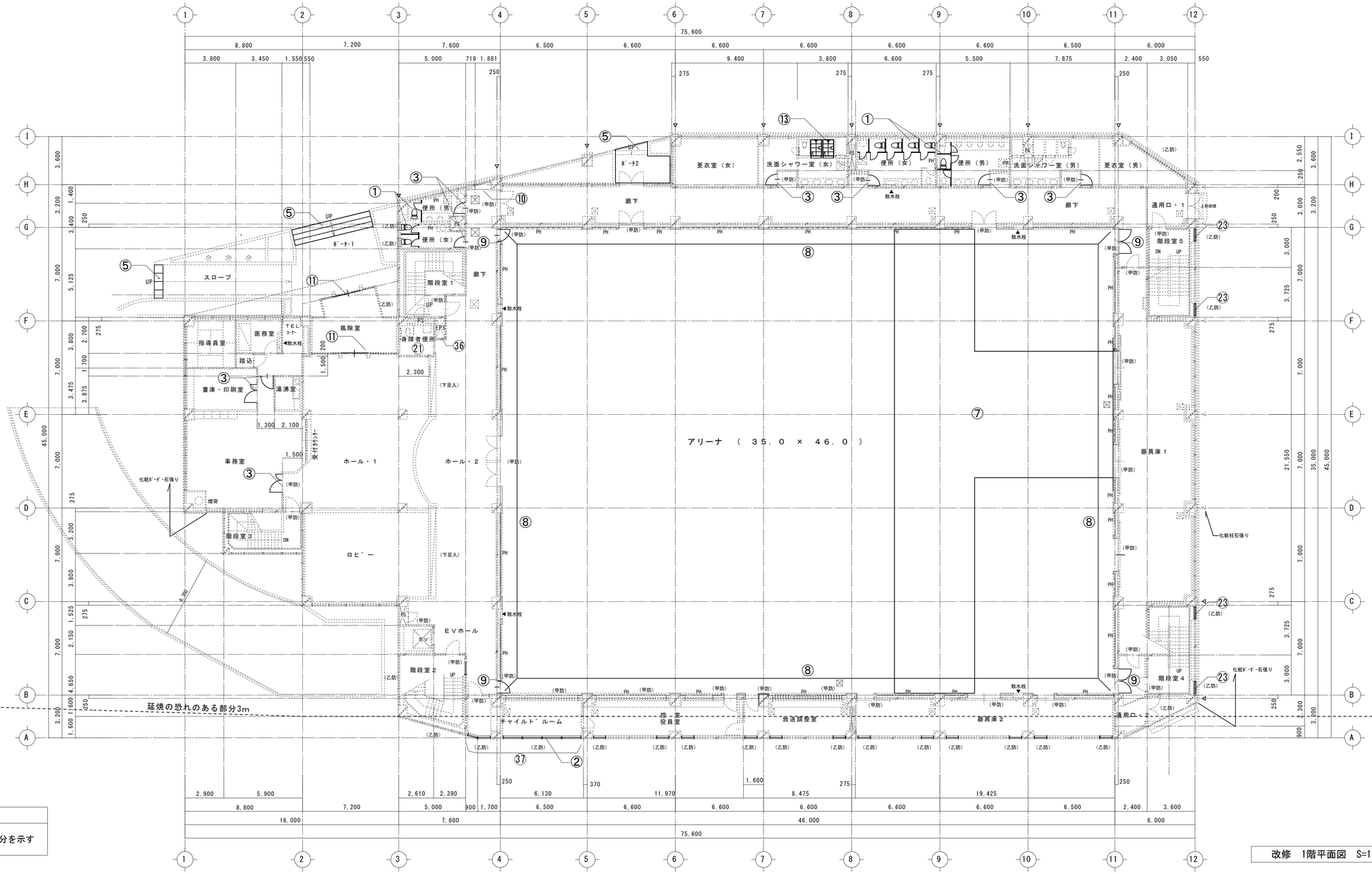
改修範囲一覧

番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容
①	各階トイレブース改修	既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去・新設(詳細図参照)	⑩	各階廊下水飲み場改修	腰壁下地+仕上共撤去(LGS既存のまま)・新設(詳細図参照)	⑳	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、排煙窓ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ交換	既存ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ　ﾜｲﾔｰ交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉙	外部樹木伐採	(外構配置図参照)
	それに伴う床等改修	大便器更新、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ新設に伴う一式改修(詳細図参照)	⑪	正面入口自動ドア改修	自動ドア駆動装置、ガラス交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉑	身障者ﾄｲﾚ　ｵｽﾄﾒｲﾄ改修	ｵｽﾄﾒｲﾄ新設に伴う壁及び手摺の撤去・新設(詳細図参照)	㉚	マンホール蓋取替え550φ、650φ、650□	マンホール蓋撤去(枠共)　の上　下地調整後枠、蓋新設
②	南面窓ガラス改修	既存窓ガラス交換(建具表、キープラン参照)	⑫	2階ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ、談話室天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	㉒	外部シーリング改修	既存ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去・新設(立面図、詳細図参照)	㉛	室外機架台補強改修	既存室外機架台の補強材新設(部分詳細参照)
③	各部ドア改修	ドアクローザー、ドアノブ交換(建具表、キープラン参照)	⑬	1、2階男女更衣室ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ改修	既存ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ撤去・新設、壁下地+仕上撤去・新設(部分詳細図参照)	㉓	建具開閉レバーハンドル交換	レバーハンドルの交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉜	配管更新に伴う床補修	配管更新に伴う床の補修　300×300程度
④	1階ホール1・2天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	⑭	2階男子更衣室床改修	仕上撤去の上　ﾓﾙﾀﾙ均し調整+仕上新設(部分詳細図参照)	㉔	外周部高圧洗浄	建物外周部汚れ高圧洗浄	㉝	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	2階アリーナ柱吹付タイル復旧　200角程度
⑤	外部床タイル補修	既存タイル撤去・新設(外構詳細図参照)	⑮	各階天井改修	仕上撤去・新設、点検口取外再取付(詳細図参照)	㉕	ビニルクロス貼替	既存ビニルクロス撤去の上　下地調整+ビニルクロス新設	㉞	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	地下駐車場　天井　撤去・新設(詳細図参照)
⑥	駐車場(身障者便所下)天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	⑯	アリーナ天井改修	既存下地+仕上共撤去の上　膜天井新設(詳細図参照)	㉖	3階体力測定室床改修	既存床研磨の上　塗装(詳細図参照)	㉟	室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設	既存手摺一部撤去の上　室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設(詳細図参照)
⑦	アリーナ床改修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照)	⑰	屋根改修(金属屋根)	既存高圧洗浄後下地調整の上　屋根用高日射反射塗料塗(詳細図参照)	㉗	外部クラック補修	(立面図、詳細図参照)	㊱	壁改修	仕上撤去・新設
		既存鋼製束#900から鋼製束#450増設(詳細図参照)			屋根下地裏断熱材新設(詳細図参照)	㉘	外壁・地巾木廻り部分改修	(立面図、詳細図参照)	㊲	ｶｰﾃﾝ更新	既存ｶｰﾃﾝ撤去・新設
⑧	アリーナ壁補修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照)	⑱	屋根改修(ステンレス防水)	既存ステンレス防水の上　シート防水新設(詳細図参照)				㊳	機械室ボイラー基礎増設	既存ボイラー基礎　目荒しの上コンクリート人力打設(矩計図参照)
⑨	アリーナ防火戸改修	防火戸下部消防用ホース通過孔撤去の上　開口塞ぎ(建具表参照)	⑲	屋根改修(シート防水)	既存ｼｰﾄ防水+室外機架台撤去の上　ｼｰﾄ防水+室外機架台新設(詳細図参照)				㊴	室外機架台取外し再取付	防水改修及び室外機のの更新に伴う室外機架台の取外し再取付

訂正	月	日

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(2808) 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	高 橋	高 橋	高 橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事	A —— 19
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋　雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 ・　・	図面名称　改修 B1階平面図	縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300



改修　1階平面図　S=1:150

凡例	
……	既存部分を示す

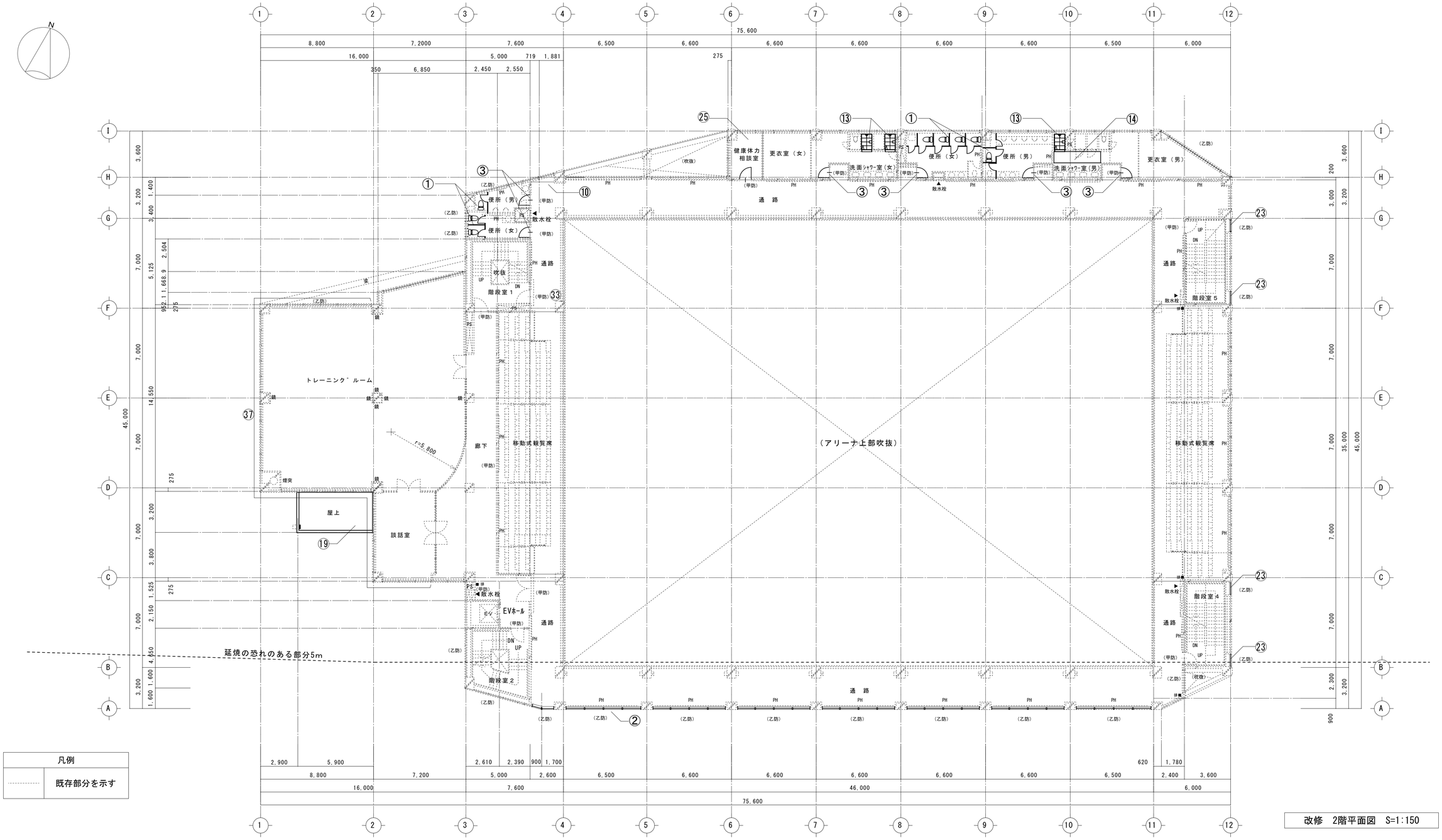
改修範囲一覧

番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容
①	各階トイレブース改修 それに伴う床等改修	既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去・新設(詳細図参照) 大便器更新、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ新設に伴う一式改修(詳細図参照)	⑩	各階廊下水飲み場改修	腰壁下地+仕上共撤去(LGS既存のまま)・新設(詳細図参照)	⑳	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、排煙窓ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ交換	既存ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ　ﾜｲﾔｰ交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉙	外部樹木伐採	(外構配置図参照)
②	南面窓ガラス改修	既存窓ガラス交換(建具表、キープラン参照)	⑪	正面入口自動ドア改修	自動ドア駆動装置、ガラス交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉑	身障者ﾄｲﾚ　ｵｽﾄﾒｲﾄ改修	ｵｽﾄﾒｲﾄ新設に伴う壁及び手摺の撤去・新設(詳細図参照)	㉚	マンホール蓋取替え550φ、650φ、650□	マンホール蓋撤去(枠共)　の上　下地調整後枠、蓋新設
③	各部ドア改修	ドアクローザー、ドアノブ交換(建具表、キープラン参照)	⑫	2階ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ、談話室天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	㉒	外部シーリング改修	既存ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去・新設(立面図、詳細図参照)	㉛	室外機架台補強改修	既存室外機架台の補強材新設(部分詳細参照)
④	1階ホール1・2天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	⑬	1、2階男女更衣室ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ改修	既存ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ撤去・新設、壁下地+仕上撤去・新設(部分詳細図参照)	㉓	建具開閉レバーハンドル交換	レバーハンドルの交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉜	配管更新に伴う床補修	配管更新に伴う床の補修　300×300程度
⑤	外部床タイル補修	既存タイル撤去・新設(外構詳細図参照)	⑭	2階男子更衣室床改修	仕上撤去の上　ﾓﾙﾀﾙ均し調整+仕上新設(部分詳細図参照)	㉔	外周部高圧洗浄	建物外周部汚れ高圧洗浄	㉝	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	2階アリーナ柱吹付タイル復旧　200角程度
⑥	駐車場(身障者便所下)天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	⑮	各階天井改修	仕上撤去・新設、点検口取外再取付(詳細図参照)	㉕	ビニルクロス貼替	既存ビニルクロス撤去の上　下地調整+ビニルクロス新設	㉞	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	地下駐車場　天井　撤去・新設(詳細図参照)
⑦	アリーナ床改修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照) 既存鋼製束#900から鋼製束#450増設(詳細図参照)	⑯	アリーナ天井改修	既存下地+仕上共撤去の上　膜天井新設(詳細図参照)	㉖	3階体力測定室床改修	既存床研磨の上　塗装(詳細図参照)	㉟	室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設	既存手摺一部撤去の上　室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設(詳細図参照)
⑧	アリーナ壁補修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照)	⑰	屋根改修(金属屋根)	既存高圧洗浄後下地調整の上　屋根用高日射反射塗料塗(詳細図参照) 屋根下地裏断熱材新設(詳細図参照)	㉗	外部クラック補修	(立面図、詳細図参照)	㊱	壁改修	仕上撤去・新設
⑨	アリーナ防火戸改修	防火戸下部消防用ホース通過孔撤去の上　開口塞ぎ(建具表参照)	⑱	屋根改修(ステンレス防水)	既存ステンレス防水の上　シート防水新設(詳細図参照)	㉘	外壁・地巾木廻り部分改修	(立面図、詳細図参照)	㊲	ｶｰﾃﾝ更新	既存ｶｰﾃﾝ撤去・新設
			⑲	屋根改修(シート防水)	既存ｼｰﾄ防水+室外機架台撤去の上　ｼｰﾄ防水+室外機架台新設(詳細図参照)				㊳	機械室ボイラー基礎増設	既存ボイラー基礎　目荒しの上コンクリート人力打設(矩計図参照)
									㊴	室外機架台取外し再取付	防水改修及び室外機のの更新に伴う室外機架台の取外し再取付

訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(2808) 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	高 橋	高 橋	高 橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事	A —— 20
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋　雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 ・　・	図面名称　改修 1階平面図	縮尺　A1: 1/150 A3: 1/300



凡例	
----------	既存部分を示す

改修　2階平面図　S=1:150

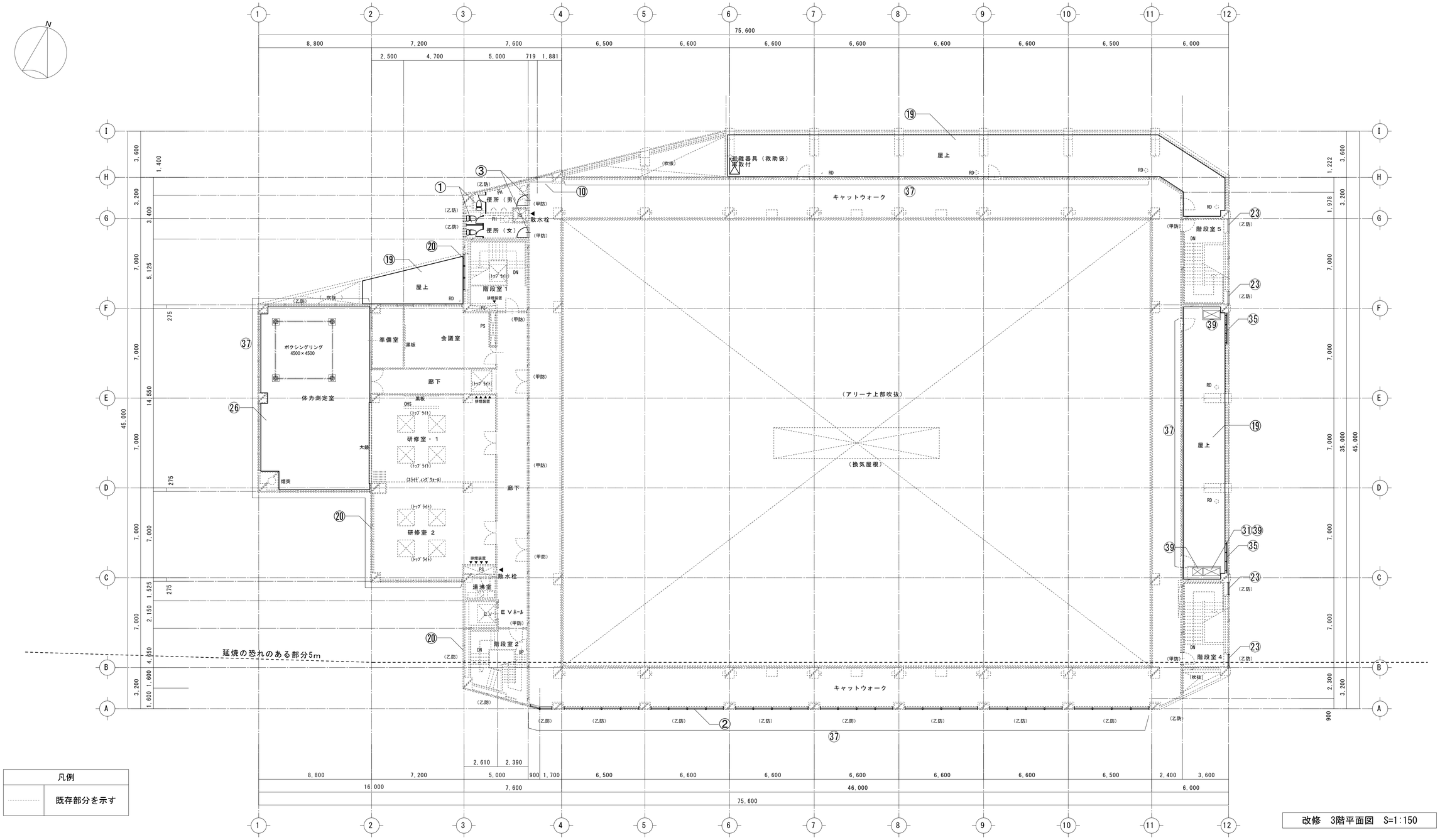
改修範囲一覧

番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容
①	各階トイレブース改修 それに伴う床等改修	既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去・新設(詳細図参照) 大便器更新、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ新設に伴う一式改修(詳細図参照)	⑩	各階廊下水飲み場改修	腰壁下地+仕上共撤去(LGS既存のまま)・新設(詳細図参照)	⑳	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、排煙窓ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ交換	既存ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ　ﾜｲﾔｰ交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉙	外部樹木伐採	(外構配置図参照)
			⑪	正面入口自動ドア改修	自動ドア駆動装置、ガラス交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉑	身障者ﾄｲﾚ　ｵｽﾄﾒｲﾄ改修	ｵｽﾄﾒｲﾄ新設に伴う壁及び手摺の撤去・新設(詳細図参照)	㉚	マンホール蓋取替え550φ、650φ、650□	マンホール蓋撤去(枠共)　の上　下地調整後枠、蓋新設
②	南面窓ガラス改修	既存窓ガラス交換(建具表、キープラン参照)	⑫	2階ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ、談話室天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	㉒	外部シーリング改修	既存ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去・新設(立面図、詳細図参照)	㉛	室外機架台補強改修	既存室外機架台の補強材新設(部分詳細参照)
③	各部ドア改修	ドアクローザー、ドアノブ交換(建具表、キープラン参照)	⑬	1、2階男女更衣室ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ改修	既存ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ撤去・新設、壁下地+仕上撤去・新設(部分詳細図参照)	㉓	建具開閉レバーハンドル交換	レバーハンドルの交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉜	配管更新に伴う床補修	配管更新に伴う床の補修　300×300程度
④	1階ホール1・2天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	⑭	2階男子更衣室床改修	仕上撤去の上　ﾓﾙﾀﾙ均し調整+仕上新設(部分詳細図参照)	㉔	外周部高圧洗浄	建物外周部汚れ高圧洗浄	㉝	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	2階アリーナ柱吹付タイル復旧　200角程度
⑤	外部床タイル補修	既存タイル撤去・新設(外構詳細図参照)	⑮	各階天井改修	仕上撤去・新設、点検口取外再取付(詳細図参照)	㉕	ビニルクロス貼替	既存ビニルクロス撤去の上　下地調整+ビニルクロス新設	㉞	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	地下駐車場　天井　撤去・新設(詳細図参照)
⑥	駐車場(身障者便所下)天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	⑯	アリーナ天井改修	既存下地+仕上共撤去の上　膜天井新設(詳細図参照)	㉖	3階体力測定室床改修	既存床研磨の上　塗装(詳細図参照)	㉟	室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設	既存手摺一部撤去の上　室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設(詳細図参照)
⑦	アリーナ床改修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照) 既存鋼製束φ900から鋼製束φ450増設(詳細図参照)	⑰	屋根改修(金属屋根)	既存高圧洗浄後下地調整の上　屋根用高日射反射塗料塗(詳細図参照) 屋根下地裏断熱材新設(詳細図参照)	㉗	外部クラック補修	(立面図、詳細図参照)	㊱	壁改修	仕上撤去・新設
						㉘	外壁・地巾木廻り部分改修	(立面図、詳細図参照)	㊲	ｶｰﾃﾝ更新	既存ｶｰﾃﾝ撤去・新設
⑧	アリーナ壁補修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照)	⑱	屋根改修(ステンレス防水)	既存ステンレス防水の上　シート防水新設(詳細図参照)				㊳	機械室ボイラー基礎増設	既存ボイラー基礎　目荒しの上コンクリート入力打設(矩計図参照)
⑨	アリーナ防火戸改修	防火戸下部消防用ホース通過孔撤去の上　開口塞ぎ(建具表参照)	⑲	屋根改修(シート防水)	既存シート防水+室外機架台撤去の上 シート防水+室外機架台新設(詳細図参照)				㊴	室外機架台取外し再取付	防水改修及び室外機の更新に伴う室外機架台の取外し再取付

訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(2808) 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	高 橋	高 橋	高 橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事	A —— 21
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋　雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 ・　・	図面名称　改修 2階平面図 / 縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	



改修　3階平面図　S=1:150

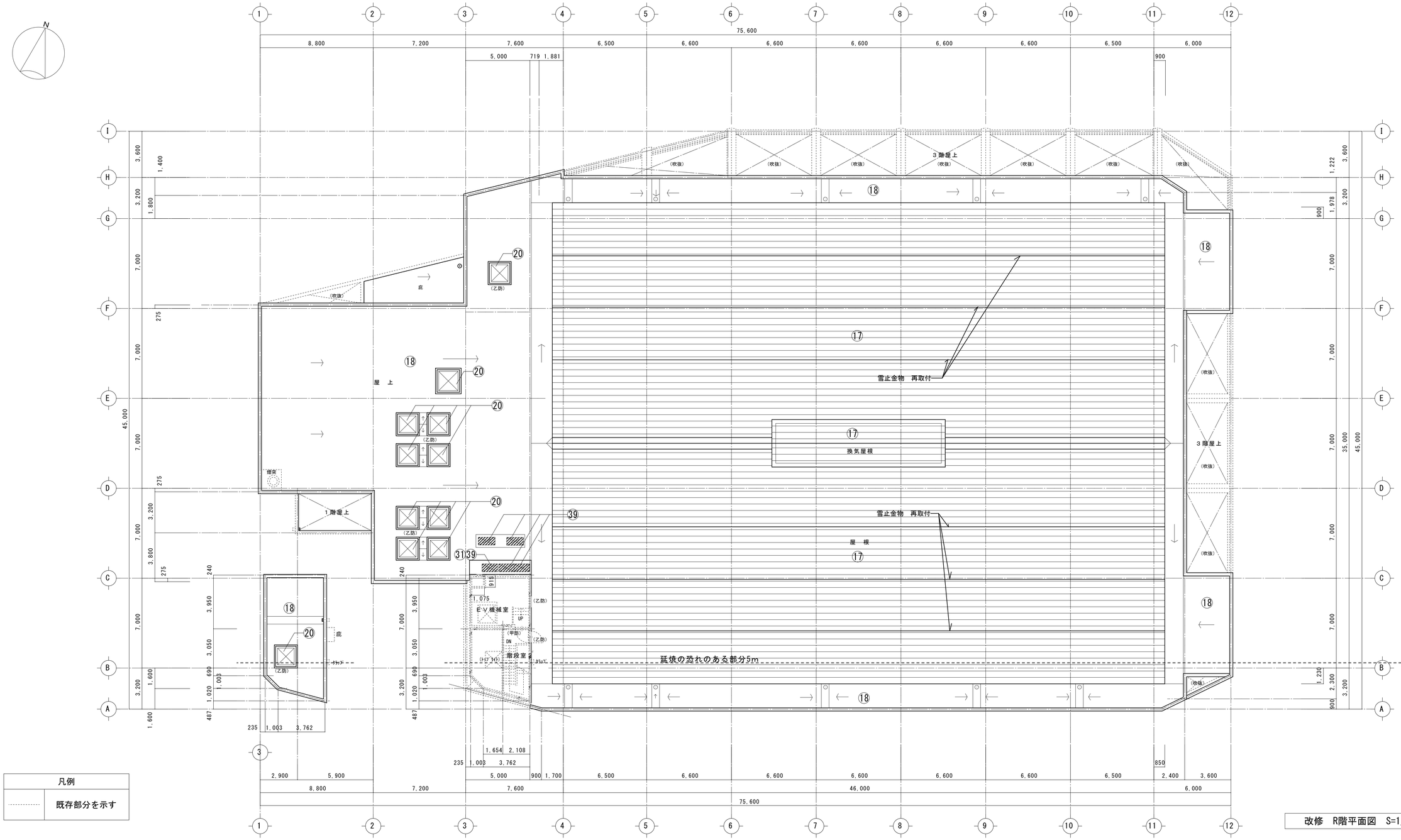
改修範囲一覧

番号	改修項目	改修内容
①	各階トイレブース改修 それに伴う床等改修	既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去・新設(詳細図参照) 大便器更新、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ新設に伴う一式改修(詳細図参照)
②	南面窓ガラス改修	既存窓ガラス交換(建具表、キープラン参照)
③	各部ドア改修	ドアクローザー、ドアノブ交換(建具表、キープラン参照)
④	1階ホール1・2天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)
⑤	外部床タイル補修	既存タイル撤去・新設(外構詳細図参照)
⑥	駐車場(身障者便所下)天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)
⑦	アリーナ床改修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照) 既存鋼製束#900から鋼製束#450増設(詳細図参照)
⑧	アリーナ壁補修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照)
⑨	アリーナ防火戸改修	防火戸下部消防用ホース通過孔撤去の上　開口塞ぎ(建具表参照)
⑩	各階廊下水飲み場改修	腰壁下地+仕上共撤去(LGS既存のまま)・新設(詳細図参照)
⑪	正面入口自動ドア改修	自動ドア駆動装置、ガラス交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)
⑫	2階ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ、談話室天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)
⑬	1、2階男女更衣室ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ改修	既存ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ撤去・新設、壁下地+仕上撤去・新設(部分詳細図参照)
⑭	2階男子更衣室床改修	仕上撤去の上　ﾓﾙﾀﾙ均し調整+仕上新設(部分詳細図参照)
⑮	各階天井改修	仕上撤去・新設、点検口取外再取付(詳細図参照)
⑯	アリーナ天井改修	既存下地+仕上共撤去の上　膜天井新設(詳細図参照)
⑰	屋根改修(金属屋根)	既存高圧洗浄後下地調整の上　屋根用高日射反射塗料塗(詳細図参照) 屋根下地裏断熱材新設(詳細図参照)
⑱	屋根改修(ステンレス防水)	既存ステンレス防水の上　シート防水新設(詳細図参照)
⑲	屋根改修(シート防水)	既存ｼｰﾄ防水+室外機架台撤去の上 ｼｰﾄ防水+室外機架台新設(詳細図参照)
⑳	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、排煙窓ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ交換	既存ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ　ｳｲﾔｰ交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)
㉑	身障者ﾄｲﾚ　ｵｽﾄﾒｲﾄ改修	ｵｽﾄﾒｲﾄ新設に伴う壁及び手摺の撤去・新設(詳細図参照)
㉒	外部シーリング改修	既存ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去・新設(立面図、詳細図参照)
㉓	建具開閉レバーハンドル交換	レバーハンドルの交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)
㉔	外周部高圧洗浄	建物外周部汚れ高圧洗浄
㉕	ビニルクロス貼替	既存ビニルクロス撤去の上　下地調整+ビニルクロス新設
㉖	3階体力測定室床改修	既存床研磨の上　塗装(詳細図参照)
㉗	外部クラック補修	(立面図、詳細図参照)
㉘	外壁・地巾木廻り部分改修	(立面図、詳細図参照)
㉙	外部樹木伐採	(外構配置図参照)
㉚	マンホール蓋取替え550ゆ、650ゆ、650□	マンホール蓋撤去(枠共)　の上　下地調整後枠、蓋新設
㉛	室外機架台補強改修	既存室外機架台の補強材新設(部分詳細参照)
㉜	配管更新に伴う床補修	配管更新に伴う床の補修　300×300程度
㉝	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	2階アリーナ柱吹付タイル復旧　200角程度
㉞	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	地下駐車場　天井　撤去・新設(詳細図参照)
㉟	室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設	既存手摺一部撤去の上　室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設(詳細図参照)
㊱	壁改修	仕上撤去・新設
㊲	ｶｰﾃﾝ更新	既存ｶｰﾃﾝ撤去・新設
㊳	機械室ボイラー基礎増設	既存ボイラー基礎　目荒しの上コンクリート入力打設(矩計図参照)
㊴	室外機架台取外し再取付	防水改修及び室外機の更新に伴う室外機架台の取外し再取付

訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(2808)1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体)工事	A ―― 22
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 高橋	担当 高橋	承認年月日 ・　・	図面名称 改修 3階平面図 / 縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	



改修　R階平面図　S=1/150

凡例	
----------	既存部分を示す

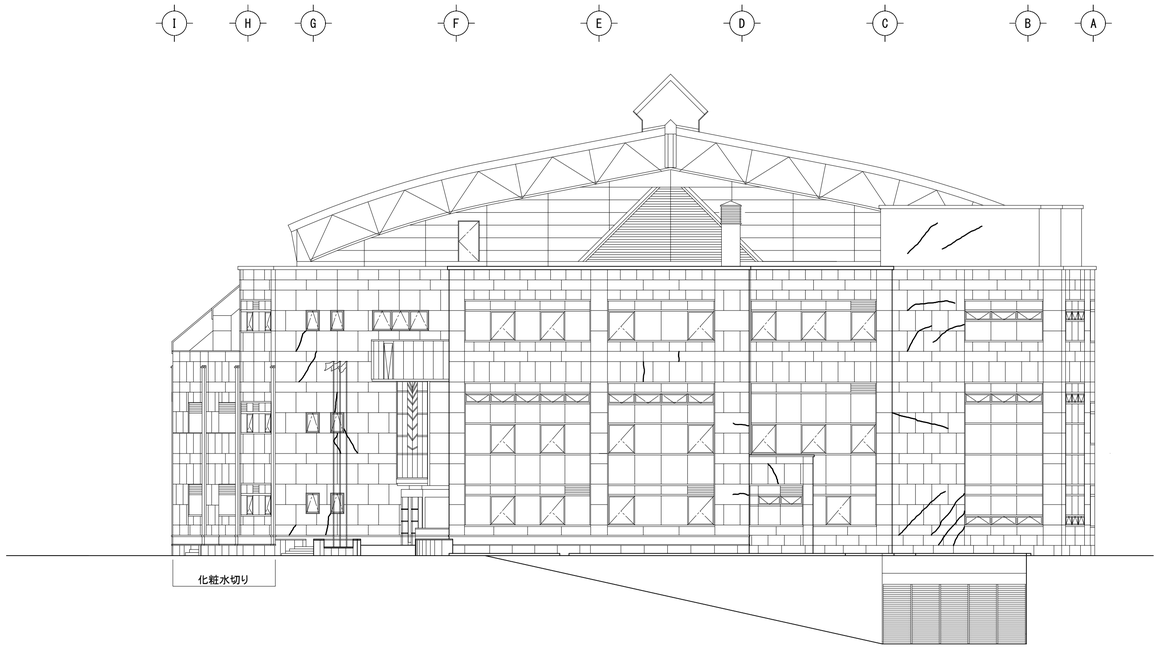
改修範囲一覧

番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容	番号	改修項目	改修内容
①	各階トイレブース改修 それに伴う床等改修	既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去・新設(詳細図参照) 大便器更新、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ新設に伴う一式改修(詳細図参照)	⑩	各階廊下水飲み場改修	腰壁下地+仕上共撤去(LGS既存のまま)・新設(詳細図参照)	⑳	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ、排煙窓ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ交換	既存ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ　ﾜｲﾔｰ交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉙	外部樹木伐採	(外構配置図参照)
②	南面窓ガラス改修	既存窓ガラス交換(建具表、キープラン参照)	⑪	正面入口自動ドア改修	自動ドア駆動装置、ガラス交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉑	身障者ﾄｲﾚ　ｵｽﾄﾒｲﾄ改修	ｵｽﾄﾒｲﾄ新設に伴う壁及び手摺の撤去・新設(詳細図参照)	㉚	マンホール蓋取替え550φ、650φ、650□	マンホール蓋撤去(枠共)　の上　下地調整後枠、蓋新設
③	各部ドア改修	ドアクローザー、ドアノブ交換(建具表、キープラン参照)	⑫	2階ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ、談話室天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	㉒	外部シーリング改修	既存ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去・新設(立面図、詳細図参照)	㉛	室外機架台補強改修	既存室外機架台の補強材新設(部分詳細参照)
④	1階ホール1・2天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	⑬	1、2階男女更衣室ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ改修	既存ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ撤去・新設、壁下地+仕上撤去・新設(部分詳細図参照)	㉓	建具開閉レバーハンドル交換	レバーハンドルの交換(建具表、ｷｰﾌﾟﾗﾝ参照)	㉜	配管更新に伴う床補修	配管更新に伴う床の補修　300×300程度
⑤	外部床タイル補修	既存タイル撤去・新設(外構詳細図参照)	⑭	2階男子更衣室床改修	仕上撤去の上　ﾓﾙﾀﾙ均し調整+仕上新設(部分詳細図参照)	㉔	外周部高圧洗浄	建物外周部汚れ高圧洗浄	㉝	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	2階アリーナ柱吹付タイル復旧　200角程度
⑥	駐車場(身障者便所下)天井改修	下地+仕上共撤去・新設(詳細図参照)	⑮	各階天井改修	仕上撤去・新設、点検口取外再取付(詳細図参照)	㉕	ビニルクロス貼替	既存ビニルクロス撤去の上　下地調整+ビニルクロス新設	㉞	ｱｽﾍﾞｽﾄ検体採取部復旧	地下駐車場　天井　撤去・新設(詳細図参照)
⑦	アリーナ床改修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照) 既存鋼製束#900から鋼製束#450増設(詳細図参照)	⑯	アリーナ天井改修	既存下地+仕上共撤去の上　膜天井新設(詳細図参照)	㉖	3階体力測定室床改修	既存床研磨の上　塗装(詳細図参照)	㉟	室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設	既存手摺一部撤去の上　室外機目隠しﾙｰﾊﾞｰ新設(詳細図参照)
⑧	アリーナ壁補修	既存仕上撤去・新設(詳細図参照)	⑰	屋根改修(金属屋根)	既存高圧洗浄後下地調整の上　屋根用高日射反射塗料塗(詳細図参照) 屋根下地裏断熱材新設(詳細図参照)	㉗	外部クラック補修	(立面図、詳細図参照)	㊱	壁改修	仕上撤去・新設
⑨	アリーナ防火戸改修	防火戸下部消防用ホース通過孔撤去の上　開口塞ぎ(建具表参照)	⑱	屋根改修(ステンレス防水)	既存ステンレス防水の上　シート防水新設(詳細図参照)	㉘	外壁・地巾木廻り部分改修	(立面図、詳細図参照)	㊲	ｶｰﾃﾝ更新	既存ｶｰﾃﾝ撤去・新設
			⑲	屋根改修(シート防水)	既存シート防水+室外機架台撤去の上 ｼｰﾄ防水+室外機架台新設(詳細図参照)				㊳	機械室ボイラー基礎増設	既存ボイラー基礎　目荒しの上コンクリート入力打設(矩計図参照)
									㊴	室外機架台取外し再取付	防水改修及び室外機の更新に伴う室外機架台の取外し再取付

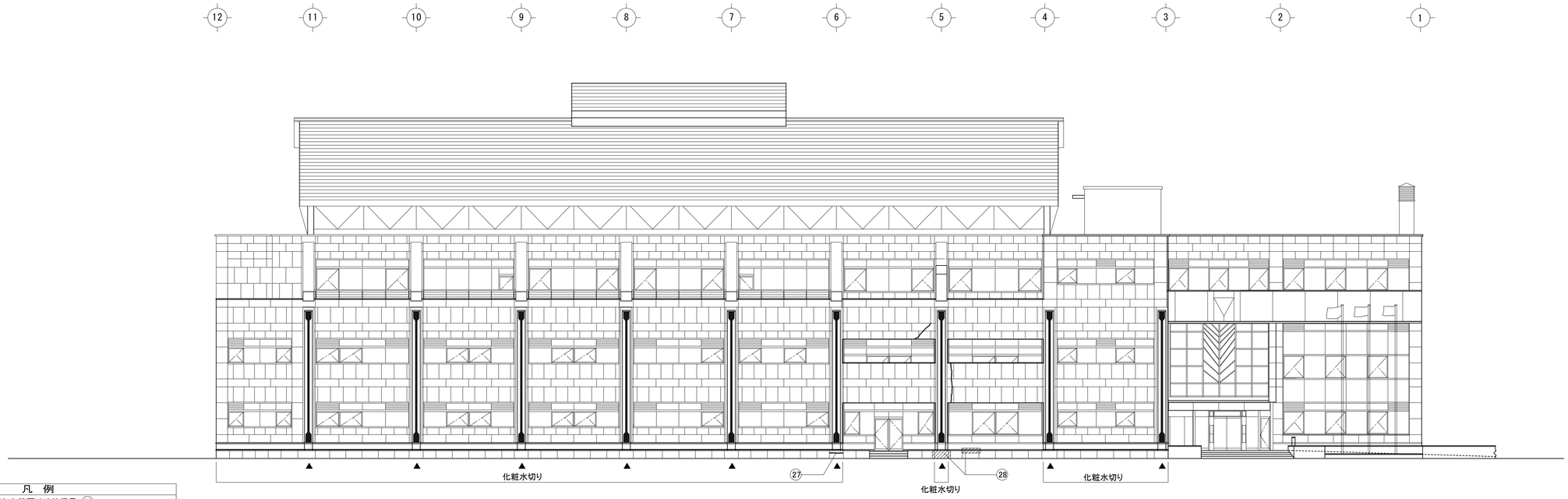
訂正	月	日

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(2808)1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体)工事	A ―― 23
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋　雅人	製図 高橋	担当 高橋	承認年月日 ・　・	図面名称　改修 R階平面図 / 縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	



既存　西立面図　　1：150



凡　例
特記なき範囲は改修番号 ㉗
▲　既存化粧柱：天然御影石研出し

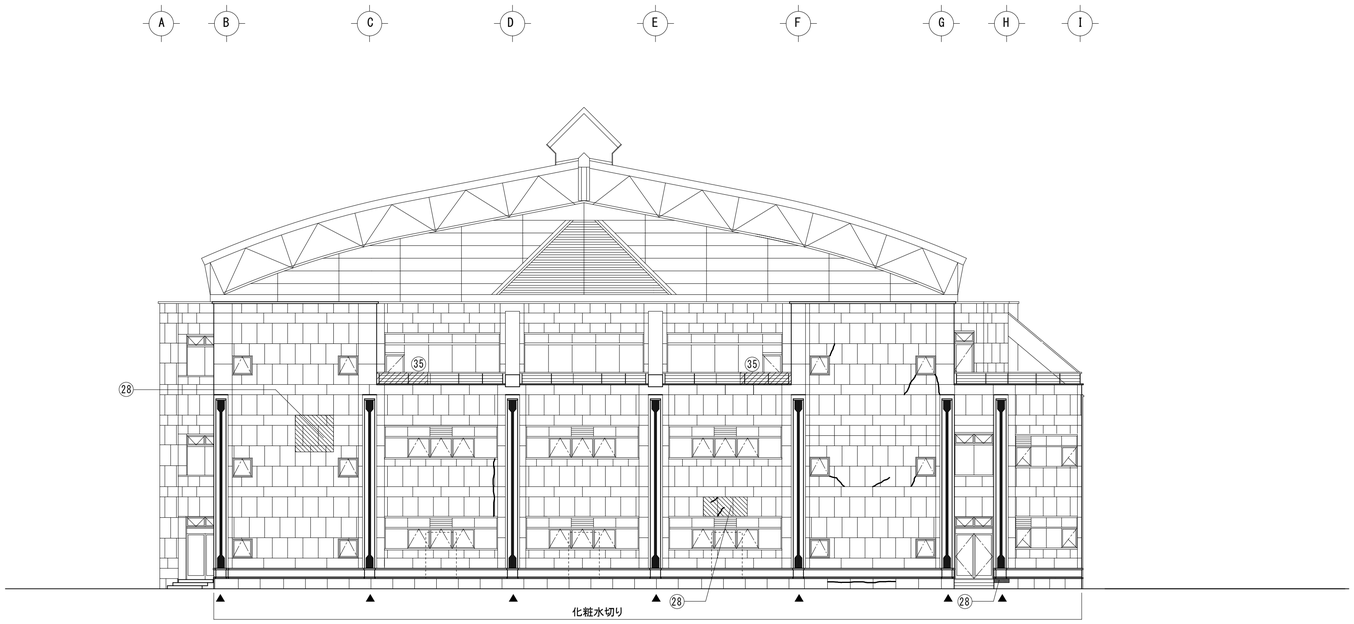
※改修番号は平面図参照

既存　北立面図　　1：150

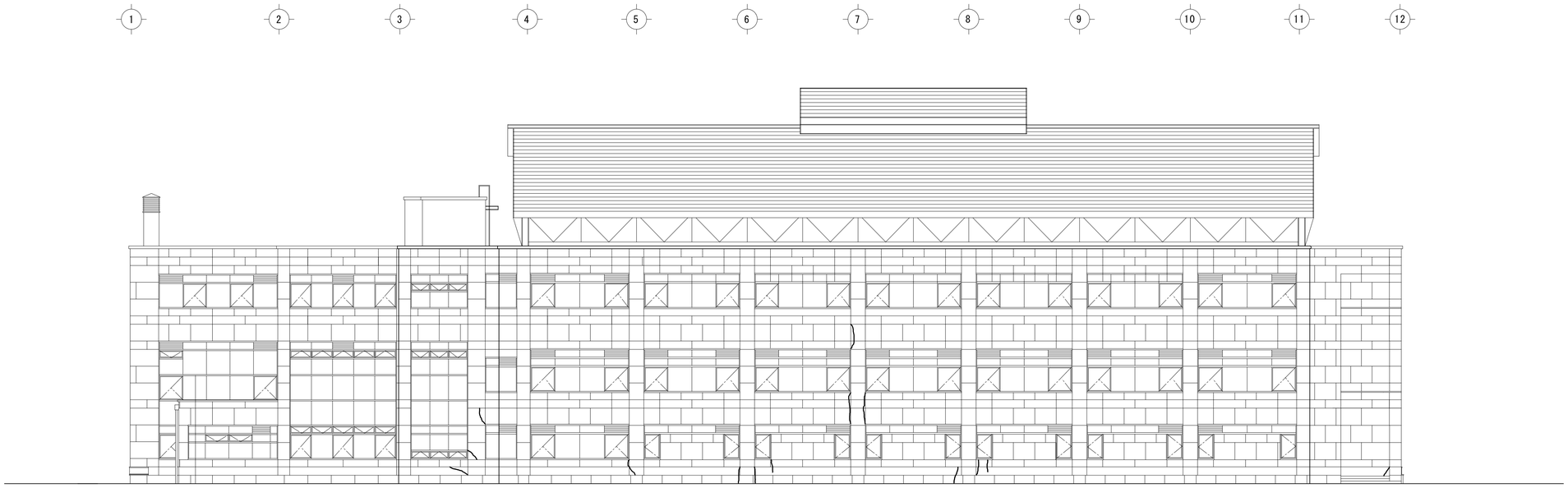
訂正	月	日

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R06・2・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	A ―― 24
一級建築士　登録第296025号 高橋　雅人	製図 高橋	担当 高橋	承認年月日 ・・	図面名称 既存 立面図(1)	縮尺 A1 1/150 A3 1/300



既存　東立面図　　1 : 150



既存　南立面図　　1 : 150

凡　例
特記なき範囲は改修番号 ㉗
▲　既存化粧柱：天然御影石研出し

※改修番号は平面図参照

訂正	月	日

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R06・ 2 ・	高 橋	高 橋	高 橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	A —— 25
一級建築士　登録第296025号 高橋　雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 既存 立面図(2)	縮尺 A1 1/150 A3 1/300